CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

J29nB224

嵩山野竹禪師語錄

清 福慧說　宗宏錄

宗上・宗堅仝編

財團法人 佛教電子佛典基金會

目次

- 編輯說明
- 章節目次
  - 序
    - 劉芭信敘
    - 沈雄煥一序
  - 目錄
  - 字攷
  - 住雲南府慈雲禪院語錄
  - 住蒙化府竹林禪院語錄
  - 住順寧府雲州五福禪院語錄
  - 住順寧府樹宗山善法禪院語錄
  - 再住順寧府雲州五福禪院語錄
  - 再住雲南府慈雲禪院語錄
  - 住雲南府嵩山禪院語錄
  - 住雲南府富民縣臥龍山法華禪院語錄
  - 住澂江府潞南州彌勒禪院語錄
  - 再住雲南府嵩山禪院語錄
  - 晚參
  - 小參
  - 示眾
  - 機緣
  - 普說
  - 拈古
  - 頌古
  - 源流頌
    - 南嶽褒讓和尚
    - 馬祖道一和尚
    - 百丈褒海和尚
    - 黃檗希運和尚
    - 臨濟義玄和尚
    - 興化存獎和尚
    - 寶應慧顒和尚
    - 風穴延沼和尚
    - 首山省念和尚

- 汾陽善昭和尚
- 石霜楚圓和尚
- 楊岐方會和尚
- 白雲守端和尚
- 五祖法演和尚
- 圓悟克勤和尚
- 虎丘紹隆和尚
- 應菴曇華和尚
- 密菴咸傑和尚
- 破菴祖先和尚
- 無準師範和尚
- 雪巖祖欽和尚
- 高峰原妙和尚
- 中峰明本和尚
- 千巖元長和尚
- 萬峰時蔚和尚
- 寶臧普持和尚
- 東明慧昆和尚
- 海舟永慈和尚
- 寶峰智瑄和尚
- 天奇本瑞和尚
- 無聞明聰和尚
- 月心德寶和尚
- 幻有正傳和尚
- 密雲圓悟和尚
- 浮石通賢和尚
- 磚鏡完璧和尚

◦ 牧牛頌
- 敘
- 撥艸尋牛
- 驀然見跡
- 捕步見牛
- 得牛貫鼻
- 牧童調護
- 騎牛歸家
- 忘牛存人
- 人牛雙忘
- 返本還源

    - 入廛垂手
- 佛祖贊
    - 釋迦佛
    - 阿彌陀佛
    - 彌勒
    - 觀音大士
    - 紫竹觀音
    - 送子觀音
    - 繪像觀音
    - 布袋和尚
    - 面壁達磨
    - 錫杖
    - 夔州破山明和尚
    - 安漢鐵龍炦和尚
    - 立禪和尚
    - 雲翁吳檀越行樂圖
    - 潘契空居士小像
    - 天童悟老人
    - 報恩賢老人
    - 長松璧老人
- 自贊
- 書問
    - 上長松老人
    - 复君用藺居士
    - 與督府孫居士
    - 再上長松老人
    - 复玄初劉居士
    - 复本源和尚
    - 寄大雲和尚
    - 寄海月和尚
    - 复羡瞿煇監院
    - 复通邑眾護法
    - 再复通邑眾居士
    - 复秋水長老
    - 复良之徐居士
    - 上福海老人
    - 复竹眉長老
- 法語

- 示竹眉書記
- 示雲和知客
- 示竹元侍者
- 示不磷副寺
- 示悟空老僧
- 示思修禪人
- 示不盈禪人
- 示含月禪人
- 示格目典座
- 示空菴靜主
- 示禦木副寺
- 示化城禪人
- 示羨瞿禪人
- 示三艸禪人
- 示不露禪人
- 示不用禪人
- 示化一禪人
- 示慧一禪人
- 示佛照王居士
- 示崇信趙居士
- 示張春宇
- 示建極李居士
- 示崇善傅居士
- 示不瞿禪人
- 示惟勤禪人
- 示二木禪人
- 示不閔禪人
- 示不顯禪人
- 示通廣朱居士
- 示古維董居士
- 示文遠侍者
- 示自休禪人
- 示自愚禪人
- 示即徹禪人
- 示惟一禪人
- 示恒之李居士
- 示佛海陳居士
- 示怕量禪人

- 示德安禪人
- 示自惺禪人
- 示映楚熊居士
- 示佛印優婆私
- 示篤信優婆私
- 示即性禪人
- 示如剛陳居士
- 示拈一禪人
- 示不臧禪人
- 示蘊空禪人

雜偈一

- 送竹眉書記
- 送竹元首座
- 送喻紫石歸夜郎兼贈木患子
- 寄水目山無住大師
- 寄高峰山自然律主
- 寄雲巖靜主
- 寄畢節眾居士
- 寄清水塘應宣
- 寄獨山州心月
- 寄太極主人
- 寄廣陵渾源
- 秋夜懷古與慈玉上人
- 寄希有律主
- 寄玄初劉居士
- 寄東山印持
- 寄佛度高居士
- 寄不凡禪人
- 答許別駕送扇
- 答劉夫人
- 答楊夫人
- 答鞏昌眾居士
- 答李擇之居士
- 答竹眉昆仲寄梅花之作
- 答李維谷居士
- 复黃太史公燦
- 复張爾用居士
- 复許別駕

- 复古乘上人
- 复胡思慥居士
- 示覺證劉夫人
- 示佛果高居士
- 示佛源張居士
- 示佛旨于居士
- 示佛初劉居士
- 示佛舟薛居士
- 贈堅副寺
- 贈三山許居士
- 贈丹桂陳居士
- 贈佛心李居士
- 示昇維那
- 示圓通道人
- 示綵繪昆仲
- 示我侍者
- 示易侍者
- 示幬監院
- 璋知客求書
- 示不磨禪人
- 示不計禪人
- 示豁浪禪人
- 示朗月禪人
- 示我聞禪人
- 示體周禪人
- 示會玄禪人
- 示筍光禮峨嵋
- 示智然禪人
- 示幻息禪人
- 示般舟禪人
- 作務歸示眾
- 示月峰監院
- 示映月禪人
- 示秋水禪人
- 示洞天禪人
- 示牧野禪人
- 示無相菴主
- 示無量老僧

- 示空菴靜主
- 示純一禪人
- 示不昧禪人
- 示篤行禪人
- 示心和禪人
- 示法空靜主
- 示西江老僧
- 示熹書記
- 示六一茶頭
- 示非幻靜主
- 弔天然上人
- 示玄谷禪人
- 示慧旨禪人
- 示石幢禪人
- 示見容禪人
- 示佛照王居士
- 送熊總戎之黔州
- 示祥符甘居士
- 示普澤趙善人
- 示古維居士書華嚴
- 示李明之居士
- 示馬坦然居士
- 示彭大器居士
- 示李世奇居士
- 示王為霖居士
- 示李時雨居士
- 示陶君重居士
- 示江文仲居士
- 示董國玉居士
- 示潘紹永居士
- 示夏元朗居士
- 示陳瑞應居士
- 示魏不能居士
- 示夏君錫居士
- 示顏思淵居士
- 示孔宗熙居士
- 示王志明居士
- 示王國章居士

- 示趙佛勇居士
- 示楊志勤居士
- 示魯質貞居士
- 示田 良遂居士
- 示王佛身居士
- 示熊道人
- 示王君仁居士
- 示王君用居士
- 示馮國祥居士
- 示何寧宇居士
- 示王應龍居士
- 示姚佛仁居士
- 拓缽歸示楊古玄居士
- 示王古宗居士
- 示楊席珍居士
- 示張國柱居士
- 示楊聞谷居士
- 示劉自北居士
- 示祝天美居士
- 示張師徵居士
- 示楊騰龍居士

◦ 雜偈二
- 裹竹元竹眉二子
- 寄兜率堅長老
- 與昇首座
- 與總戎王居士
- 送鼎西堂吳門代省
- 送方伯李護法遷浙中…
- 送碻谿王居士
- 寄胡鳧菴居士
- 贈兜率堅長老
- 贈報國海長老
- 贈臻監院
- 贈總戎線居士
- 贈總戎祁居士
- 贈李廷弼世襲
- 贈竹水張居士
- 答龍光上長老苦雨之作

- 前韻贈堅昇二子
- 再答上長老
- 壽軒翁高檀越
- 壽巖若陳太守
- 壽佛髻羅居士
- 壽我侍者
- 次大眾勉學二絕
- 示嵩元禪人
- 華書記被犬傷
- 示無用知客
- 示顯宗禪人
- 寄洞庭賀居士
- 寄參仝宏長老
- 寄盛守元居士
- 示陳元柏居士
- 示渾樸熊居士
- 示傅雲景居士
- 示佛祕馮善人
- 示佛性劉善人
- 示何宗古居士
- 示杜可美居士
- 示佛真葉道人
- 示王大定居士
- 示宗益王道人
- 示呂離我居士
- 示殷佛美居士
- 示羅佛髻居士
- 示汪永善居士
- 示袁宗啟居士
- 示曹一禎居士
- 示王東城居士
- 示陳貴吾居士
- 示李新初居士
- 示傅玉環居士
- 示傅褒吾居士
- 示涂成衣
- 示王如月居士
- 示姜如鶚居士

- 示王一賢居士
- 示李乾如居士
- 示徐居士亨
- 示江寂永居士
- 示羅洪才居士
- 示劉濟舟居士
- 示宋榮祿居士
- 與王臣舉居士話舊
- 俗士病革因示小偈
- 示戚道明居士
- 示王國柱居士
- 示方任周居士
- 示符聖道居士
- 示毛宗明居士
- 示王淵源居士
- 示杜體賢居士
- 示岳良壁居士
- 示陳語石居士
- 示佛印婆子
- 示佛明婆子
- 示佛見婆子
- 示葉佛顯居士
- 示易佛本居士
- 示趙佛住居士
- 示郭足法居士
- 示李賢友居士
- 示王國才居士
- 示劉宗法居士
- 示范世德居士
- 示王國安居士
- 示黃玉徵居士
- 示楊宗文居士
- 送江希賢居士
- 章祥宇居士以扇求偈
- 示馬神超居士
- 示張一嘯居士
- 示王如鼎居士
- 示金之鼐居士

- 示楊文季居士
- 示張正顏居士
- 觀潘契空居士箑頭詩字口號
- 寄劉善用居士
- 示李仁吾居士
- 示舒隰原居士
- 示楊裕德居士
- 示王居敬居士
- 示鄭洪仁居士
- 示申宗琳居士
- 示宗玩婆子
- 示宗緣刑夫人
- 示載谷鄭婆子
- 示曾一諾居士
- 示不及徐婆子
- 示于登江婆子
- 示陳待沽居士
- 示李宗韜居士
- 示宗祥劉婆子
- 示張希聲居士
- 示宗希蔡婆子
- 示楊完素居士
- 示江佛道居士
- 示龔安然婆子
- 示尼維量
- 示尼還轍
- 示一舟船頭
- 示大堅禪人
- 示似我禪人
- 示南嶽德監院
- 示會元禪人
- 示李靖邦居士
- 薦萬恭人陳氏
- 弔王秉和居士
- 弔王長山居士

- 雜偈三
  - 示愈書記
  - 示祥監院

- 示和侍者
- 示敏侍者
- 示玨侍者
- 示學侍者
- 示牧之禪人
- 示近山禪人
- 示不仝禪人
- 示湛涪禪人
- 示悅也禪人
- 示石雲禪人
- 示指南禪人
- 示佛旨禪人
- 示會一禪人
- 示空碧禪人
- 寄白馬講主
- 寄古問禪人
- 示覺一禪人
- 示大一禪人
- 示仲安禪人
- 示不悉禪人
- 示不易禪人
- 示岫雲禪人
- 示三目禪人
- 示明旨禪人
- 示淨月禪人
- 示尼宗一
- 示尼安然
- 示廣國宋夫人持法華
- 示賀居士宗福
- 示雷居士遠
- 示戴居士璞
- 示閻居士禧
- 示張居士印
- 示白居士恩
- 示徐居士太原
- 示何居士常
- 示王居士幻
- 示楊居士顯

- 示湯居士昶
- 示眾
- 示陳居士萬
- 示丁居士輔
- 示易居士生
- 示龍居士智
- 示龍居士乾
- 示趙居士本
- 示王居士朗
- 坐象巖示昆明諸子
- 示許居士三山
- 示劉居士應文
- 示陳居士宗性
- 示石居士廷瑾
- 示李居士可植
- 示許居士云盛
- 示崔居士天壽
- 示徐居士伯遷
- 示杜居士三元
- 示徐居士化淳
- 示祝居士良傑
- 示徐居士大成
- 示張居士希舜
- 示郭居士成功
- 示平居士不二
- 示王居士世統
- 示陳居士棟
- 示張居士自起
- 示曹居士成功
- 示張居士登高
- 示羅居士守庫
- 示張居士天祥
- 示史居士得功
- 示薛居士聯
- 示程居士雲鳳
- 示張居士朝玉
- 示陳居士揀
- 示王居士尚勇

- 示王居士應顯
- 示馬居士顯祥
- 示劉居士文聖
- 示曹居士應桀
- 示王居士良友
- 示趙居士良珮
- 示殷居士自常
- 示呂居士友才
- 示金居士成功
- 示李居士國珍
- 示郭居士朝鳳
- 示張居士弘名
- 示張居士計美
- 示王居士文柱
- 示肖居士二卯
- 示湯居士國印
- 示溫居士泗
- 示張居士權
- 示張居士教
- 示黃居士宗
- 示王居士道
- 示金居士豁
- 示楊居士鶴紀
- 示馮居士文魁
- 示保居士佛手
- 示楊居士中立
- 示余居士不一
- 示羅居士郁
- 示楊居士茂
- 示耿居士迥
- 示俞居士永
- 示熊居士昌
- 示李居士繼
- 示劉居士時
- 示劉居士齡瑞
- 示雷居士奭
- 示蔣居士嘉
- 示王居士晶

- 示舒居士章
- 示楊居士智
- 示孟道人奇
- 示陳道人瑞
- 示朱道人惺
- 示張道人映
- 示毛居士安
- 示張居士寅
- 示沈居士鼇
- 示熊居士易
- 示聞居士聖
- 示張居士實
- 示謝居士有

- 雜偈四
  - 示克禮禪人
  - 示擇木禪人
  - 示闊安禪人
  - 示等齊禪人
  - 示豁山禪人
  - 示普濟禪人
  - 示玉和禪人
  - 示二木禪人
  - 示牧山禪人
  - 示純白禪人
  - 示遍谷禪人
  - 訪曇華上人不遇題壁而還
  - 聽琴
  - 漁父詞
  - 種華
  - 早梅
  - 入山
  - 題鐙
  - 題壁
  - 山居
  - 示蔣居士武
  - 示晏居士圯
  - 示何居士覺
  - 示許居士貴

- 示杜居士喻
- 示宋居士皎
- 示楊居士運
- 示石居士鏗
- 示李居士祖
- 示彭居士節
- 示鄧居士靖
- 示陳居士璋
- 示王居士曛
- 示朱道人煦
- 示王居士語
- 示何居士業
- 示鄧居士處
- 示趙居士莊
- 示楊居士燾
- 示王居士塞
- 示余道人局
- 示陳道人準
- 示曹道人冰
- 示景道人經
- 示汪道人湘
- 示柳道人竭
- 示段居士戍
- 示孫居士武
- 示喬居士鶴
- 示汪居士文
- 示吳道人凌
- 示趙道人甸
- 示胡道人默
- 示傅道人說
- 示鄭道人璉
- 示吳居士嚴
- 示李道人崇
- 示李居士季
- 示潭道人祕
- 示李道人章
- 示李居士淙
- 示宋居士軾

- 示李居士碱
- 示王居士玭
- 示方道人素
- 示余居士立
- 示鄭居士洪
- 示陶居士灒
- 示李居士初
- 示王居士沐
- 示范道人沅
- 示彭居士佑
- 示趙道人爾
- 示劉道人盈
- 示陳居士沱
- 示劉道人能
- 示劉居士致
- 示馬道人涯
- 示趙居士泰
- 示王居士晉
- 示何居士既
- 示祝居士深
- 示王居士佐
- 示龔居士基
- 示范居士晞
- 示李居士正
- 示姚居士贊
- 示謝居士暉
- 示劉居士苓
- 示吳居士剛
- 示余居士任
- 示聞居士普
- 示溫居士模
- 示鄭居士宜
- 示李居士依
- 示周居士皓
- 示盧居士紀
- 示朱居士怙
- 示陳居士航
- 示王居士從

- 示李居士令
- 示吳居士忍
- 示趙居士鍾
- 示尹居士筠
- 示夏居士恁
- 示張居士誥
- 示鍾居士坷
- 示關居士雲
- 示計居士緣
- 示張居士琳
- 示王居士[月*氏]
- 示無垢禪人
- 示禪學禪人
- 示法雨禪人
- 示唯識禪人
- 示谿舌禪人
- 示覺旨禪人
- 示不波禪人
- 示融旨禪人
- 示輪旨禪人
- 示慈航禪人
- 送霽禪人還水目
- 示得心禪人
- 示尼善逝
- 示張居士蘊
- 示陳居士見
- 示宋居士橲
- 示蔣居士輪
- 示孫居士文
- 示戈居士息
- 示郭居士茂
- 示孫居士威
- 示唐居士廣嚴
- 示徐居士國倫
- 示胡居士騰所
- 示龔居士鲁
- 示黃居士昱
- 示郭居士昱

- 示熊居士繼
- 示鍾居士慶
- 雜偈五
  - 西山雜偈
  - 采蕨
  - 采薪
  - 采芹
  - 山居
  - 龍門奉和本師和尚喜雨之作
  - 喜林上人至
  - 戲書筆華館
  - 和雲腹和尚四首
  - 涉谿
  - 心景
  - 寂定
  - 水月
  - 蟬鳴樹底
  - 漁舟夜泛
  - 罌粟
  - 鬻泉
  - 聞雁有感
  - 看蓮
  - 過萬松山
  - 野望
  - 閒游
  - 步友人雪中尋梅韻
  - 過準提菴
  - 再參荊南開聖老和尚
  - 遣興
  - 自勉
  - 長松別靈巖老和尚
  - 次王應龍居士韻
  - 閒坐
  - 偕許刺史宋廣文遊龍泉寺
  - 廣陵九日
  - 孤梅笑日
  - 江梅映水
  - 訪靈隱和尚

- 金齒八景
  - 法明曉鐘
  - 西山晚翠
  - 龍池夜月
  - 芭蕉石洞
  - 安樂金井
  - 擺井楊柳
  - 雲岛石佛
  - 金雞溫泉
- 李道人給供口占
- 留客
- 乙未元日奉和開聖老人…
- 晚眺
- 喜晴柬杜爾侯
- 薄莫
- 玅應寺
- 裹本師靈和尚
- 仝汪牧鯤夜坐得樓字
- 和佟太守韓甲喇觀海之作
- 戲題大我靜主房
- 答友人餽物兼話舊
- 送友人之昆陽
- 秋日坐梵菴上人房
- 還山
- 寄都統高居士
- 秋夕與白雲上人
- 送王太守
- 答扶相國
- 與天龍陳居士
- 竹林寺
- 擬寒山詩
- 贈米太守
- 答杜長史
- 送別劉順州
- 仙月盧兵憲夜坐嵩山
- 仝岳峙如賀大來月夜登樓用前韻
- 秋日答劉文季內翰
- 示實參居士

- 雪日書示大眾
- 七夕旅次二首
- 送甸舒和尚居五華
- 示昇首座
- 送裕之張檀越齎奏京師
- 山居
- 高藍山元日登眺
- 寧國寺
- 次宋廣文寄上許刺史之作用來韻
- 太極樓分韻得秋字
- 除夕
- 偶成與竹眉竹元不磷諸徒
- 卜居金華山
- 南峰寺
- 室中聞野哭
- 綠野軒
- 仝刺史于公坐綠野軒
- 龍泉寺
- 送內翰劉文季歸里用來韻
- 喜李方伯再過賞桃
- 和福海靈老人輓淮仙先生原韻
- 示蒼石禪人
- 親王省耕南郭便泛近華洲上宴賞夫渠
- 小壺橋獲拙鳩集步蜚華入研池韻
- 和張太守游華亭寺見寄

◦ 雜著

- 贈高藍隱者
- 過紫谿菴
- 金華散步見海棠盛開…
- 裹鞏昌府綵繪二居士
- 詠梅
- 示申居士受
- 示梅居士鶴
- 示曹居士濟
- 示楊居士謝
- 示周居士昭
- 壽張居士存之
- 复李居士相如

- 示王居士令
- 示江居士汲
- 示雷居士嵒
- 示欒居士盍
- 示伍居士芔
- 山中四威儀
- 示劉居士嚴
- 贈佛果高居士
- 贈傅居士懷吾
- 示章居士祥宇
- 示造周熊總戎
- 示不昧禪人
- 示汝明磨頭
- 示李居士維谷
- 示周居士清
- 總戎熊居士祈禪銘
- 示阮居士坤
- 示王居士佛身
- 示黎居士亨
- 示劉居士文進
- 示韓居士世
- 示黃居士旭
- 示薛居士遠
- 示王居士海
- 示楊居士奇
- 示陳居士雲
- 示宋居士易知
- 示任居士古嵋
- 示貝居士鳳
- 示王居士融
- 示趙居士珠
- 示李居士玉
- 示楊居士冀
- 示周居士目
- 示陳居士景
- 示白居士道
- 示曾居士一
- 示李居士燿

        - 示金居士緯
        - 示徐居士玉
        - 示陳居士薊
        - 示楊居士轍
        - 示曾居士學
        - 示周居士維新
        - 示李居士惟
        - 示唐居士本
        - 示脫塵飯頭
        - 示羅居士欽
        - 示譚道人谷
        - 示葛居士樵
        - 示張居士注
        - 示張居士貞
        - 示李居士止
        - 示葉居士饒
        - 示左居士立
        - 示陳居士釋
        - 示吳居士述
        - 示李居士和
        - 示周居士宣
        - 示楊居士益
        - 示梁居士震
        - 薦劉道人
        - 書石刻金剛經後
        - 喜雨
        - 從軍行
        - 毗盧閣告成詩以謝兩序
        - 峨嵋山月歌
        - 和于公薄斂歌
    - 佛事
    - 銘
        - 元旦初貞喇嘛塔銘
        - 淮仙先生墓銘
    - 行實
- 卷目次
    - 1
    - 2

    - 3
    - 4
    - 5
    - 6
    - 7
    - 8
    - 9
    - 10
    - 11
    - 12
    - 13
    - 14
- 贊助資訊

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示（黑白色系版本則無顏色差別）。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

嵩山野竹禪師語錄敘

吾鄉野竹和尚，行道滇南，迤東西法乳殆遍，最後泊會城，憩嵩山寺。追余自戊戌臘底，與師晤於沙橋百萬眾中。庚子春，自絕域旋，復握手昆池，非劍戟叢中，則通都大郡。或曰：貴耳賤目者，世緣太熾，何由親見寶王而譚正法眼臧也邪？余曰：不然。夫五濁先入，終取泥洹，枯木寒嵓，燒菴絕跡，師之行臧，未可為一二拘方者道也。乙巳，門人編錄成，言言段厲，字字婆心，顧恒情為師疑者，以師棲情太上，靜入三摩，亦奚不可？此諓諓者，使玅喜見之，不憚千里而毀八閩之板矣。第灰劫陵夷，宗風泯闕，錐不入木，則羸蜬蚌蛤猶隔萬山耳。鉗錘門外，苟或遲疑，懼黃檗斸足乎？蒲桑之鼎既淪，鸚鵡之車捆載，師以一笠子、一拄杖，竿木隨身，到場即戲。高高山頂，則一劍霜寒，隻字不可改也；深深海底，則雙朱松下，鶴形不可測也。翀翀漢翮，泛泛波翼，遠錫天末，願力弘肆，直與迦葉爭衡，障百川而抵狂瀾。睠此津涯，苟非心空及第，焉能登祖案而標赤幟邪？古所稱出世而能入世者，意在斯乎？余放廢多年，其流狂癖，然略近禪意者，則漸遠名色，稍儲頓地耳。以之奉揚宗旨，猶鷦鵬已極乎寥廓，而羅者猶視乎藪澤，豈不逕庭也哉？是為敘。
時康熙丙午新夏，華東逸民蜀雒源劉莖信筆書於五華別野。

又

敘曰：聖人心主乎靜，靜而非靜，而動亦靜也；凡夫情役於動，動而不靜，而靜亦動也。夫性本圓明，如大月輪之遍照，此蘇迷盧竟界，凡所有水靡不有月，故應見之月相形，而中天之月不分也。性譬則月也，竟譬則水也。聖人不失其圓明，如月在寒潭，無纖豪障翳；凡夫為業習所錮，如月在濁水，既以昏蒙無見，加以狂飆鼓盪、諸趣掀騰，欲覬其少許澂徹亦難也。古佛西來，大意無非去溷為清、激浪為平，今時闡化尊師亦願盡人直入於玅覺而後已。然道以言顯、言以顯道，雖云向上一路，千聖不傳，夫亦何能已已？粵自南嶽而下，便推臨濟，不越三十傳，而天童密師翁承之，吻合無爽，若持左券。我師浮老人复能克肖前人，世濟其美，縱謂諸佛證入各有不仝，其上接宗旨、丕振家聲，使人離垢氛而發精明者則一。磚鏡澣兄為老人入室真子，為臨濟三十二世，向住長松，今遷福海；野竹慧禪師則又為澣兄哲胤也。禪師以穎姿入道，一回過谿，群疑冰釋，自是十坐道場，說法度人，機用真切，無忝先德。

今瓣香酬恩，法乳拈出，盍以歷來之大興祖道、頫徇輿情者，出世於昆明之慈雲、順寧之五福、富民之法華、潞南之彌勒、昆明之嵩山諸剎。門人宗宏集禪師諸會法要，為上堂、為晚參、為小參、為拈頌、為法語、為詩偈、為書問、為機緣若干卷。己卯秋，高弟宗上以所付梨棗者匈余弁於簡端，余媿非楊大年警拔，無宋學士設施，然久知禪師名，茲又獲睹其大全，有淹古貫今之識，無組章繪句之痕，揭毒鼓於當陽，奮師音於大地，豈獨嵩山滇水也哉？將所云陣雲橫海上，拔劍攪龍門者，禪師其人矣。余故不辭，而為法水月之諭以況性源，闡祖父之傳以明禪源，表揚語言文字之旨以為學源，為我福海兄慶，更為我報恩老人暨我天童師翁慶。
康熙己卯菊月柳塘居士沈雄煥一槃譚撰於吳門西山之同葉祖堂。

嵩山野竹禪師語錄目錄

第一卷
上堂
住雲南府慈雲禪院語錄
住蒙化府竹林禪院語錄
住順寧府雲州五福禪院語錄
住順寧府樹宗山善法禪院語錄
再住順寧府雲州五福禪院語錄
第二卷
上堂
再住雲南府慈雲禪院語錄
住雲南府嵩山禪院語錄
住雲南府富民縣臥龍山法華禪院語錄
住澂江府潞南州彌勒禪院語錄
第三卷
上堂
再住雲南府嵩山禪院語錄
第四卷
晚參
小參
第五卷
示眾
機緣
普說
第六卷

拈古
頌古
第七卷
源流頌
牧牛頌
佛祖贊
自贊
書問
第八卷
法語
第九卷
雜偈
第十卷
雜偈
第十一卷
雜偈
第十二卷
雜偈
第十三卷
雜偈
第十四卷
雜著
佛事
銘
行實

嵩山野竹禪師語錄目錄(終)

字攷(此刻略遵六書正訛，間有一二混仝者，錄於后)

支
(枝本字)
隶
(逮本字)
埶
(勢本字)
勺
(杓本字)

[脈-月]
（派正字）。
漏
（漏正字）。
券
（倦正字）。
[阜-十]
（堆本字）
孰
（即生熟字）
耎
（軟嫩字）
寀
（審本字）。
忝
（添正字）
橡
（橡正字）。
景
（影正字）
臧
（藏本字）。
叚
（假本字）
涂
（途正字）
冢
（塚本字）
常
（裳正字）
掔
（腕正字）。
体
（一作笨）
[弓*又]
（射本字）。
朱
（株正字）

衰
（蓑正字）
翏
（綹正字）。
身毒
（天竺）。
惡池
（滹沱）。
方良
（魍魎）
壹壺
（氤氳正字）。
嵩山野竹禪師語錄卷一

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

住雲南府慈雲禪院語錄

據室。云：「祇者箇十笏所在，自我靈山以還，下逮開聖老師六十九番，莫不都向者箇所在親行此令。山僧雖是他兒孫，決不向他腳下重書艸本。何也？」豎起拄杖，云：「曹谿波浪如相似，無限平人被陸沈。」

藩府及當路諸公、本郡紳士、眾護法請開堂。上堂，拈香云：「河嶽聳靈，與先天地而始；星辰毓秀，與後天地而終。端為祝延皇帝萬歲、藩統千秋、在筵尊官莊嚴福壽。」次，拈香云：「根生東巴，支茂南國，撞著平越一箇布衲，折合一上，如今只得斧劈不開、刀斫不斷，爇向盧中，供養見住荊南開聖禪院磚鏡璧和尚。」乃云：「時當九月下寒霜，又見家家刀尺忙，方外高人無一事，滿傾茗碗送秋光。又誰管你撾毒鼓？又誰管你嚼砒霜？但得山前禾麥孰，吾徒免得叫饑腸。雖然，王公臨筵、權貴在座，合作麼生指示？」擲下杖，云：「若對畫圖悲蛺蝶，落霞孤鶩正思君。」

上堂。舉：「僧問古德：『如何是清淨法身？』德云：『與我過淨餅來。』僧迻淨餅至，德云：『安舊處著。』僧安畢，理前問，德云：『古佛過去久矣。』」師拈云：「古德空拳誑人，未免拋擦金珠；者僧見鐘思甕，未免隨人起倒。敢保二俱未了。者裏若有問：

『如何是清淨法身？』祇向道：『不得動著。』如此不惟不致者僧泣岐，亦且免玷宗師眼目。」复以杖一時趁散。
上堂。「年來緘口坐閒房，惱恨檀門要上堂，不是山僧偏愛嬾，恐妨此語播諸方。」以拂子拂，云：「會則良馬見鞭而行，不會則來日大有事在。」
白宗堯、宗舜請上堂。「山僧連日除糞，忽覺身心疲困，才向蒲團申眠，又被柝聲驚醒。侍者云：『劍戟相摩，車馬雍隘，若非王公大人，必也道府州郡。』及乎一啟柴門，元來舊護檀信，只得斜披袈裟，倒拈佛柄，來陞此座，欲行此令。逮陞座上，又無法可陳。」拈請帖云：「幸有者箇。會麼？此是沒量大人露不盡底風規，但願始終全義气，二株丹桂久昌昌。」
上堂。「半山半水之地，快風快月人家，山前山後秋色，海南海北春霞。識不識？趙州茶，普化鈴，祕魔叉，魯祖面壁，瞿曇拈花。慧上座又作麼生？頭髮鬅鬆兩箇丫。」
上堂。舉：「古德云：『心不是物，智不是道，臨濟小廝兒，三步作一跳。』」師云：「山僧也有箇見處：心即是物，智即是道，臨濟小廝兒，築著便[跳-兆+孛]跳。大眾！未證據者看看。」
師薙髮，上堂。「頭髮鬅鬆一老竹，屈指人閒三十六，干戈叢裏嚼砒霜，老胡血脈從此出。噫嘻！別有箇見處，熊、劉兩君見山僧髮長垢多、不僧不俗，以一勺水要山僧洗之、薙之，作箇益州古佛，故登此座子，向仁者眼裏擦沙擦土。」复喝一喝，下座。
楊內府請上堂。師敲香几一下，云：「會麼？山僧剛才上座，不覺磕著香几，驚起昆池龍王，向南閻浮提雨似傾盆，使此界他方滴水滴凍。大眾！你道是神通也？是惡發也？既不會，拄杖子為諸仁者重加箋註。」遂卓兩下，下座。
王內府請上堂。「法空為座益風流，指顧何人豁兩眸？暗嗟吁，不徹頭，車不行兮在打牛。」擲下拄杖，下座。
上堂。僧問：「如何是廓然無聖句？」師云：「山僧有眼不曾見。」良久，云：「眾中莫有見得底麼？出來道看。若無，山僧自道去也。」驀拈拂子豎起，云：「三世諸佛不知有，貍奴白羖卻知有。南泉水羖牛，子湖叫看狗。」喝一喝。
上堂。「山僧適才教誡，驚起磚頭瓦塊，一齊出來誇張見解，一箇道順世菩提，一箇道一行三昧。山僧喝住云：『你者兩箇慘怪，識甚麼佛法也來者裏惡賴？祇好奉化縣裏著你在布袋。』」時有僧便喝，師下座，連棒打出，歸方丈。
因事，上堂。「支掌法社在端人，誰料端人每自瞋？不是慈雲咨口業，為緣愛惜少林春。」以手作弊拳埶，云：「莫作瞋，大家扶起破沙盆。」

宗堯、宗舜供法被，上堂。僧問：「如何是七處徵心意旨？」師云：「釋迦老子善說法要。」問：「鍛凡鍊聖即不問，如何是向上事？」師云：「拄杖頭，拂子尾。」問：「如何是生死大事？」師云：「我者裏總不見得。」進云：「作麼生脫離？」師云：「用脫作麼？」乃云：「昨日三，今日四，椎鼓登堂提本具，黑漆藤條潛似龍？一切聖凡沒回避，昔人喚作玅圓通，今時翻為鶖子智，抑揚淨名、釋迦，抬捺德山、臨濟。」以拄杖卓，云：「此是宗堯、宗舜於空王佛所夙種善根，聞山僧鯀黔至滇，遁跡慈雲，特來布施四緣及此法被，總是要山僧布縵天網、網神禽、羅俊雁、打快鷂、縛麒麟。」遂提起法被，云：「殷勤為解丁香結，放出無邊自在春。」

三山許居士請上堂。師拈拂子召眾云：「拂子舉也，萬靈不昧，千聖共知；拂子放也，河山峻秀，日月齊煇。大眾！祇如拂子也不舉、也不放，凡聖絕蹤、人天威跡時如何指示？處處無蹤跡，聲色外威儀。」

上堂。「爾欲聯詩韻不成，枯腸搜盡月三更，不若當年東院老，喫茶洗缽自分明。大眾會麼？」眾舉首，師云：「喫茶去。」

陳欽披剃上堂。師拈拄杖召眾云：「見麼？者居士與道婆夙有靈根，一見山僧便作難遭想，复於此不作男見、不作女見想，祇要薙髮為僧，兼請山僧拈提向上鉗錘，發渠腦後一段光明。山僧迫不得已，只得向空中著楔、眼裏擦沙，喚作向上提持。」卓杖云：「還委悉麼？休捩怪，休捩怪，處處行深觀自在。」

督府孫公請上堂。僧問：「未出方丈即不問，即今陞座事如何？」師和聲便打，僧擬議，師喝退。問：「昨日玅應，今日慈雲，是同？是別？」師云：「疑殺多少人？」僧喝，云：「是疑？是不疑？」師云：「也好疑，疑須三十年。」問：「如何是萬紫千紅總是春？」師云：「梅自白，柳自緣。」進云：「莫便是不？」師云：「連喚喚不醒，猶自累山僧。」乃云：「鐙籠自語夜傷風，露柱又云兩耳聾，病似膏肓無可治，岐黃再世也難攻。既岐黃拱手，眾中還有知海上奇方者麼？如無，翻腔易調去也。昔年三回平越、兩度高藍，於開聖拾得幾箇金剛圈、栗棘蓬，即日孫督府初度之期，祇得和囊解出。」遂以杖向空畫，云：「者便是金剛圈。」复向空點，云：「者便是栗棘蓬。」驀喚孫居士，士應諾，師便下座。

宗宏、宗上披剃，上堂。「身毒當年小悉達，金刀自翻青絲髮。如今复有繼前蹤，從此禍胎更惡發。更惡發，拈起拂子劈口打。呵呵！」下座。

據室。「維摩室中獅子座，多多益善；趙州院裏破繩床，寂寂無聊。且道新長老據此室合作麼生？」驀拈拂子豎起，云：「大眾看取。」

上堂。「波波挈挈上山來，水色天光映碧苔，更有香風吹不盡，十方世界一華開。也甚奇怪，適才山僧舉首上場詩布施大眾，不覺拄杖子也和一聯云：今朝四月朔旦，別無佛法相賺。若是伶俐衲僧，正好直下便見。諸禪德！你道直下便見，見箇甚麼？巴東、湖南，柴貴米賤。」

上堂。「打動東南，驚動西北，柳樹著箭，桑樹出血。有皮面燒，有底耳熱，滄海枯乾，須彌倒卓。普化踢飯床，臨濟便吐舌。」卓杖，云：「百丈有箇下堂句，今日拈來為君訣。為君訣，蹋著秤錘元是鐵。」

上堂。「熏風吹此日，叢林浴悉達。當時老雲門，一棒便打殺。便打殺，好箇白拈。賊賊賊，將此深心奉塵剎。」

上堂。「三世諸佛不知有斷木勺，貍奴白羝卻知有破笊籬。」驀喚大眾：「你諸人分上作有見邪？作無見邪？」時有僧出云：「有無不取時如何？」師云：「動口咬著舌。」

上堂。「竹埽山廣談實相，諸人有耳不聞；太極峰善弄師子，諸人有眼不見。卻是巖前石女、殿裏木人較些子。何故？他卻悟得箇百卉迎春，萬松吼日，池上風來，波濤競起，亭邊雨歇，空色鮮明，一一露遮那玅體，一一顯般若真空。所謂：理隨事變，事得理融，理事縱橫，玅協兼帶。你諸人合作麼生明得者箇說話？只饒你拈一莖艸作丈六金身用，要求箇入路也難在。」

祈雨，上堂。「六月初，天不雨，農夫憔悴幾欲死。曾無雲气油然生，但見赤日燒萬里。天師符水也不靈，男覡女巫徒逞嘴。山僧驀問拄杖子：『你道幾時有雨水？』拄杖笑曰：『仁者以理自知，又何必說出日子？』」

上堂。「秋風如瑟，秋雨如沛，行腳衲僧，和泥合水。豈有霧卷晴空，高天垂一色之光；星躔碧落，大塊有溫和之美？葉飄飄而隕溪山，雲靄靄而黯天地。雖然，者裏也有箇好處。何也？目色不色之真空，耳空不空之玅理，也不管你半提全提，也不管你誰終誰始，但願兄弟家來朝風雨一天晴，大家擺手千巖裏。」

上堂。「昔住慈雲時，日見梁城歌舞、夜聽羯鼓叩譁，權貴不絕裾於山門、紳士常問道於寢室，千指侍衛、四眾咸安，可謂贏得一場熱鬧。及隱金華時，耳聞麝栗音韻、目睹瘴癘谿山，艸木有血濺之痕、煙花多凄清之感，鳥獸雖異，鱗甲是同，五湖道人雲搖雨散、

百氏檀門煙飛火滅，可謂落得一場岑寂。而今寓竹林時，棲遲巖竇、挂錫祇園，嫩艸承趺獨超東院之奔馳、采薇充缽已勝食前之方丈，三餐何慮？一飽無憂。諸兄弟！此三種見聞悲歡離合莫不隨之，且道中閒樹子還曾動著也未？馮君莫話封侯事，一將功成萬骨枯。」

上堂。「道可道，非常道，錯；名可名，非常名，錯。諸兄弟！山僧適才兩箇錯，作麼生理會？日可熱、月可涼，松必直、花必香，一一是諸人眼同見、耳同聞，因甚道不會？所以道：目前無法，意在目前；不是目前法，非耳目之所到。於斯會得，要會適來兩箇錯字也不難。」

長寺，上堂。「晨鐘莫鼓報幽峰，一派傳鐙萬世隆，此寧誰是主？」以手自點，云：「拖犁曳杷是此公。」

住順寧府雲州五福禪院語錄

據室。驀拈拄杖，云：「隔江望見，撩起便行。好箇阿師！得與麼利？未跨船舷，好與三十棒。好箇阿師！得與麼鈍？新五福者裏要且無利鈍可束責。何故？銅頭鐵額漢，盡在我山中。」

上堂。僧問：「依經解義，三世佛冤；離經一字，即同魔說。如何是不即不離之道？」師良久，僧禮拜，師云：「水浸石頭漢，不打更待何時？」便打，乃云：「依經解義，三世佛冤；鏡中取相，水底摸天。離經一字，即同魔說；捋石虎須，繫鐵牛角。山僧據款分明，一任諸人摸索。」

上堂。僧問：「世尊陞寂光土與十二開士廣談禪病，和尚陞此寂光土與諸人合談何事？」師劈脊便打。進云：「不入驚人浪，怎得稱意魚？」師云：「可憐龍門裏，多少點額歸？」問：「如何是奪人不奪竟？」師云：「白蓮村鳥啼青嶂。」「如何是奪竟不奪人？」師云：「襄陽淚碣艸中眠。」「如何是人竟兩俱奪？」師云：「丙夜月斜叫寒猿。」「如何是人竟俱不奪？」師云：「五福陞堂萬象新。」僧云：「料揀已蒙指示，末後句子如何？」師云：「須透上頭關。」乃云：「五福曲徑，徑徑皆通上方；三門深谿，谿谿咸流長舌。處處露一色之功勛、頭頭顯無聞之般若且置，祇如即日彌陀岳降，諸位居士請五福為老人慶讚一句如何舉唱？水鳥樹林皆念佛，金閣銀臺演玅音。」

上堂。「即心即佛也不是，非心非佛也不是，不是心、不是佛、不是物也不是，泥神笑金剛骨出，土地罵伽藍面黑。會則脫體風流，不會莫枉久立。」

上堂。僧問：「如何是體中玄？」師云：「杲日麗中天。」「如何是句中玄？」師云：「石虎骨毛寒。」「如何是玄中玄？」師便打，云：「缽盂索酒錢。」僧云：「三玄且置，如何是出身句？」師复打，僧喝，師連打。問：「如何是北斗臧身句？」師云：「雲門舌頭墮地久矣。」乃云：「高低物象，舉眼便知；清濁音聲，舉耳便解。」拈拂子，云：「者箇是物，作麼生知？」擊拂子，云：「者箇是聲，作麼生解？者裏薦得，許你參得五福禪；者裏薦不得，許你參得五福禪。為甚如此？山僧今日勞倦，待來日為諸人說破。」

上堂。「眉間寶劍，血濺梵天；袖裏金錘，雄飛宇宙。者箇說話，諸人領略得麼？臧身處沒蹤跡，沒蹤跡處莫臧身。才落脣吻，盡是死門，終非湣路。祇饒舉起便知，撩起便行，腳跟下好與三十棒。還知麼？不有淮陰神算力，怎能彊項失江東？」

上堂。「雪凍梅梢，黃鐘宣气於寒谷；春回五嶺，瑞艸芽於下地。一塵不受，百千三昧全章；一念才興，無邊竟緣齊赴。雖是百花競秀，玅德家風；一亙晴空，普賢竟界。爭奈龜毛在眼裏，平地起孤[阜-十]？」

上堂。「為趁易春過迤西，迤西日夜子鴂啼，閒來一望雲山外，蠻婦長裙汲瘴谿。五福恁麼，莫有就路還家底麼？」眾無對。師云：「山僧今日失利。」

上堂。僧問：「如何是殺人不眨眼底漢？」師便打，進云：「恁麼則佛祖見之也攢眉。」師复打，云：「者是甚麼所在，說與麼話？」問：「一易來复即不問，如何是五福自天申？」師云：「卻也好箇消息。」乃云：「銀河斗柄挂虛碧，老子何曾雙眼瞥？煇天鑒地各稱尊，三歎奇哉复何益？快雁俊鷁過多時，痴人猶自倚牆壁。要見黃面老人麼？」左邊一拍，云：「在者裏。要見五福老漢麼？」右邊一拍，云：「在者裏。」复以兩手作弊空埶，下座。

上堂。「兩序請上堂，肚裏無一句。記得開聖時，有箇迴別偈：善不喜，惡不畏；饑則餐，困則睡。」良久，拈拄杖云：「一隊無孔鐵錘，速退速退。」

除日，上堂。舉：「開聖老人道：『烹露地牛，埽門上塵，棲遲澹泊，固守清貧。』者老子恁麼，只有千尺寒松，且無抽條石筍。五福則不然，無白牛可烹，無塵垢可埽，清貧非外事，澹泊何須惱？五福恁麼，你道還服得者老子口麼？」

上堂。「第一句薦得，與佛祖為師；第二句薦得，與人天為師；第三句薦得，自救不了。五福即不然，第一句薦得，溼紙裏金毛；第二句薦得，單絲控玉角；第三句薦得，兔子蹋月。諸仁者還知麼？苟或不知，總是猢猻喫毛蟲。」

上堂。「去年春，在天目；今年春，在五福。卻把寒梅子細看，支支掌破山頭綠。誰家釃酒賽句芒？不管子鴂啼血出。」
上堂。「騎虎頭，收虎尾，第一句下明宗旨。莫有明得第一句底出來？」僧出便喝，師便打。進云：「惟此一事實，餘二則非真。」師連打，云：「落七落八了也。」問：「庭前柏樹子，意旨如何？」師云：「闍黎自道取。」進云：「趙州老漢來也。」師便打，乃云：「空中杲日，高天絕負耳之瑕；寺邊溫池，長年淨秦時之鑑。靈光獨燿，迥脫根塵，體露真常，即如如佛。大眾識麼？其或未識，待下座看。」
上堂。「山青水綠，松直棘曲，喚作自然，孤負先佛。所以道：語帶玄而無路，舌頭談而不談。」驀顧左右，云：「分明舉似，祇是汝諸人猶欠伶俐。」
上堂。「千峰峻秀，萬簇然，一室虛明，群機自露。者般時節，若是先德門下猶較些子，五福者裏未點首在。不見道：切忌動著，動著則禍生。」复舉趙州石橋話，有僧便喝，師下座，搦住云：「莫是適才喝老僧者麼？」僧擬議，師拓開便打。
上堂。「年老身閒無外事，攜笻日日蹋莓苔，也知綠野情相慣，鄰曲相逢笑幾回。力倦歸來剛欲臥，椎鐘又上雨華臺。」顧視大眾，云：「者裏莫有高揖釋迦、不拜彌勒者麼？」便下座。

住順寧府樹宗山善法禪院語錄

據室。「昆池深碧，邊日含煙。地中雷复，嶺上梅鮮。此事且止，祇如古人析骨還父，析肉還母，然後見本身為眾說法。析骨析肉，不煩大眾。你道如何是本身？」時僧出作禮，師打云：「饒汝鐵額銅頭，也須七華八裂。」
上堂。拈香云：「奠似棉，硬如石，開聖堂中拾來，樹宗山裏拈出，爇向盧中供養磚鏡壁和尚。」乃云：「昨日雨，今日雨，平地盆傾三尺水，許多禪客泛渺茫，帶水拖泥來山裏。者裏有箇禁忌，是甚麼禁忌瞥？善法堂前切忌是非。」
上堂。僧問：「灌頂之記、麟趾之祥即不問，格外超宗一句如何？」師云：「雨滴滴地。」進云：「恁麼則甘霖潤澤含青翠，白蓮村露一支春。」師云：「賴有闍黎共舉揚。」乃揮拂子，云：「祥符居士設此伊蒲，要我舉揚宗乘，以光佛祖徽猷，並欲保孩提轉夭壽為彭年、易凶星為吉曜。若論齊彭顏、一生死之理，雖佛祖亦不敢正眼覷著。何也？從始至終求其夭壽死生之狀了不可得，況善惡諸曜于中作祟邪？」复揮拂子，云：「會麼？天上石麟兒，人間報英物。」

上堂。「六載雪山忽破疑，不知白盡一雙眉。雖然遍界無臧處，說與吾徒那箇知。那箇知，一度華開一度思。」
上堂。「樹宗山裏野僧家，飯罷濃煎東院茶，寄語諸方達道者，一年一度笑雲霞。你道笑箇甚麼？」良久，云：「壁潰鐙飛樹，椽差月漏裟。」
上堂。「春回陽谷，普賢之家風；華亂支頭，文殊之竟界。起也，山河大地歷歷目前；放也，萬象森羅頭頭不至。」揮拂子，云：「委悉麼？其或未委，且與講戒。」
辭院，上堂。「龍潭萬丈碧如秋，為探金鱗放釣鉤，惱恨水寒魚不餌，此回依舊櫂空舟。」以杖指云：「侍者把艸鞋來。」遂下座。

再住順寧府雲州五福禪院語錄

開盧，上堂。拈香祝聖畢，末後拈香云：「此瓣香供養磚鏡大和尚。」僧問：「昨日樹宗，今日五福，敢問落何階級？」師云：「杲日當空照。」僧擬進語，師便打，乃云：「世亂啼饑滿道塗，如今五福又開盧，太平寰宇從今得，萬指叢中任指呼。山僧恁麼，莫是自譽麼？莫是激發諸人麼？祇是不歸歸便得，五湖煙景有誰爭？」
除日，上堂。「嶺上梅花亂，階前爆竹催，虛空聳兩耳，昆侖眼豁開，鐙籠兀兀地，露柱笑滿腮，嗟君塗路客，嗟君故鄉哀。」顧視侍者，云：「借問門前客，今朝幾箇來？」
元旦，上堂。「新年佛法有，東家歌唱飲桮酒；新年佛法無，西家貧者歎饑虛。元正啟祚，萬物咸新，斗柄指寅，羲爻畫泰，鶯啼紫陌，猿嘯丹巖，家家拜賀嘉猷，處處歡呼聖德。既然，為甚有歎饑虛者？貴賤雖異等，出門皆有營。」
上堂。「火樹千門燦，簫鼓萬家叩，問：是何時節？報云：元宵天。車不橫推，理無曲斷，慧日本常光，能仁破諸暗。諸仁者！就竟題情即不問你，你道元宵佳節還有識得自己光明底麼？」
上堂。「石佛嶺豪相騰煇，謾乃江漁歌不息，谿艸囀緣，山花孕紅，隴上鶯啼，峰前虎嘯，蠻婦步月，舍翁鼓琴，石佛椎鐘，長老陞座，一一都是為諸人發上上機、演第一義。諸人為甚麼都作竟觀？可惜許！」
上堂。舉：「僧問虔峰：『十方薄伽梵，一路涅槃門，未審路頭在甚麼處？』峰以拄杖畫一畫，云：『在者裏。』」師云：「者箇公案喚作止啼，又喚作歸路，如此商量，虔峰未必肯在。如今有問五福：『十方薄伽梵，一路涅槃門，未審路頭在甚麼處？』五福亦以拄杖畫一畫，云：『恁麼驢年去在。』」

上堂。「適才溫池見河泊、水仙二人論義，一曰：『水流溼，火就燥，也不失為本分。』一曰：『火不待日而熱，風不待月而涼，也不失為本分。』山僧見了，約住謂曰：『二人恁麼，正似盲人摸象，各說一耑，所謂苦瓠連根苦，甜瓜徹蒂甜也。』二人見與麼道，禮拜歎言：『大師大慈，令我得入遊戲神通無礙三昧。』」師顧左右云：「前頭猶易可，末後更愁人。」

上堂。「如何是諸佛出身處？有者道東山水上行，有者道西河火裏坐，有者道熏風自南來，殿閣生微涼。五福則不然，新發意菩薩亦复不能知。」

上堂。「不取一法，雞寒上樹；不舍一法，鴨寒下水。臨濟喝似雷，德山棒如雨。五福即不然，貓兒偏解捉老鼠。或有出來道：『華王座上不得寐語。』五福向道：『汝也不妨伶俐。』」

順蒙守府陳公供法衣，上堂。「廣大門風，威德自在，如師王出窟，百獸潛蹤，應龍在天，一雨甘澍，可與日月增光，良不虛也。正如陳公居士見將軍身護持正法，供此法服，不惟報答二恩，亦要大地人成佛。」以衣拂一拂，云：「一領雲霞無相服，人天普蔭萬斯年。」复舉迦葉倒卻門前剎竿著話，拈云：「迦葉雖有肘後靈符，爭奈是靴裏動指？阿難雖有掌上明珠，爭奈是喉中抓癢？若是五福，但舉起衣，云：『者是陳居士供底。』」

上堂。「父母未生前，虎咬大蟲。父母已生後，蛇吞鱉鼻。恁麼也是指蹤畫跡。既然他自休，大德請法如何舉似？拈起烏藤條，擊落天邊月。」

上堂。「鳳翔居士，追修冥福。作合羅飯，滿盂蘭盆。海眾雲臻，凡聖蝟集。吹大法螺，擊大法鼓。要山僧演大法義，是以登此寶座。祇如大法義作麼生演？山河天眼裏，世界法身中。」

上堂。驀召大眾：「昨夜三更，山門與佛殿和歌自樂。一箇歌：『東家牛生卵，西家馬出鵝。』一箇歌：『竿柬乾處尿，驢擇溼處屙。』五福見了也，歌云：『碧雲綻處家家月，鐵樹花開處處春。』大眾，你道者箇歌曲是何法中收？」

普請，上堂。「誰說為僧日日閒？為僧擔負也相關，天明清課剛然了，三頓梆聲催出山。」

上堂。「生死事大，不可放逸。若一放逸，未免棒喫。恁麼告報，或有箇猛烈漢子出來推倒禪床，喝散大眾道：『老和尚！你面皮厚多少？』山僧也祇得忍气歸方丈。何也？者樣衲子也難得。」

上堂。「夜來堂裏一僧呈箇頌子云：『此亦不曾往，彼亦不曾來，斂眉天外看，明月在蒼苔。』者箇頌子大似喫官酒、臥官街，當處死、當處薶，有甚觀光？」

上堂。舉：「鼓山上堂云：『鼓山門下不得咳唾。』時有僧咳嗽一聲，山云：『作麼生？』僧云：『傷風。』山云：『傷風即得。』」師云：「還知大小鼓山被者僧熱謾麼？若知，還可救得。所謂咳唾落九天，隨風生珠玉。」

解制，上堂。「豎法幢，立宗旨，養育才器；開盧韝，展鉗錘，陶鑄俊傑。此是五福與諸仁者廝結眉毛，打者鼓笛，然不知老面皮厚多少也。雖然，聖制周完，諸人四去，若遇著伶俐底，問：『五福說甚麼法？』如何抵對？」

上堂。「維摩杜口於毗邪，釋迦掩室於因沙，玄沙築指於鳶嶺，雪峰悟道於鼇鎮。識得此四老子，當堂分付法印，正所謂鄭州梨，青州棗，萬物無過出處好。」复云：「子丑寅卯。」

上堂。僧問：「天地未分，聖凡未著，者箇主翁在甚麼處？」師云：「頭指天，腳蹋地。」進云：「除卻者箇墶？」師卓杖一下，云：「是甚麼？」問：「如何是臧身句？」師云：「一片白雲橫谷口。」乃以杖指露柱，云：「要見麼？見見之時見非見，山僧不妨通一線。未分已分問若何，兩箇五百是一貫。」复顧左右，云：「何曾是符到奉行，兵隨印轉？」

普請，上堂。「烏衣語梁不住，雲水道人非閒，所以五福梆催，又要大家出山。」召眾，云：「古人道：柴般人，人般柴即不問，登山涉水還有觸目菩提麼？」眾無對，師代云：「般柴去。」

龍潭竹雲室，上堂。「龍池龍起，萬浪千濤。雅對雅鳴，三村兩落即不無，如何是衲僧本分事？石龜吞卻鐵鷂子，木人騎著玉麒麟。」

上堂。「一二三四五六七，楊岐老子舌頭赤。新婦騎驢阿家牽，伶俐衲僧爭得識。」喝一喝。

上堂。僧問：「黃檗行化即不問，婆子掩門意若何？」師云：「饒汝伶俐，也須疑三十年。」進云：「也是幾度賣來還自買，為憐松竹引清風。」師云：「爭奈缽盂何？」進云：「閉門推出人不識，一任梅花別樣薌。」師云：「太無猒生。」乃云：「即心即佛驢覷井，非心非佛井覷驢。不是心、不是佛、不是物，擔枷過狀，三世諸佛有口祇堪挂壁，且喜沒交涉。還委悉麼？」拈拄杖卓一下，云：「棒下無生忍，臨機不見師。」

上堂。「連朝雨雪下峰頭，各寮松火燒盧頭，猿沒嶺頭，鳥絕支頭，隴上寒梅不徹頭，不可頭上更安頭。」

上堂。舉：「徑山和尚云：『法是常法，道是常道，拶破面門，點即不到。』」師云：「徑山老人好箇曲調，千載之下可惜無人接拍，山僧未免狗尾續貂。」乃云：「法是常法，道是常道，拶破面門，旁觀者笑。」

上堂。「山僧今年四十，回首祇如瞚息。自笑平生驅馳，何曾得閒半日？」拈拂子拂一拂，云：「不可以知知，不可以識識。正恁麼時如何？行招兩社僧，共步青山月。」
上堂。「天下叢林浴佛，獨是者裏最毒，請看八德盆中，惡水一瓢澆沃。大眾！還有知恩報恩者麼？」眾無對。良久，云：「須是木上座始得。」便擿下。
嵩山野竹禪師語錄卷一(終)

嵩山野竹禪師語錄卷二

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

再住雲南府慈雲禪院語錄

沅江總府王公請上堂。「一缽年來頗自過，愛閒不打葛藤窩，如今又上華王座，依舊開場唱哩囉。還有共相酬唱者麼？」僧問：「如何是慈雲竟？」師云：「水環彌勒寺，雲起太華峰。」「如何是竟中人？」師云：「髦頭垢面老，眼空四海中。」進云：「恁麼則慈雲普覆無邊剎，慧日光吞宇宙新。」師打云：「闍黎莫被竟謾好。」一僧不法，師下座打出，复陞座云：「剛才拔出金鞭，折卻野狐脊骨，不是憎愛斯人，祇要辦正眼目。據道而論，似杲日當空，物象自明；秦鏡當臺，魑魅自怪。山僧始自荊南被本師靈巖老人屈折數番，喫盡甘苦，始得登此寶座。雖忻此遇，然常恨不能盡吾師之道，每自剋責，若臨深履薄。奈何後進不仰先賢，卻來者裏謂是天童衣缽、謂是萬峰適胤，惑亂諸人，而又亂形問答，大言不慚。若不打出，使之滋蔓，即山僧過也。胡不聞古人：一言墮狐貍五百生，一語倒屙三十載。斯人豈不耳而目之邪？故山僧不敢以人情愛人，自昧招愆之罪，必準叢林規矩，逐出三門。所謂支葉糟糠之柬，良有以也。各自努力，珍重珍重。」

上堂。僧問：「威音那畔消息，請師直指。」師良久，進云：「恁麼則十世古今始終不離於當念。」師云：「徒來念詩章。」乃云：「聽聽豐山才打鐘，蠅迎蟻曳列鴛鴻，要知歷歷祖庭事，侵早金烏出海東。」

上堂。僧問：「無手人合藥，無病人還得喫麼？」師云：「得喫不得喫，干你甚事？」進云：「恁麼學人無分也。」師云：「即便有，堪作麼生？」僧擬議，師便打。典座問：「如何是祖師西來意？」師云：「汝也不妨善能藥石。」乃云：「連日冒風倦不暇，潑天噴嚏如相罵，忽然撾鼓請陞堂，逼得通身白汗下。或有箇旁不甘底出來道：『老和尚既是大善知識，因甚麼逼得通身白汗下？』山僧但向他道：『瞎漢！汝也不妨疑著。』」

包章京張公請上堂。僧問：「世尊說法百萬人天，和尚說法百萬人天，是仝？是別？」師云：「兩采一賽。」進云：「恁麼則慶賀去也。」師云：「也不消得。」乃云：「祖師心印如岡如陵，其動也，萬物育焉而不盈；其靜也，百谷密焉而不及。乾坤之內、宇宙

之閒，中有一寶祕在形山即且置，今日張護法為男祖保保壽又如何分付？惟願孩兒愚且鹵，無災無患到公卿。」
上堂。僧問：「馬祖陞堂，百丈卷席，意旨如何？」師云：「脫體風流。」進云：「恁麼則滇南獨露一支春。」師云：「見箇甚麼與麼道？」僧喝，師便打。問：「學人未問時，早落第二頭也，請和尚向第一頭道。」師云：「勘過了打。」乃云：「菴前細雨，飄飄颺颺；海上溼煙，青青黯黯。太華山上撲碎金蟾，羅漢壁閒高飛蝴蜨。道是指物傳心，何異犛牛愛尾？不道指物傳心，正是盲龜值木。然則映楚居士求法又作麼生？一籃栗棘蓬，幾箇金剛圈？」
上堂。僧問：「閉門打睡，接上上機；顧鑒嘶呻，曲為中下。設有高揖釋迦、不拜彌勒者來，和尚如何相待？」師云：「百二尺潭清見底。」乃云：「十五日已前，逢人則出，出則不為人，迎之不見其首；十五日已後，逢人則不出，出則便為人，隨之不見其後；正當十五日，一拳拳倒黃鶴樓，一踢踢翻鸚鵡洲，有意气時添意气，不風流處也風流。慧上座恁麼，臨濟大師在背後咬指云：『將謂無人，也有者箇。慧上座！咄！咄！莫作是說。若作是說，祇見錐頭利，未見鑿頭方。』」
上堂。舉：「僧問趙州：『如何是出頭來底人？』州云：『諸佛菩薩。』徑山和尚云：『元來趙州膽小。或有問：「如何是出頭來底人？」向他道：「泥豬癩狗。」』」師云：「二老宿，一人膽小，兩手擎天；一人膽大，四稜著地。或有問：『如何是出頭來底人？』但向道：『驢脣先生。』慈雲恁麼，且道喚作膽大？喚作膽小？」
普請，上堂。「兩住慈雲法社開，四緣亦有人將來，梆聲無那驚人耳，也要勞拴舊艸鞋。」
上堂。「爛東瓜吞卻嘉州大象，寬闊有餘；斷貫索鞭起陜府鐵牛，縱橫無礙。然雖如是，猶涉化門本分，衲僧必不為矣。還會麼？」便下座。
上堂。僧問：「學人有一物，豎窮三際，橫遍十方，如今欲成僧伽黎，未審還得麼？」師云：「得，得。」進云：「恁麼則普天匝地也。」師云：「不得，不得。」問：「如何是奪人不奪竟？」師云：「華陰山前百尺井。」「如何是奪竟不奪人？」師云：「中有寒泉徹骨冷。」「如何是人竟兩俱奪？」師云：「誰家女子來照景？」「如何是人竟俱不奪？」師云：「不照其人照斜領。」乃云：「把破木勺一舀，舀盡滄海水；著爛艸鞋一蹋，蹋倒須彌山。祇教阿耨達池無涓滴，玅高山王絕點埃。者箇作略，須是有傾湫之埶、倒嶽之機底衲子始得。不然，終是塗路人，何日是歸期？」

上堂。僧問：「南泉斬貓，意旨如何？」師便打。問：「大死底人卻湣時如何？」師云：「還我話頭來。」進云：「若不仝床睡，安知被裏穿？」師云：「眉毛下是甚麼？」乃云：「雨雪交加，金峰若葩；瓊樓獨朗，玉宇參差。覓石羊，處處無蹤；趁白猿，樹樹如華。所以道：論其事也，理隨事變；論其理也，事得理圓。理事洞融，人法雙顯。」呈拄杖，云：「慧上座放行了矣。還會麼？琉璃殿上騎金馬，明月堂前輥繡毬。」

上堂。僧問：「洞山過水，意旨如何？」師云：「一雁落長空。」乃云：「潛入滇南已十秋，碧雞金馬坐兩頭，分明露布真消息，無那高人不肯休。兜香餌，理釣鉤，大似雲南府昆明縣三市街賣卜底老周，有問馬，卻說牛，木相卯，金王秋。雖然，總是雪峰道底。」

上堂。舉：「僧問趙州：『萬法歸一，一歸何處？』州云：『我在青州作領布衫，重七斤。』開聖老人云：『疊翠峰頭。』」師云：「趙州祇知有屋裏皮毛，不知有孤峰獨露；開聖祇知有孤峰獨露，不知有屋裏皮毛。所以一箇誇富於石崇，一箇誇貴於商嶺，各與二十拄杖。為甚如此？將此深心奉塵剎，是則名為報佛恩。」

開聖老人誕，上堂。僧問：「老人誕期猶是者邊事，如何是那邊事？」師云：「鞭撻不回。」問：「牛頭未見四祖時如何？」師云：「落得一場喜。」「見後如何？」師云：「落得一場喜。」「見與未見時如何？」師云：「向女道落得一場喜。」乃云：「大眾與吾師慶誕，慧上座不惜與大眾作箇滿散。」遂作女人拜，下座。

上堂。喝一喝，云：「會麼？視之不見名曰夷，聽之不聞名曰希，摶之不得名曰微，正打旁敲下下隨。」复喝一喝，云：「者兩喝，有一喝是賓、有一喝是主，試柬點看。」

受嵩山請，辭院，上堂。拈帖示眾，云：「言言金石，字字珠璣，不但當道青松碑文白字，亦且百城共腑、千里仝風，莫道慈雲矢上加尖、照孔著楔好。雖然，者猶是慈玉上座及湯玉欽眾居士底，且如何是山僧底？」遂度帖，云：「知事宣過。」乃云：「僕夫行徒正思思，此去嵩山春正濃，兩隻艸鞋獰似虎，一條拄杖湣如龍。」以杖橫肩，云：「會麼？杖頭八面起清風。」

住雲南府嵩山禪院語錄

據室。「從上尊宿都在者裏，驅臨濟喝、拈德山棒，一往觀來，總是借婆衫子拜婆年。山僧雖是後生，必也別資一路始得。」乃以火箸撥盧中火，云：「只者一星子，家家屋裏少他不得。」

到院，眾護法請上堂。拈香祝聖罷，次拈香云：「此瓣香奉為平西親王殿下並當道尊官、薦紳文學、當山請主、見前僧俗等。」末後拈香云：「此瓣香供養磚鏡大和尚，用酬法乳。」僧問：「如何是毗盧竟？」師云：「有水皆含月，無山不帶雲。」乃云：「斬新日月，特地乾坤。棒如雨點，喝似雷奔。昆海老龍王只得平地波起，淹到三十三天，嚇得帝釋天王來此惡發。云：『是甚麼得如此利害？』山僧約住云：『莫作瞋，大家且看太平春。』」

鑄佛成，上堂。「昆明池上毗盧閣，金馬坊前嵩嶽祠，神鼎漫云好座殿，而今涌出大雄師。山僧適才從三市街過，見一夥俗士共相論云：一謂『鑄工善鑄，所以三十二相、八十種好無不自在、無不映徹，此非滔佛邪？』一謂『住持長老善說法要，所以三藏十二部、一切修多羅都在杖頭喝底，使一切見者、聞者悉皆成佛，此非滔佛邪？』於是各各爭論不已。山僧見之，不覺笑曰：『據道而論，不是者箇道理，須要揭開毗盧頂門，坐斷報化佛舌，始有入路。不然，但有言說，都無實義。』」

上堂。「嵩山日午到街中，萬戶千門迥不仝。漫道家家然火把，白頭人尚笑春風。正恁麼時如何委悉？火樹銀華合，星橋鐵鎖開。」

上堂。舉：「趙州到一菴主，問云：『有麼？有麼？』主豎起拳，州云：『水淺不是泊船處。』又到一菴主，問云：『有麼？有麼？』主亦豎起拳，州云：『能縱、能奪，能殺、能活。』便禮拜。」師云：「二菴主不妨奇特，等閒豎箇拳頭，直似楞伽山四面無路可入，若非趙州神通，菩薩亦難窺看。雖然，繩頭早落在趙州手裏。何也？不見龜負出來，喪性命於赤字。」

上堂。「有時揮太阿，刳佛碎祖；有時烹露橼，沃肺澆腸。若是其中人，不消一句，自然風行艸偃。不見他古人道：天是天，地是地，山是山，水是水，僧是僧，俗是俗，男是男，女是女。有甚麼磎徑？雖然，振邦居士為母添壽又如何道？母也天只無量壽，海闊山高莫與齊。」

上堂。「春回百谷煖，千條楊柳開，看看無向背，嫩緣舞莓苔。」乃舉拄杖云：「樂見麼？見見之時，見非是見，見猶離見，見不能及。不見道：羚羊挂角無覓處，莫向峰頭泣艸萊。」

師誕，眾請上堂。「雲門打殺世尊，不是好心；金籠籠鴿祝相公一百二十歲，不是好心。今日四眾與山僧慶生，是好心不是好心？有意气時添意气，不風流處也風流。」喝一喝。

浴佛，上堂。「身毒九龍浴悉達，不似嵩山更惡辣。滾滾一鍋艾葉湯，大家齊來滔澆殺。」以手作澆勢云：「滔澆殺，雨溼街頭如油滑。」

長松專使送法衣至，上堂。師拓起，示眾云：「見麼？若也見得，始知未離兜率，已降皇宮；未出母胎，度人已竟。那堪更要露袒半肩，起模作樣？其或未見，慧上座熱謾諸人去也。」復以衣拂一拂，云：「祖禰不了，殃及兒孫。」

上堂。「問話者，直饒天池作口、昆海為舌，橫問豎問，問到盡未來際，問亦問不著；即使嵩山亦以天池作口、昆海為舌，橫答豎答，答到盡未來際，答亦答不著。總之，十言九中不如一默。雖然，如今辟居士為青雲剃度又作麼生？白日傳心淨，青蓮喻法微。」

上堂。「嵩山有兩句，才欲與諸人說破，忽開化三聖和尚括缽盂物來山飯眾，要嵩山陞座說法。嵩山自揣識陋，不能善巧，祇好將者兩句向諸人說破。」遂高聲云：「口渴思喫茶，肚饑要喫飯。」

上堂。「箇事元來不別，腳跟點處莫疑，舊日寒山拾得，痛罵豐干古錐。如今王公權貴結此勝緣，廣利群品，要山僧演出摩訶般若薦拔無生，山僧也未免向第二門露箇說話。」以杖卓云：「大施門開，絕無壅塞。所以道：神光不昧，萬古徽猷。入此門來，莫存知解。」復顧大眾云：「為甚麼行人更在青山外？」

上堂。「破艸鞋，爛東瓜，謾天說價；連城璧，照膽鏡，就地還錢。者裏不消一摑，自然人閒天上，所以放行則瓦礫生輝，把住則黃金失色。祇如今放行好？把住好？識人多處是非多，知事少時煩惱少。」

千佛會眾居士請上堂。「眾香國裏臧身，百艸頭邊露景，威音者畔，空劫已前，舉古明今，遠問近對，當機覿面，覿面當機，遇奇特人，顯奇特事。不見昔有秀才看《千佛名經》，問玄沙和尚云：『三千諸佛但聞其名，未審居何國土？還化物也無？』沙云：『黃鶴樓崔顥題詩後。秀才曾題也未？』才云：『未曾。』沙云：『得閒題取一篇好。』」師召大眾：「還會麼？聽取一頌：三千諸佛居何土？崔顥題詩黃鶴樓，曳得白牛全體出，堂堂倒跨上揚州。」

上堂。「老鼠咬江波，蚯蟮嚼生鐵，烏龜笑大蟲，蝦蟆吞卻月。識得此四句，一生參學事畢。」

上堂。「昨日晴，今日晴，山色分外明。分外明，更有啼猿三兩聲。三兩聲，長連床上可憐生。」復舉：「僧問古德云：『如何是佛？』德云：『即汝便是。』其僧悟去。」師云：「者僧悟去，祇悟得箇識神。若是佛，未夢見在。山僧即不然，或有問：『如何是佛？』向道：『一二三。』」便下座。

上堂。「日日空濛下不休，門前石徑滑如油。來朝自有紅輪出，行人莫只怨高秋。阿呵呵！翻憶傅大士，步行騎水牛。」

上堂。「舉一不得舉二，放過一著，落在第二。觀世音菩薩將錢買胡餅，放下卻是饅頭。」驀豎拄杖，云：「樂見麼？騎竹馬，上高樓，手執紅羅扇遮面，不令人見轉風流。」曳杖，下座。
上堂。「高天皓月淨無塵，分明拓出贈與人。大地本來祇此箇，何須更去問西鄰？」以拄杖畫一畫，云：「還見麼？見則大家休去，未見依舊東魯西秦。」
上堂。「一事透徹，萬理圓融；一機幹旋，十方坐斷。聖號凡名，由此而章；殊相劣形，以之而見。所以，一明永明，一見永見，更不借絲豪力也。大眾！直似長劍倚天，神威凜凜。正恁麼時，眾居士為用上座成此袈裟，如何分付？」乃度衣，喝一喝，下座。
李廷弼薦嚴，請上堂。「佛法在世間，不離世間覺，若離世間覺，何異求兔角？開眼也著，合眼也著，有漏芃籬，無漏木勺，沒量大人，羊腸信腳。」乃按拄杖召眾云：「此是我阿思哈哈番明宇李公用底三略六韜，落在山僧手中，不妨為公更下箇註腳。公其生也，秉張良之資、淮陰之算；公其歿也，題馬援之柱、留竇憲之碑。雖然，且道超生死、絕去來又作麼生委付？一葉一華一世界，一塵一國一如來。」
上堂。「極大仝小，不見邊表。極小仝大，是何竟界。祖師肝膽向人傾，他家更在青山外。」喝一喝。
宗璽佛源張護法誕，請上堂。「昨日雨，今日雨，點點打著心眼裏。報汝諸人知不知？古佛過去已久矣。劫雲初，芥石始，更詢華甲與春秋，佛源佛源祇者是。」
額駙衛檀越請上堂。「六鼇載地，五嶽擎天，石麟應記，少陵題篇。所以道，圓仝太虛，無欠無餘，包羅萬有而不盈，含吐珠璣而無罄。蹋著路頭，撥轉關捩即且置，祇如法一丹尼大衛檀越為祖護植福又作麼生？奕葉流芳繼閥閱，連綿瓜瓞奏塤篪。」
上堂。「山僧恰直橋頭，見兩人把手引白，一人云：『昨日雨，今日晴，是明法身事』。一人云：『芍藥開，棕櫚長，是明法身事。』忽有人從旁約住，罵云：『汝二人恁麼只解說法身，若法身實未夢見在。』山僧見之，忍俊不禁，乃痛與一喝，者一隊漢各箇削跡而去。」乃顧左右云：「佛身王居士母難之辰，要山僧舉揚箇事。且道箇事如何舉？」復顧左右云：「上來舉揚，理合回向。吽！吽！」
上堂。「莎底因生一念，遭他毒螫通身。明王藥出金鉼，如日銷鎔薄冰。攪長河為酥酪，變大地作黃金。轉關逶軸、換斗迻星即不無，且王秉和為會成祈永年又作麼生道？八萬四千塵勞門，流入莊嚴智慧海。」

上堂。「太和令陳公於催科撫字之暇，捧出無盡香飯供養無邊高僧，為母樊夫人祈益福算，仍要嵩山陞此座子舉揚宗乘，藉此法利並答罔極。嵩山既到此座，說箇甚麼即得？」良久，云：「我有箇方便。」以杖連畫，云：「福於斯，壽於斯，與滄海並，與南山齊。」

上堂。「大事未明，如喪考妣；大事已明，如喪考妣。大事未明固是，大事已明因甚如喪考妣？當時祇道毛長短，燒了方知地不平。」

玄初劉公請上堂。「談笑梁州十載餘，白雲深處每相期，碑文白字還須刻，莫厭慈明相為時。」复舉：「李狀元訪徑山杲，杲上堂，舉：『僧問雲門：「如何是和尚家風？」門云：「有讀書人來報。」』杲云：『讀書人已在者裏，作麼生與伊相見？』顧視左右云：『不是冤家不聚頭。』」師云：「讀書人已在者裏，作麼生與伊相見？嵩山亦顧視左右云：『文章千古事，得失寸心知。』」

上堂。僧問：「如何是嵩山竟？」師云：「門連昆水，山接華峰。」乃云：「太華山、華亭寺、羅漢殿、太史祠，往古來今，無變無易，箇中消息，幾箇能知？即使打地張口，長慶生眉，更有拈皁角悟救餈，敲木盆要遞泥，貓兒尾上繫檑椎。還會麼？大蟲裏紙帽，好笑又驚人。」

住富民縣臥龍山法華禪院語錄

據室。「深固幽遠，無人能到。如今新臥龍已得端居此室，倒拈拂柄，把住要津，不通凡聖矣。你湖海衲僧到來，又如何管待？」以杖畫云：「雲門餅，趙州茶」。

開盧，金聲振請上堂。拈香祝聖畢，次拈香云：「此瓣香奉為平西親王並當道護法檀越紳士等。」末後拈香云：「此瓣香气吞諸方，師表百世，爇向盧中，供養磚鏡大和尚。」乃云：「臥龍山寺老禪和，此日盧開到嶺阿，添煤祇借金居士，凡聖還教避得麼？」時有僧問：「如何是賓？」師云：「闍黎是暫到。」進云：「如何是主？」師云：「鐵輪天子。」僧禮拜，師便下座。

上堂。僧問：「如何是臥龍竟？」師云：「碧水流白鷗。」乃云：「山日麗長空，衲僧齊曬眼，可惜閒工夫，作在衣架上。」喝一喝，下座。

上堂。豎拄杖云：「會麼？於斯會得，便知釋迦老子打失眼睛底時節；脫或未會，聽臥龍處分。然而者事祇饒牙如劍樹、口似血盆，亦難彷彿，除是過量人方有趨向分。如今深山裏土地，也在瞠眉努

眼謂之直指。烏乎！老胡豈不絕望？不見道：參須實，悟須實，閻羅大王不怕多語。」
上堂。「珠樹靄沈沈，滄江涌萬尋。昆明一線月，旁午上東林。且道明甚麼邊事？昨日雨，今日晴，寒軒暴背樂忻忻。」
上堂。「一九兩九，裹中插手。大雪[阜-十]山，孤鳥啼柳。品字地盧蔪生柴，無底缽盂煖白酉。更烹露地牛，殺子湖狗。醉飽拍且歌，呵呵笑破口。臥龍祇此要人知，莫怪普化翻筋斗。」
普請，上堂。「梆聲震天，普請出嶺，雖有冰霜，絕多佳景。向前拾得缽盂卸柄。」复長揖，云：「不審，不審。」
上堂。僧問：「如何是三寶？」師云：「稻、梁、菽。」進云：「意旨如何？」師云：「衲僧三頓飽齁齁。」乃云：「若是德山、臨濟……」以杖指云：「且向者邊立。若是文殊、普賢……」以杖指云：「且向者邊立。」顧左右云：「臥龍不合為諸人註解。」便下座。
除日，上堂。「爆竹徹天，桃符入地。世出世閒，總此周備。」卓杖，云：「一芥墜而地覆，一塵飛而天翳。」
元旦，上堂。僧問：「陰陽未形，主人公在甚麼處？」師云：陰陽既形，主人公在甚麼處？問：「無夢無想，主人公在甚麼處？」師云：「日出後看取。」乃云：「壁立龍山，鉤曲塘水，躍魚飛鳶，來泰去否。昨日舊年終，今日新年始，新年與舊年，總著者些子。以我為隱乎？吾無隱乎爾。」
上堂。「你諸人直饒把三經五論、三墳五典、諸子百氏、世出世閒、工巧伎術總作一句來問臥龍，臥龍不消一摑答汝諸人了也，且與箇事總沒交涉。汝諸人各有一具地，還穩當也未？莫當等閒，且將未穩當底看看。諸仁者！但辦肯心，必不相賺。還委悉麼？」良久，云：「無人知此意，令我憶南泉。」
到武定府福田寺，上堂。僧問：「正法眼臧，意旨如何？」師拈拄杖，云：「委在今時。」僧禮拜，師打一棒，乃云：「六華飄空，群峰集瑞。漁父敲冰，牧兒瞌睡。慈明堂前榜，為山肋上字。佛果雞啼太原角，吹玄沙指神光臂。」以杖一卓，云：「一一皆從者裏去。」复卓，云：「大海終須納細流，嶽高盡是千峰埶。」

住潞南州彌勒禪院語錄

據室。「立賓立主，絕滲漏於機先；有實有權，驅聖凡於喝下。三千里外蚤識端倪，十笏丈中誰堪種艸？」喝兩喝，云：「付在來日。」

上堂。拈香祝聖畢，次拈香云：「此瓣香奉為平西親王，並請主兵憲盧公、護法檀越等。」末後拈香云：「此瓣香，名不得、狀不得，佛祖難嬰其鋒；臧愈密、聲愈揚，鬼神莫測其際。爇向盧中，供養前住荊南開聖、今住廣陵福海磚鏡大和尚。」乃云：「一竿風月隱梁中，又被纏綿出海東，莫笑惡聲驚宇內，十年肝膽驗蛇龍。」有僧便喝，師云：「者喝落在甚處？」僧又連喝，師云：「三喝後如何？」僧擬議，師便打，乃云：「若箇慧布袋，有甚底光采？一肩破衲衣，胸無點墨水，舌利如錐，腹空似海，佛口蛇心，笑面無改。」以拄杖橫肩，呵呵大笑云：「你看者箇慘怪。」
上堂。「舊閣閒田地，未曾動著些。偶然頭首請，潦倒著袈裟。一根邛竹杖，不識落誰家。鐵額銅頭漢，看看眼迷麻。」喝一喝。
上堂。「江梅笑日，岸柳含煙，千峰翠色，一道凝然。不居陰界，不涉眾緣，珠迴玉轉，緯地經天。一塵正受，萬法周圓，三要印開，百川仝源。即理即事，非正非偏，仰之彌高，鑽之彌堅，似鏡照鏡，如絃合絃。還委悉麼？竹杖橫肩入市廛，逢人乞與一文錢。」
賀督府請上堂。「今日冷似昨日，奚暇為眾竭力？且不解矢上加尖，又何能秤錘掘汁？不如和南散去，何須豎四橫三、中九下七？碟子成七片，盞子撲落地。」拍膝一下，云：「者裏也好箇時節。」
上堂。「花阡柳陌，古佛家風。舞榭歌樓，當來補處。桃李經春而笑日，松柏操霜而自妍。文殊普賢，也隨隊起。佛見法見，被山僧二十拄杖趁出。駭得金剛汗滴，伽藍咬指。汝輩東瓜茄子，幾曾知得？」
師誕，眾請上堂。「四十三年撾毒鼓，一條藤杖斷人魂。」更云：「戴角披毛事，白髮嬰兒解笑言。」
上堂。舉：道「吾和尚示眾云：『高不在絕頂，富不在福嚴，樂不在天堂，苦不在地獄。相識滿天下，知心能幾人？』大慧杲云：『高在絕頂，富在福嚴，樂在天堂，苦在地獄。誰知席帽下，原是昔愁人？』」師云：「山僧即不然，高者任他高，富者任他富，樂者任他樂，苦者任他苦。須知遠煙浪，別有釣魚人。」
上堂。「一聲呱地稱雄，安知雲門棒折？更有白拈老子，說他所見不別。」拈拄杖，云：「當斷不斷返招賊。」擲拄杖，呵呵，下座。
辟居士請上堂。驀拈拄杖，喝一喝，云：「若是不求諸聖、不重己靈，一毛頭上橫身底，必不周緜者也；若是毒蛇頭上揩癢、饑雁爪下奪肉，百尺竿頭努目底，更不周緜者也。何故聾？他家自有通人

愛。大眾！山僧恁麼，且因齋慶贊又作麼生？但願山前莜麥孰，羅睺羅兒與一文。」
上堂。「本來事如何？蜘蛛走上壁。網取蟲喫了，依然走下壁。翻覆看將來，二九一十八。」
上堂。「當陽一路，祖佛共由。覿面一機，衲僧罔措。所以拾得帽來，忘卻衫子。似者樣底，有甚麼用處？不見道：大人具大見，大智得大用。擊石火，閃電光，牢籠不住，呼喚不回，始有唱和分。雖然，祇如宗量麻夫人久勤於道，作麼生是他受用一句？雲山海嶽都拋棄，贏得莊周蝶夢長。」
上堂。「小知不及大知，小年不及大年。」高聲喝云：「苦瓠連根苦，甜瓜徹蒂甜。」
上堂。舉：「僧問夾山：『撥塵見佛時如何？』山云：『祇須撝劍。若不撝劍，漁父棲巢。』又問石霜，霜云：『渠無國土，何處逢渠？』僧回，舉似山，山上堂云：『門庭施設不如老僧，入理深談猶較石霜百步。』」師云：「今日設有問：『撥塵見佛時如何？』劈脊便棒。且道是門庭施設？是入理深談？速道！速道！」
靈應寺近山，請上堂。「道得一句子玄，猶隔千差。直饒坐斷千差，截斷眾流，千聖不攜，萬機休罷，猶是時人公幹。須知更有向上一路，還委悉麼？」便下座。
上堂。僧問：「如何是北斗臧身句？」師云：「倚天長劍逼人寒。」乃云：「北斗臧身理事全，倚天長劍逼人寒。還會麼？會則大家歸去好，不會各箇面南看。」
張廷璽率眾請上堂。「山僧昨夜隱几而臥，便夢陞彌勒內院，見百千萬億善財、百千萬億彌勒，一一彌勒執一一善財手，一一善財於一一彌勒前諮問：『菩薩摩訶薩初發心時，學菩薩道，行菩薩行，其義云何？』彌勒菩薩言：『善男子！此義深遠，難可具陳。』山僧即前云：『善財！你如此問，老師如此答，還要棒喫麼？』今日眾居士請法，山僧無處啟口，權將昨夜夢底舉似諸人。大眾！即今說底是昨夜夢底，昨夜夢底是即今說底，閉眼底、開眼底已為諸人說了，還知落處麼？」驀豎拂子，云：「昨夜今朝休寐語，大家著眼好生看。」
嵩山野竹禪師語錄卷二(終)

嵩山野竹禪師語錄卷三

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

再住雲南府嵩山禪院語錄

開盧，檀越、高得捷、張國勳同各衙勳貴請上堂。指法座云：「者箇座子與須彌齊等，陞此座者，揭開千聖頂[寧*頁]，坐斷報化佛舌，演無量玅義，流出恒沙法門，所謂我為法王，於法自在。」便陞座。拈香祝聖畢，次拈香云：「此瓣香奉為平西親王，及高、張兩居士、各衙勳貴。」末後拈香云：「此是第十回供養磚鏡大和尚。」僧問：「大冶盧開，烹佛烹祖，如何是斬新一句？」師云：「今日勳貴約山僧開堂。」進云：「恁麼則各各心空及第歸也。」師云：「如何是心空及第歸底句？」僧喝，師云：「此喝也少不得。」問：「選佛場開即不問，當陽一句作麼生？」師云：「零零落落千峰雪，澹澹清清幾點梅。」進云：「人人盡獲無生意，箇箇仝明般若心。」師云：「誰不瞻仰？」問：「雪飄萬里時如何？」師云：「祇要你寒入骨。」乃云：「開盧瑞雪，兩采一賽，有時白紛紛，有時青靄靄。古人云：『好雪片片，不落別處。』且道落在甚麼處？還有知得落處底麼？不見目前無法，意在目前。且誰是目前法？莫是海岳雲山、艸木叢林總成瓊樓玉宇麼？莫是一玉宇有一佛出世，說不可思議甚深法、不可思議解脫門麼？莫是藩府勳貴約山僧開堂，直指人人本具受用底麼？衲僧門下總沒交涉。何也？他家別有通人愛。」

上堂。「握靈蛇珠，煇天鑒地；持金剛劍，截鐵斬釘。德山、臨濟，如龍得水；佛果、玅喜，似虎靠山。清平木勺，靈昭笊籬，包羅萬有，含吐十虛。過量人有過量智，有過量智可以接待天下人。所以道：淨裸裸，絕承當；赤條條，沒回牙。一道清虛，渾無向背。還委悉麼？十字街頭等箇人，玲瓏不是尋常事。」

上堂。「古者道：『咳唾掉臂，是祖師西來意。』」遂回首作咳唾勢，云：「還有西來意也無？」僧便問：「西來大意事如何？」師云：「瓦礫生光。」問：「如何是戒？」師云：「匙挑不上。」「如何是定？」師云：「棒打不圓。」「如何是慧？」師云：「終不向你道。」乃云：「即心即佛，非心非佛，不是心，不是佛，不是物，生鐵鑄金剛。你若會得，南泉在你腳底；你若不會，南泉在你腳底。何也？直饒句外明宗，總是野狐精見解，未具衲僧气息

在。且如何是衲僧气息？」良久，云：「恁麼也免得箇野狐精見解。」

上堂。舉：「僧問法眼和尚：『如何是佛？』眼云：『汝名慧超。』僧有省。佛果云：『還會麼？病遇良醫，饑逢王膳，買醬得鹽，雪裏送炭。』」師云：「嵩山即不然，熱病得藥，冷病得汗，似漆投朱，如油入麵。」

上堂。「一色不有，百千三昧全章；一念才興，無邊竟緣齊赴。所以道：群靈一源，假名為佛。體竭形消而不滅，金流璞散以常存。無變無不變，非存非不存，此是清故阿吉革焦氏即日一周作大佛事。所以山僧登此座子，示無生滅之體，明無去來之用。若是者裏會得，可謂省力；其或未然，山僧更有箇方便。」遂舉：「莊宗皇帝請華嚴靜禪師大內齋，時諸大師總看經，惟華嚴一眾默然。帝問：『師何不看經？』靜云：『道泰不傳天子令，時清休唱太平歌。』帝云：『大師一人即得，眾何不看？』靜云：『師子窟中無異獸，象王行處絕狐蹤。』帝云：『諸大師為何總看？』靜云：『水母元無眼，求食須仗蝦。』」師云：「莊宗殊勝中殊勝，乃能萬機之暇露無為之功用，可謂萬世徽猷；華嚴奇特中奇特，乃能百尺竿頭發竭世之樞機，亦可謂萬世龜鑒。山僧今日為眾竭力，且道成得箇甚麼事？也祇要一光烜赫逼虛空，今古熾然常照燭。」

長至，楊聞谷請上堂。「銀碗裏盛雪也好，秤錘裏捉汁也好，破沙盆裏煬羹也好，珠砂缽裏括殘也好。者箇總不問你，你道：一陽來复，复見天心。且誰是天心？」自代云：「剝盡群陰來复日，不萌支上起溫風。」

供養天童悟祖開化和尚，請上堂。「佛祖第一機，無是亦無非，是非兩踢脫，心空及第歸。若論第一機，開化和尚為諸人露頭露目了也。祇如心空及第作麼生道？有道得恰好者，不惟祖風不墜、正眼流通，亦且知我天童老人面目猶在。有麼？有麼？」复舉：「谷泉和尚訪慈明禪師，明問云：『白雲橫谷口，道人何處來？』泉左右顧視，云：『夜來何處火，燒出古人墳？』明云：『未在，更道。』泉作虎聲，明以坐具便摵，泉接住，推明置禪床上，明卻作虎聲，泉大笑，云：『我見七十餘員善知識，今日始遇作家。』」師召大眾，云：「還識谷泉、慈明麼？」以兩手拍膝，云：「天童老人來也，不暇道得，問取開化和尚一轉語去。」

上堂。「孤迥迥，峭巍巍，鍼劄不入；密綿綿，潛潑潑，水洩不通。所以壁立萬仞處，滴水滴凍；滴水滴凍處，壁立萬仞。即使摩醯三目也覷不見，大悲千手也摸不著。我甸舒、慈雲兩和尚，向覷不見、摸不著處，要嵩山露箇說話。然則欲露者箇說話，須向文采未章前薦取始得。何也？莫怪從前多意气，他家曾蹋上頭關。」

上堂。「殺人刀，湣人劍，要用便用，要休便休。天是天，地是地，山是山，水是水，都盧是箇沒意智。顯大機，明大用，通身遍身，觸著磕著，也祇是要未見者見、未聞者聞、未悟者悟、未證者證。正恁麼時，懷州牛喫禾、益州馬腹脹即不問你，嘉州大象吞卻陜府鐵牛又作麼生？穿楊箭與驚人句，不是臨時學得來。」
福海老人誕，上堂。舉：「僧問趙州：『承聞和尚親見南泉來，是不？』州云：『鎮州出大蘆菔頭。』」師云：「趙州答話不妨奇特，祇是屈他南泉大似箇蘆菔頭。嵩山即不然，或問：『和尚親見福海來，是不？』向他道：『滇南產茯苓。』」
包章京張公請上堂。「結制已過三十日，轉眼又是臘月一，施主辦齋和尚喫，佛法人事俱周畢。此土二三，西天四七，癩馬繫枯椿，不勞重指示。乾屎橛、蘆菔頭、金剛圈、栗棘蓬，是擔板禪和底履歷。所以作家不啐啄，啐啄仝時失，紫羅帳裏擦珍珠，大地撮來如粟粒。又作麼生委悉？」喝一喝，云：「弄潮須是弄潮人，相識還如不相識。」
饒繡袞請上堂。「硃砂缽裏金牛飯，吞不下，吐不出；瑪瑙盆中赤肉團，摶不圓，捏不碎。放一拈一，拏三道三，施照用於雙縱雙禽，明綱宗於三玄三要。四種料揀，七事隨身，衝天气宇，落地金聲。正恁麼時，如何是嵩山為人句？陳雲橫海上，拔劍攪龍門。」
上堂。以拄杖擊香几一下，云：「大眾！會麼？恁麼散去，猶較些子；設或遲疑，嵩山搽葛藤不少。何也？羊頭神倒跨碧雞金馬，遊遍四天下，與二十四景帝共相論義，云：『勝義諦中有世俗諦不？若言有，智不應一；若言無，智不應二。一二之義，其意云何？』比無有對者，惟有嵩山拄杖子總與一摑，云：『回而更相涉，不爾依位住。』嵩山見了，總不管他。為甚不管？數聲清磬是非外，一箇閒人天地閒。」
彌勒寺監院請上堂。「百日禪期過半，未曾舉著舊案，今朝特地陞堂，反覆元來者漢。一句當陽，眾流截斷，波斯喫胡椒，老鼠嚼冰炭。」
上堂。「朔風凜凜，松煙鬱鬱，覿面相呈，更非他物。所以物物盡玅，法法圓融，一一七穴八穿，一一千重百匝，見色明心，聞聲悟道，玄機獨唱，截斷眾流，鑊湯中垂手，虎穴裏揚名，顯大機，明大用，湣人劍，殺人刀，須是其人。且如何是釋迦老人悟底道？相識滿天下，知心能幾人？」
元日，兵憲盧公請上堂。「昨夜窮冬盡，今朝椒柏香，家家簫鼓動，可以樂時康。此是仙月盧公治國安民、為祥為瑞底餘力。雖然，一句分明報汝知，千尋萬派還歸海。」揮拂子，下座。

元宵，上堂。「元宵景致可觀，火樹銀華爛然，萬戶千門鼓吹，太平時在目前，嵩山也隨例得一橛。」乃以拄杖打圓相，云：「會麼？」良久，云：「可惜許。」复云：「通蘊張君到嵩山飯僧，薦嚴慈，答劬勞，又作麼生指示？此日此時開正眼，饑來喫飯倦來眠。」

上堂。「春王二月一，玄鳥聲催急。桃華燦爛開，者箇無人識。如欲識，須真切。嵩山此語雖平常，木人聞之也泣血。」

上堂。「應龍馮公欲山僧垂語，為北堂祝壽山岳峙，與內政祈玉燕重翔。若論壽域，虛空無量、滄海無涯；若論熊兆，英物齊聲、阿充齊名。所以道：仁者必得其壽、必得其子孫。既然，且道如何是他受用一句？不須鶴下壽添室，自是門高嶽降申。」

祖臂韓公同眾內府請上堂。「一塵含法界，大地全收；一念絕周遮，古今不變。所以道：無邊無表，絕相絕名，捩聚裂開，生禽潛捉，斥妖逐魅，奪食驅耕。大眾！鬧市裏天子、百艸頭老僧則且置，隨處作主，遇緣即宗。畢竟如何？」以杖擊香几，云：「迅雷歷歷無私震，艸匽風行得自由。」

解制，上堂。「春日乍融，春風乍溫，春山刺錦，春水消冰，全章已用，盡露法身。出戶不出戶，亦任高鑒；蹋著蹋不著，何妨艸青？所以道：動若行雲，止猶谷神。既然，今日宗熙孔居士為諸人作箇滿散餞發一句作麼生道？咭嘹舌頭三千里。」

上堂。「雨斷秋空，月浮桂影，免擣靈藥，杵聲自冷。」

上堂。舉馬祖翫月因緣，頌云：「年年此夜一輪圓，照徹梁城萬井煙，要問三人誰箇恰？抽身歸去是南泉。」

上堂。「去年開盧雪，今年開盧晴，去年今年何相遠？一冷一暖難為情。」复云：「雪皚皚，晴杲杲，手執夜明符，幾箇知天曉？」

峙如岳參府請上堂。「長至節過八九，老梅雪孕谿口，細看地上春來，莫愁瘦殺楊柳。蘇州有，常州有，一拳拳倒碧雞坊，拈起珊瑚鞭北斗。」

上堂。驀拈拄杖召眾云：「會麼？祖師西來，庭前柏子，句外明宗，機先領旨且置，祇如離見絕聞作麼生道？貍奴白羖念摩訶，翠竹黃花聳兩耳。」

佛身王居士請上堂。時固山額貞何居士出禮拜，師云：「若論第一義諦，何公居士為諸人露布了也；苟或踟躕，第二門領取。」豎拄杖，云：「金剛劍截鐵斬釘，師子兒蹴蹋返躑。孤峰頂上招手，十字街前點頭；十字街前招手，孤峰頂上點頭。」顧左右，云：「者箇說話畢竟如何？摭葛藤不了，有甚麼佛法？」擲拄杖，下座。

雪日，祖臂韓公請上堂。「群峰戛玉，萬壑鳴珂，好箇莊嚴世界，就裏何常淆訛？你若寂寂寞寞，我也多多和和，又誰管你樵沒蹤

跡、漁絕網羅？龍女獻珠，酒樓謳歌，大家共賞，瓊樓玉宇遍山阿。」
蒲居士等請上堂。「風動風鳴，雪飄雪下，錦繡山川，了無縫罅。玄機透徹，融萬相於目前；至理精明，會千差於物表。超生死、絕見聞即不無，隨處作主、遇緣即宗又作麼生？不萌支上綻香肥，無影林中日杲杲。」
上堂。「北風聒聒吹疏壁，雨雪紛紛下朝夕。凍得諸人毛骨寒，腳跟下事浮逼逼。插下火箸來，築碎梵王鼻。石虎叫不休，木人叉手泣。惟有達道人，不借些子力。」
毛德如請上堂。「初三十一，不用擇日。是佛是心，非得非失。脫殼烏龜飛上天，旛竿頭上煎饘餬。南斗六，北斗七，佛法絕思惟，道學彈指入。卸卻雲門枷，放下曹谿石。馬祖陞堂，百丈卷席。對面千山，天涯咫尺。」
作務歸，上堂。「運瓦般磚事事忙，歸來無法可商量。抬眸月在梅梢上，大地山河總是霜。」喝一喝。
上堂。「元宵鐙，萬家春，即此是時節，好好細談論。過去諸佛於此時節示般涅槃，未來諸佛於此時節示見受生，見在諸佛於此時節說法利生。且道拄杖子於此時節畢竟如何？」遂卓一卓，复云：「者事且從包裹李夫人求嗣又作麼生分付？石麟生瑞靄，玉燕向高門。」
上堂。「春日曛曛，春風謖謖。瑞艸萌牙，夭桃吐萼。靈雲攢眉，濂谿囪綠。陝府鐵牛角生，嘉州大象毛脫。著著，碓嘴生花，磨盤八角。」
額駙夏檀越薦郡主，請上堂。「大道沒遮欄，至理絕回牙，世與出世間，無住無非住。所以道：來無所從，去無所至。論其體也，日月不足諭其明；論其用也，虛空不足喻其廣。」驀拈拄杖，云：「郡主見山僧與麼舉揚，則證悟無生，在山僧拄杖頭上見大人相，云：『我無量劫來寶臧珠珍，卻被嵩山長老道破，如今未免轉施見前四眾及盡未來際一切眾生，直使窮劫莫罄。』汝等還信得及麼？若信得及，釋迦不先，彌勒不後；脫或未能……」以拄杖擊香几，复拋下，左右顧視，云：「可惜許！」
蒲夫人請上堂。「紅塵[阜-十]裏無礙，紫竹林中有家，好箇見成受用，不須別作生涯。如是，則壽山福海盡是己有，龜齡鶴算亦非他物。假使有人磨以為墨，過千國土乃下一點。如是，點與不點，盡抹微塵，不足喻其壽量。大眾，如此舉揚，除是本分衲僧方信得及；若非其人，未免怪笑。還識祖師麼？」曳杖，下座。
特生請上堂。「雨水前，元宵後，看看春舒柳，桃李自成蹊，馨香遍宇宙。」乃卓杖，云：「是大神咒？是大明咒？是無上咒？是無

等等咒？特生，特生，般若仝壽。」
解制，謝護法，上堂。「風從虎，雲從龍，更摶扶搖九萬空，是以各鎮提承，盡心盡力護衛法門，其功可謂盡天地不磨，空芥城不窮。山僧又將箇甚麼奉酬？我想贈人以物，不如贈人以言。且贈甚麼言聾？碑文刻白字，當道種青松。」
結制，固山何公、包章京張公請上堂。舉：「僧問智門祚和尚云：『一切智智清淨，還墮地獄也無？』祚云：『閻羅王是鬼做。』」師云：「智門老子可謂不忝雲門下烜赫兒孫，若較嵩山者裏十萬八千在。如今或有問：『一切智智清淨，還墮地獄也無？』但道：『不可擔枷過狀。』」
上堂。「玉璋饒君為母祝壽嵩山，別無可說。有首無生曲子，不妨舉似。月初十，西風急，無位真人持書來，報道王母降瑤池。王母手中有一物，大如斗，赤如日，以之壽劉母，劉母算增益。更有騎虎豐干，執爨寒拾，都來道箇如是如是。饒公饒公，記取記取。」
上堂。「喫飯穿衣，釋迦彌勒；真如佛性，翠竹黃華。出焉而不知其所終，入焉而不知其所窮。古木無人徑，深山何處鐘？有人於其中處胎嶽降，乃至作世閒種種事業，莫不於此始、於此終。你道是誰？玉璋饒公。」复呵呵大笑，下座。
包章京張公請上堂。「日間浩浩裏作得主，夢裏如何作不得主？者箇去處，諸人不可放過。若放過，他時喫閻老子鐵棒，莫言不道。嵩山昔年見箇尊宿，他問：『者箇所在如何透去？』嵩山勤苦三年，始有箇入路。今日向華王座上作者戴角披毛事，亦不避諸方柬責，雖則祖令當行，十方坐斷，孤迥迥、峭巍巍，尚不敢造次。何故？如臨深淵、如履薄冰，此言不可不凜焉。珍重。」
永順總府線公請上堂。「日面佛，月面佛，河裏失錢河裏漉。是世法，是佛法，雨下地上如油滑。家家門前火把子，楚王城畔水東流。不問你，且道樹倒藤枯句歸何處？」驀豎拄杖，云：「有佛處不可住，無佛處急走過。」
宗璽張護法度僧，請上堂。「水中鹽味，色裏膠青，秤頭八兩，秤尾半斤。黃檗室中喫棒，藥山松下看經，國清伽藍遭打，雲居土地被瞋。且道無位真人居何國土？四五百條花柳衖，二三千所管絃樓。」
額駙衛檀越請上堂。「目前無法，有馬騎馬；意在目前，無馬步行。不是目前法，空裏書卍字；非耳目之所到，石上種青松。所以道：有情之本，依智海以為源；含識之流，總法身而為體。大眾會麼？木人才奏雲中曲，石女便吹海底笙。」
上堂。「星辰夜夜挂長空，何事今宵獨不仝？及至打開兩隻眼，何曾被他碧紗籠？」

堅長老通法嗣書，上堂。拈書召眾云：「者符子裏有道真言，念將出來，不惟赤口毒舌魑魅方良全消，即乃佛乃祖也未免倒退。何也？他家曾蹋上頭關。」
上堂。「朔風凜凜十分寒，日照梅梢露未乾，普請諸人高著眼，切忌從他支上看。既不從支上看，畢竟從甚麼處看？者裏也須拈卻炙脂帽子、脫卻鶻臭布衫底衲僧始得。有麼？如有，出來嵩山要與他相見。」
上堂。「臘月廿二，寒光匝地，凍合千谿，了無塵滓。伶俐衲僧便合會去，如涉脣吻，白雲萬里。所以道：寒則普天匝地寒，熱則普天匝地熱。你衲僧分上畢竟如何？」驀召大眾，云：「幸爾無事，歸堂喫茶。」
除夕，上堂。「爆竹聲聲逼歲除，梅花又見向雲舒，分明好箇真消息，試問吾徒會也無？」良久，云：「既不會，嵩山自道去也。」以手作鵝鳩嘴，云：「谷呱呱。」便下座。
上堂。「元旦二，自然智、無師智，齊周備。醒醒底亦任醒醒，瞌睡底亦任瞌睡。」顧左右，云：「頭角生也。」复顧左右，云：「才有好音來耳畔，又被風吹別調中。」
陳天徹率眾請上堂。「才直正月一，又是月初十，曲指從頭數，鳥騅趁不及。趁不及，千峰頂上側足立，離相絕名，絲來線去，高高處觀之不足，低低處看之有餘。還會麼？驀過于闐國，撞著摩羅什。」
上堂。「昨日雨，今日晴，水光山色坐黃昏。嶺梅吐玉，隄柳垂金。山月欲吐未吐，鴻雁一聲兩聲。」复舉：「古德云：『鋸解秤錘，油煎石磉。兩手擎來，有功者賞。』」師云：「誰是有功者？我要與他一束帛。」
元宵，馮鱗長請上堂。「山僧適才入城謝客，見東城鐙繩與西城鐙繩無別，南城鐙繩與北城鐙繩一般，勿論長衒短衖、貧富貴賤，家家門首總少者條鐙繩不得。嵩山見此佳景，忍俊不禁，不覺手舞足蹈，卒成一曲。今日馮居士請陞此座，不免為諸人重歌一上。」遂操蜀音，以手作打瓦鼓埶，云：「元宵自是正月半，嵩山一一為君判，須彌鐙王暗偷眼，然鐙古佛開笑面，千手大悲出梁州，毗目仙人生叫喚，娛樂底亦任娛樂，賞翫底亦任賞翫，了了常知無別知，明明見了非他見。」擿下拄杖，云：「灼然似箇鍍鑠鑽。」
寧宇居士請上堂。「年年二月一，獨有今年別，罌粟十丈映晴嵐，翠竹千竿搖春日，蟄發昆池魚化龍，陽回海角蘆飛鴄，嵩山拄杖更淆訛，忽然變作鐵鱉鼻，而今竄向諸人前。」遂拋下拄杖，云：「九九還歸八十一。」

內府眾護法請上堂。「春分時節雨，群芳兼蜨舞，紫燕理舊巢，黃鶯啄新[卄/秬]，頭頭意暢情舒，物物耳聞目睹。既然一一見成，何必重重言語？大家撩起便行，免得擦沙擦土。」复以手作打杖鼓勘，云：「普。」

上堂。「楊花如雪山如錦，隔澗流鶯叫落梅，此日此時人共得，尋芳逐翠任徘徊。」拈拄杖，召大眾，云：「祖臂韓公即日初度，林下道人以何祝壽？」卓一卓，云：「嵩山拄杖情何切？指出忝園八百春。」

贖王會成歸俗，請上堂。「柳條金嚲，梅梢脂澀。百卉競妍，萬松鬱霧。發纖機於群芳，撼條風於一雨。桃浪並麥浪翻飛，梁山與華山相顧。白額虎產大蟲，黃缺脣生玉兔。會成會成，者裏莫住。汝非仝流，勿與共處。且歸作俗人，永承爾宗去。克勤克儉，永昌永祚。恭諗王維摩有郎，一著錦衣便高步。步蟾從此蹋青霄，月中丹桂親分付。」

陳章居士供法衣，上堂。「靈山委付迦葉，粲粲金襴；慈氏相傳未休，重重錦縫。恁麼會，祇得其一，不得其二。大庾嶺頭力竭，面目分明；雞足峰前悄然，頂門已露。恁麼會，祇得其二，不得其一。」拈拄杖，召大眾，云：「一二之義，其事云何？」以杖卓一卓，喝一喝。

蠶章京巴公請上堂。舉：「世尊初生，一手指天，一手指地，云：『天上天下，惟吾獨尊。』」師呵呵大笑，云：「也好笑，笑須三十年。何也？鳳兒未出林，便有摩霄翼；老胡才下地，心肝便傾出。無端韶陽腦後椎，未免平地生荊棘。生荊棘，芒梢刺著輪王鼻。」

上堂。「殘春已過，中夏初臨。火雲彌布，火旂鮮明。滇南景異，寒暑各嬰。一雨則涼風透骨，一晴則酷吏相瞋。大眾，不涉仝異一句合作麼生？石女夜拋機軋軋，木人曉弄笛聲聲。」

上堂。「熏風自南來，殿閣生微涼。寒來暑往，秋收冬臧。倚他門戶旁他牆，反被時人喚作郎。」

鄂州龍光上長老歸，振國何居士請上堂。「玉剖荊山，名重列國；金離麗水，光絕諸塵。物既如斯，孰與仝價？況宗門牙叉、法社夔龍，骨臨濟而肉德山、才明教而學覺範，實為楊岐遠裔，可繼福海真孫。說甚壽聖錐鉤、玅喜竹篦、三玄戈甲、五位功勛，總尋常茶飯也。所以，振國何公欲聞子歸就父共說家常，祇如家常一句又如何道？愁人莫向愁人說，說向愁人轉更愁。」

楊聞谷請上堂。「太華峰，昨夜秋；昆明水，清如油。山悠悠，水悠悠；歌白雪，唱梁州。端師子，正黃牛；也來者裏，大家笑不休。你道笑箇甚麼？人從橋上過，橋流水不流。」复舉：「僧問首

山云：『如何是佛法的的大意？』山云：『楚王城畔，汝水東流。』」師云：「嵩山即不然。或問：『如何是佛法的的大意？』向道：『漳、泉、福建，頭匾如扇。』」

潞南州兜率堅長老歸，上堂。「師兒近日已匡徒，再上山頭省老夫，七尺遼天笻竹杖，重重分付莫塗糊。堅長老，聽指呼，他時接得英靈物，都盧排上祖師圖。記取！記取！」

上堂。「皓月當空，未是轉身句；谿流澗底，未是入門句。白額虎咬殺大蟲，說與諸人不識。」良久，云：「昆侖鼻橫，龜哥眼赤。」

中秋，上堂。「寒山無比倫，南泉便歸去。鷲嶺喻重重，曹谿落指顧。嵩山复如何？別處開門戶。」以拄杖畫○此相，云：「會麼？休道孤輪隱，清光常獨露。」

上堂。「蟬鳴樹底，雁宿沙洲，萬戶擣砧，千江映月。泥牛海底，耕翻曠劫靈苗；木馬雲中，嘶殺今時消息。說甚長三丈、闊八尺，自然緣水青山？誠哉！古佛气象，一微塵攝眾微塵，眾微塵攝一微塵，放去從容，收來自在，如寶絲網友，光相映葛藤。且說到者裏祇如何？檀越素稱舊識，畢竟以何為驗？不因握手鷲峰前，安得談心昆海上？」

曲靖府報國海長老歸，上堂。「千差坐斷，肘下看靈符；八字打開，胸前旋卍字。胸前旋卍字，萬古神光；肘下看靈符，五葉秀气。五葉秀气，一切水月一月攝；萬古神光，一塵塵剖一切塵。一塵塵剖一切塵，金馬坊前；一切水月一月攝，碧雞關上。」遂連喝，云：「若不喝住，說到驢年也未休。」

宗璽佛源張護法誕，請上堂。「瑤池桃孰十月一，信手摘來香噴鼻，如今捧出萬人前，瑪瑙盆暉映霜日。說甚棗大如瓜、萍甜似密？驀直無位真人輕輕道箇不必恁麼也得、不恁麼也得。何故？春到百花開，何須尋舊曆？」

王國勛、國相薦嚴，請上堂。「走馬街前擔來負去，何曾識得衣珠？屠豬案上割去截來，那箇識得精底？譬如巨商入海探寶，手力健疾者先得之。所以，我長山王公手提萬貫、囊足千珍，自漢中見丈雪和尚，知有向上事；及寓梁州，再造嵩山，于于然惟道是樂也。故臨終時，屬長君及仲君後事畢，談笑中便奄然化去。烏乎！若公者，比近世形仝之沙彌亦霄壤矣。還知麼？臨行一句分明道，巧手丹青畫不成。」

江佛道請上堂。「冬日晴開臘八，慈風蕩蕩無邊，奇哉三歎之語，如今笑殺嵩山。不是兒孫伎倆別，他家曾蹋上頭關，你若丁一卓二，我也拏三道三。更欲指鹿為馬，安知得兔忘筌？阿呵呵！世間

無限癡男女，盡向糟甕裏頭眠。且誰是糟甕裏眠者聱？鼬[鼬-由+里]鼷鼠，蜈蚣蚰蜒。」
說戒上堂。「嚴持者嚴持，毀犯者毀犯，布薩者布薩，隱惡者隱惡。古者道：『修證即不無，染汙即不得。祇此不染汙，乃諸佛之所護念。』於斯領得，即佛之一字亦不喜聞，況持犯罪福者哉？苟或遲疑，優波離尊者為諸人轉十無盡戒。」
上堂。「連日撾鼓陞堂，衲僧气宇如王，提唱楊岐宗旨，結習如雪澆湯。嵩山恁麼告報，還有為人處也無？春色無高下，花支有短長。」
上堂。「龍吟雲起，虎嘯風生，放之則遍，卷之則臧，靜無邊際，動即隨方，即心即佛，非變非常。」驀召大眾云：「是甚麼得與麼郎當？」
上堂。「茆花頌元正，春風剝楊柳。青帝騎蒼龍，金毛變作狗。此四句有一句奪人，有一句奪竟，有一句人竟俱奪，有一句人竟俱不奪。若人識得，將者箇座子分半座與他。若識不得，須彌和南，昆侖稽首。」
上堂。「塵塵三昧，觸處該通；葉葉如來，隨機展演。且搭在一邊。祇如百花競秀，玅德家風；一亙晴空，普賢竟界。你道於衲僧分上合談何事？」卓拄杖，喝一喝，云：「也要大家委悉。」
上堂。「竹檀欒，柳婆娑，好箇春初景，不可不謳歌，不可不打鑼。」遂以手作打鑼勢，复高聲唱云：「到江吳地盡，隔岸越山多。」
嵩山野竹禪師語錄卷三(終)

嵩山野竹禪師語錄卷四

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

晚參

中秋，晚參。「青山日日雨傾盆，祇說廣寒羞見人，忽地晴開天如洗，清光依舊在江蘋。」驀召眾，云：「正恁麼時，還是修行邪？供養邪？拂袖歸去邪？星隨平野闊，月涌大江流。」

晚參。因小師翦燭光滅，師謂眾云：「要見龍潭麼？向者僧手中看取。要見德山麼？向山僧手中看取。即心即佛、非心非佛，不是心、不是佛、不是物，是箇甚麼？向諸人腳跟下看取。雖然，不是一番寒徹骨，怎得梅花撲鼻香？」

晚參。「先行不到，末後太過，不知是何人？斯欲我多多和和，元來是鄂渚。一箇弟弟，一箇哥哥，斯人何居？竹眉之阿。斯人名誰？問取玄沙。」

晚參。僧問：「幽鳥語諵諵，辭雲入亂峰，是甚麼意？」師云：「花因雨打落，日為雲破來。」問：「皓月當空時如何？」師云：「清光獨露。」進云：「吹萬刀刀時如何？」師云：「山山吐玅機。」進云：「恁麼則有水皆含月，無山不帶雲。」師云：「徒來念詩篇。」僧喝，師便打。問：「月朗星稀即不問，風雲際會時如何？」師云：「今夜不答話。」有俗士與僧齊出，師云：「者僧且止，俗士快道。」士禮拜，師云：「拜即不無，汝須快道。」士云：「某甲不會。」師云：「不會即得。」乃云：「幽鳥語諵諵，聲落髑髏前，辭雲入亂峰，刺瞎汝兩瞳。今夜不答話，十有九人怕，皓月當空，清光不仝。者僧且止，不可與語，俗士快道，嚇得滴尿，者些蠢物，不如趕出。」遂以杖一時趁散。

晚參。「如今窮歲畢，那事何曾識？心頭未悄然，依舊重分析。」舉起拄杖，云：「會麼？若也未會，付在來日。」

晚參。僧問：「孤峰獨宿時如何？」師云：「祇教你棒折。」進云：「過在甚處？」師不答，乃云：「孤峰獨宿，祇教棒折，過在甚處，不吐一句。會麼？」卓杖，云：「者般時節說向諸人猶作竟會，大似日中迷路、月下挑鐙。若是伶俐衲僧，舉起便知落處。不見南院問風穴云：『南方一棒作麼商量？』穴云：『作奇特商量。』穴便問：『和尚此間一棒作麼商量？』院云：『棒下無生

忍，臨機不見師。』穴便悟入。者便是舉起便知底樣子。還會麼？歸宗會斬蛇，禾山解打鼓。」
晚參。僧問：「某甲有鐵牛之機，請師不搭印。」師云：「不搭印得麼？」僧無語，師喝云：「話頭也不識。」問：「皓月當空時如何？」師云：「喫棒未有了日在。」乃以杖向空指云：「會麼？」眾無對，遂拋下，云：「既不會，大家噇眠去。」
晚參。有俗士作圓相云：「者是甚麼？」師云：「將謂將謂，元來元來。」士禮拜，師云：「放不下，擔將去。」又一士問：「如何是色？」師云：「滿眼擦紅綠。」進云：「如何是空？」師云：「長長看不盡。」進云：「色空兩忘時如何？」師云：「昆池浮皓月，太華插青霄。」乃云：「有問有答，石頭路滑；無問無答，來朝初八。祇饒恁麼，不翻為黃楊木禪，即翻為徐六擔板。正恁麼時，如何是獨超一句？寒巖石鼓敲三點，破寺金鐘扣五更。」
晚參。「聒聒秋風一夜雨，華山高卓白雲中，忽然卷盡煙氛後，依舊冰輪出海東。者箇喚作全明全暗，雙放雙收。且如何是正令全提句？白棒當軒立。」
結制，晚參。「剋期取證，畫地為牢；立限調心，敲空追響。者樣學道底欲悟本心，驢年去在。經不云乎：『以大圓覺為我伽藍，身心安居平等性智。』若識得平等性智，則時時在伽藍裏安居，又何有結制、解制而為之閒斷邪？如今還有箇衲僧會得平等性智底麼？且作麼生是平等性智？莫是四十九年、三百餘會是麼？莫是九年面壁、立雪斷臂是麼？莫是打碓傳衣乃至玄要、王子圓相、揚眉瞬目、插鍬輥毬是麼？」乃以拄杖畫一畫，便起身。
晚參。僧問：「如何是師子吼？」師側耳云：「囚。」復問僧：「汝適才問甚麼？」僧理前問，師云：「者狐精尚趁叉牙。」問：「某甲一塊地，請師下種。」師云：「我者裏種也無，下甚麼地？」僧無語，師云：「荒田不柬艸，爭怪得山僧？」乃云：「荒田不柬艸，莫怪山僧好。舊日拾得與寒山，一面相逢一面老。大眾！你道甚處是與寒拾相見處？」良久，云：「趙州道底。」
晚參。僧才作禮，師與驀頭一棒，復問云：「汝適才道甚麼？」僧擬對，師又打，乃云：「以心求之，心不可得；以禮求之，徒勞筋力。不如自究，了然明白，搔著喉嚨癢，咬破口中舌，月冷鐙殘，勿勞久立。」
晚參。「金華監院請益，了無佛法可說，雖有一箇話柄，早為諸人舉出。所以，汝問訊，我低頭；汝兜鞋，我著靸。諸人既無諱處，我又何曾祕密？雖然，祇如甘贄禮拜烝籠、普化踢倒飯床，你諸人如何委悉？」舉拳，云：「者箇不可搭卻。」

晚參。「元正啟祚，萬物咸新，古人到者裏不覺將春光註破矣。祇是千百年來無人識得，如今莫有識得底麼？聽取一頌：快湣足山家，元夕飯胡麻，清貧遣歲月，何用獻椒花？」
晚參。「家家鼓吹，處處庭燎，光光相照，不隔絲豪。石女奏無生之曲，木人舞虞舜之韶，汝諸人分上合作麼生？」卓杖，云：「看腳下。」
晚參。僧問：「如何是祖師西來意？」師良久，云：「闍黎會也。」僧云：「不會。」師便喝，乃云：「入神通海，坐寂滅場，打骨董話，隱哀牢鄉。祖師西來意，一曲別宮商，會與不會，山高水長。」
晚參。「昨日雲龍辛刺史呈箇頌子云：誦經不誦經，二俱墮地獄；在家不出家，出家不出俗。又曰：學道不學道，祇要死身心；心死身不滅，身生心不生。刺史公可謂：在欲渾無欲，居塵不染塵。看來未在祖師門下，須是別有始得。誦經不誦經，說向愁人愁殺人。二俱墮地獄，雪山東上太陽出。在家不出家，紅裙妒殺石榴花。出家不出俗，生鐵鑄就金剛骨。學道不學道，一般米麵隨人造。祇要死身心，耳裏泥沙眼裏塵。心死身不滅，依然教汝驢腰折。身生心不生，誰把瑤琴月下鳴？山僧恁麼還杜得刺史公口麼？」
晚參。「水盡山窮是幾多，刈茅縛屋住煙蘿，從教浸爛珊瑚景，萬里長天映白波。」
晚參。「山僧到樹宗，無法為人通，一箇破繩床，睡到日頭紅。拾枯柴，鬻瀑布，燒榾柮，過殘冬，報汝五湖賢衲子，何曾識得住山翁？」
再住慈雲禪院，晚參。「自笑慈雲舊主人，歸來四壁是埃塵，為憐無限癡兒女，不覺馳驅二十春。者事且從，祇如山花開似錦，澗水湛如藍，是明甚麼邊事？」良久，云：「月落後來相見。」
六月廿五日，晚參。「家家門首火把子，高照田禾祭酒漿，自是南方風俗異，年年此日鼓笙簧，有者賞鑑，有者醉狂，有者照宅舍，有者照城隍，男歌女笑走忙忙，山僧雖無稼穡，柴祀無佛法商量，似此佳節休孤負，何妨打鼓樂時康。」
晚參。「雲門抽顧鎮州蘆菔，循環數遍琅玕竹。阿呵呵，谿西雞齊啼，屋北鹿獨宿。」
九日，晚參。「銀燭沈沈玉露寒，飄香桂子落闌干，山風此日吹人醉，不識何人為正冠？」顧視左右，云：「明年此日知誰健？好把茱萸子細看。」
晚參。「萬點青山夜雨長，秋風謖謖詠寒螿。莫笑村前王大姊，麥作醪兮米作漿。梧中物未盡，陶陶入醉鄉。且道是誰？祁毛羽狄，米貝明臧。」

晚參。僧問：「如何是鐵牛之機？」師云：「密密無蹤跡，層層鎖寂寥。」進云：「意旨如何？」師云：「夜夜峰頭月，朝朝山上雲。」問：「南方一棒即不問，如何是慈雲一棒？」師云：「青天也叫屈。」乃云：「德山小參不答話，也好箇話頭；趙州小參要答話，也好箇話頭。慈雲即不然，有問有答，言中取則；無問無答，免得心力。」复云：「薄莫慈雲撾毒鼓，驚起峰頂石人舞，一拳拳破太虛空，此句待明日續。」

上元勉參。「家家火樹花開，戶戶銀缸朵發。欲會物我仝根，請觀者箇時節。何故？我見鐙明佛，本光瑞如此。」

晚參。舉：「保福上堂，舉寒山偈曰：『吾心似秋月，碧潭清皎潔，無物堪比倫，教我如何說？』老僧即不然，吾心似鐙籠，點火內外紅，有物堪比倫，來朝日出東。」師云：「一箇疑有十分，悟有十分；一箇悟有十分，疑有十分。正眼看來，總欠一著。山僧也有箇狗尾續貂：吾心似古鑑，萬物景常見，比倫不比倫，打破鑑來看。如今恁麼，莫有優劣麼？試道看。」

晚參。「適才太守至山，有勞諸人神用，山僧舉則因緣以供大眾。」乃舉：「僧問楊岐：『如何是佛？』岐云：『三腳驢子弄蹄行。』」師云：「天下老宿、諸方作者雖然批判，終不能為楊岐師翁顯出宗旨。慧上座有箇頌子不妨舉似：楊岐此驢，風入四蹄，要駕便駕，要騎便騎，東遊滄海，北上須彌，報汝諸人那得知？」

晚參。僧問：「鐘樓上唱讚，床腳下種菜，意旨如何？」師云：「從來疑著。」進云：「有甚相隔？」師云：「汝道一轉語看。」僧彈指一下，師云：「又道不隔。」僧云：「請和尚道。」師云：「道即不辭，祇是口門窄。」僧禮拜，師召眾云：「祇如山僧適才恁麼答話，還有過也無？」便下座。

晚參。「無去無來祖佛師，朝宗萬派合如斯。形言語，箭鋒機，一方明月下昆池。」

晚參。驀指盧，云：「博山雅製看不足，炭紅煙綠飄香玉，山僧不避作盧頭，盡段群靈齊成佛。切忌動著，若也動著，六六三十六。咄！咄！」复以手撫几，云：「也只兀兀。」

晚參。「臘盡年窮，無甚佛法可說，我也不學他古人，不蓄一粒米，不種一莖菜，接待十方往來；也不炊黍米飯，烹露地牛，與諸禪分歲。但只渴則共鬻流泉，興至齊歌白雪。何故？也免得諸人口吻。」

晚參。「十五日已前，外息諸緣；十五日已後，內心無喘。正當十五日，中心樹子屬阿誰？」卓拄杖，云：「貓兒尾上繫橦椎。」

小參

除日，小參。「微言滯於心首，恒為緣慮之場；實相具於目前，翻為名相之竟。擬向即乖，用心即錯。上根利智，舉著便知；下劣凡夫，三搭不轉。五福者裏也無禪與人參，也無佛法要人會，一味饑則喫飯，困則高眠。」驀召眾，云：「祇如臘盡年窮又作麼生？」自代云：「來日是新年。」復舉：「開聖老人上堂，眾才集，乃拈拄杖卓一卓，顧視左右，云：『開聖今年除夕無甚長言短語，祇有爆竹一枚。』遂喝一喝，云：『是甚麼聳兩耳？』」師云：「昔年被他者一喝，祇得三日耳聾。即今還有知利害者麼？」復喝一喝，下座。

小參。「古人三日便能取證，諸人入堂已三日，莫有恁麼者麼？有則出來對眾說看。說得是，山僧與汝證盟。非但山僧，即鐙籠、露柱、禪板、香案、三門、佛殿、廚庫、前堂、山河、大地、艸木、叢林亦與汝證盟。有麼？有麼？」復舉：「玄沙示眾云：『盡大地是顆明珠。』時有僧問：『既是明珠，學人為甚不識？』沙云：『全體是珠，更教誰識？』曰：『雖然全體是，爭奈學人不識？』沙云：『問取汝眼。』慈雲彥隆禪師云：『諸禪德！者箇公案喚作嚼飯餧小兒，把手更與杖。』」師云：「二尊宿可謂恩大難酬，祇是多虛少實。五福即不然，者箇公案大似燒尾辟歷，觸著則喪。何也？不得春風花不開，花開又被風吹落。」

小參。「五福有箇敗闕，舉似諸人，祇是不得冷笑。昨日從白蓮村歸，中涂遇夥獵漢逐鹿，問曰：『老和尚見鹿過麼？』山僧向道：『不見。』曰：『老和尚錯過也。』山僧被者一語，祇得無言可對。如今莫有為山僧雪屈者麼？」眾無語，師云：「不惟落節於彼，亦且失利於此。」便歸方丈。

小參。舉：「僧問梁山明和尚：『終日喫飯不曾咬著一粒時如何？』明云：『一箇班鳩九隻鳥。』」師云：「老和尚也好箇心腸，祇是口如密、心如毒，終非慈祥。今日若有問：『終日喫飯不曾咬著一粒時如何？』但向道：『三腳蝦蟆跳上天。』」

小參。「五福即日獻歲，無物與眾燕飲，賴有一鍋滾湯，莫教孤負勺柄。大家談笑且銜桮，椒柏生光樂無為，無景林中月正照，不萌支上綻香肥。」

小參。豎起拂子召眾云：「會得底喚作禪，不會底喚作禪，似者儱侗禪和，如麻似栗也，著在堂裏有甚麼用？雖然，且作死馬醫。」復舉：「五祖云：『孫臏今日開鋪，了無一人垂顧，可憐三尺龍須，喚作尋常破布。』五福即不然，五福今日開鋪，湖海衲僧無措，分明一箇東瓜，說是鎮州蘆菔。」

小參。僧問：「打破虛空，當下心息，如何得心息去？」師云：「闍黎自薦取。」乃云：「春雨溼千峰，春風鳴萬里，乃轉普門

經，隨緣皆玅理。者事，在臨濟喚作照用仝時，人竟俱奪；在曹洞喚作理事縱橫，玅協兼帶；在溈仰喚作圓相默問，義海波翻；在雲門喚作臧身北斗，函蓋乾坤；在法眼喚作三界唯心，萬法唯識；在列祖喚作打地搖鈴，張弓架箭，擎叉舞笏，推磨輥毬。雖各開門戶，究竟還歸一致。」揮拂子，云：「者事且止，佛真居士初見山僧於慈雲，再陳機解於五福，且道如何是他入門句？寥寥天地間，獨立望何極？」

辭院，小參。「松濤瓦缽試新茶，一碗一碗野僧家，明日前塗誰共語？轉身一別即天涯。」

小參。「萬丈天目，山青水綠，鳥啼春花，雲穿茅屋。鍬鋤開田，千足萬足，四海高人，咸來共住。大家談笑且圍盧，一箇蒲團平生福。」

開南小參。拈拂子召眾云：「會麼？開南盡處是天涯，竹引清風日正斜，杖上無錢酤白酒，且傾一碗趙州茶。笑者如麻，不笑者如麻。」放下云：「吽嫈吒」。

熊總戎至，小參。驀豎竹篦，云：「向此會得，即造周熊公為諸人說法已竟；其或未會，聽取一頌：太華山頂茶，慈雲菴前水，借地臧盧撥溈山火，將清平勺酌文殊盞，滿滿盛將來，熱渥諸人口。」

小參。「諸佛法印匪從人得，此老達磨不傳之伎倆也，直是無人勘破。當時野竹若在，祇向前以手加額云：『看你老面皮厚多少？』不惟教他叫苦叫屈，亦且免得後來分皮分髓。」驀顧大眾云：「既是如此，今日竹元、竹眉又作麼生分付？多謝彎弓力，一箭射雙鵰。」

小參。「天淨雁橫秋气和，慈雲何事更婆娑？祇緣有箇平生曲，接拍無人奈若何？禾山四打鼓，演祖謳巴歌，甘贄設鬻飯，南泉椎破鍋。若要知此意，湖南好大哥。」

小參。「朔風刮地，雪霰漫空，正好薶炭以消殘臘，關門而避寒魔，何期章居士堅請開示，不無重違前志而到此座子。雖然，爭奈無處啟口，祇得借古人拳而築伊嘴也。」驀拈拂子作過茶埶，云：「會麼？趙州一碗尋常味，如今飲者釋焦枯。」

小參。僧問：「冬臧即不問，如何是春生句？」師云：「處處百花香。」進云：「如何是花香意？」師云：「穿過髑髏。」乃云：「五蘊非有，四大本空，何事昨日著冷、今日傷風？」拂子出，云：「老師恁麼道，未夢見祖師意在。如今莫有知祖師意底為山僧雪屈麼？若無，山僧也祇得禮拜拂子去。」

小參。「山僧十載旁丘墟，笑月眠雲匹老漁，惱恨東風無定力，依然相送上皇都。法幢隨處建立，乃佛祖本願，何得嬾於斯而更悔於斯？爭奈白髮催人老，青春逼歲除？」

小參。「生而不生，羊柬乾處尿；死而不死，驢擇溼處屙。生死兩忘，樹倒藤枯，木人起舞，石女歡呼。為甚如此？是我不露禪人，期直縣弧，所以渠來共相贊助。何事諸人不會？依舊負女負吾。」
小參。「諸方往往舉話不顧旁人，笑殺山僧一味清閒，免得多少唾罵。然山僧昔年敗露，如今不妨舉出。癸巳破家散宅，戊戌走入南國，剛才跳上戲場，被人喚作古佛。我笑諸人此言，何曾識得老竹？」
小參。舉：「僧問玄沙：『如何是觸目菩提？』沙踢狗子作聲，云：『小狗子不消一踢。』僧有省。」師云：「世出世元無定法，所以事有多塗、理無二路。山僧亦常言：信手拈來，信口道去，一莖艸上瓊樓，瓊樓祇一莖艸。若是知有底人，便知鹽貴米賤。者般說話，意在於何？」時僧出禮拜，師與一蹋，歸方丈。
小參。「有盤根錯節，方可施利器；有銀山鐵壁，方可展鉗錘。所以，任他天下樂忻忻，我獨不肯。大眾！不是厭良為賤，如今人奈何也有明威音那邊者、也有明威音者邊者，也有明父母未生前者、也有明父母已生後者，也有明長老未出方丈、諸人未到座前者，也有明穿衣喫飯是箇甚麼、屙屎放尿是箇甚麼者，也有明朝參暮請是箇甚麼、陞堂入室是箇甚麼者？看將來，腳跟下正好痛與三十。何故？祇為癡狂向外走。」
對靈小參。僧問：「生死去來即不問，歸根得旨作麼生？」師云：「山僧頗識好惡。」進云：「震旦自然渠獨步，淨方何用更開蓮？」師云：「祇道得一半。」乃云：「三十年來苦行腳，一條拄杖自擔荷，氈氈氄氄敝衲衣，赤赤條條祇者箇，請我登堂論無生，盡力道箇咄咄咄，不解順水推舟，耑要逆風把舵，亡者可生天，存者常安樂。」以拄杖卓一卓、喝一喝，复舉道吾生也不道、死也不道因緣，師云：「山僧則不然，如有問生也死也，但劈脊便棒，不惟掀翻窠臼，亦且與諸人作得驢年道友。」
小參。「報汝諸人，有箇話杷，分明舉似，幸勿唾罵。」驀拈拄杖畫一畫，云：「且道是甚麼話杷？當日輞川圖，傳是維摩畫。」
小參。僧問：「有句無句，如藤倚樹，樹倒藤枯，句歸何處？」師云：「口只堪喫飯。」問：「鐙鐙續燄，祖祖相傳，未審傳續箇甚麼？」師云：「一花五葉。」進云：「恁麼則惟此一事實。」師云：「不是，不是。」進云：「我見鐙明佛，本光瑞如此。」師云：「大眾謝供養。」問：「如何是麻三斤？」師云：「放不下，自擔去。」乃云：「今年十月五，雲水爭先睹，問我昔因緣，住持事更繁，朝打八百，暮打三千，會與不會，柳陌花阡。」
小參。僧才禮拜，師與驀頭一棒，云：「禮拜即不無，父母未生前速道將來。」僧便喝，師云：「喝即不無，父母未生前速道將

來。」僧云：「猶要第二勺惡水。」師劈脊又打。又一僧出，師亦與驀頭一棒，云：「適才者僧道不得，汝試道看。」僧禮拜，云：「屈，屈。」師复打，云：「祇道箇屈。」問：「以一重去一重時如何？」師喝。問：「無常到來，將何抵敵？」師云：「將汝抵敵。」問：「行住坐臥不離者箇，者箇是甚麼？」師以杖畫，云：「不是者箇那？」僧禮拜，師云：「汝道者箇是甚麼？」僧無對，師便打，乃云：「行住坐臥不離者箇，若問者箇，一棒打著。」豎起拄杖，云：「恁麼見得，也是大蟲看水磨。」

小參。舉：「陸亙大夫問南泉云：『肇法師也甚奇特，解道：天地同根，萬物一體。』泉指庭前牡丹曰：『大夫！時人見此一朱花，如夢幻相似。』」師頌云：「天地同根物一體，南泉大夫總未知，要知此中端的處，牡丹花下臥貓兒。」

小參。「沙門釋子，宜依佛學。杖挂三衣，囊存一缽。是非不關，苦樂難縛。樹下林間，雲堂城臺。參問高賢，求指解脫。三臧研窮，五經披剝。以悟為期，待徹為約。古德因緣，則則良藥。痛飲醍醐，飽餐戒律。從之而行，無病不卻。動止安詳，言語簡略。離惡朋輩，遠蛇蝮毒。如象渡河，如鳳高翮。淳風永扇，慧光普灼。任性逍遙，隨緣飲歠。勸勉諸人，各宜省覺。」

對靈，小參。「若道有生，入地獄如箭；若道無生，入地獄如箭。既二俱是過，合作麼生免得？莫是即心即佛免得麼？莫是非心非佛免得麼？莫是不是心、不是佛、不是物免得麼？」驀召眾，云：「者事且止，即今薦拔誥封淑人王氏無生之句如何垂示？棒頭了得無生旨，西方此土一毛耑。」

小參。「拄杖無耑哮咆，嚇得石龜下尿，獨有布穀兩雙，支上聲聲大叫。且道叫箇甚麼？不是頻催雨，且要識時節。」時，幻空求開示，師豎拂子，云：「見麼？」空罔措，師打，云：「向者裏參。」复云：「汝字幻空邪？」空云：「是。」師云：「既是幻，又何云空？既是空，又何云幻？若會幻空理，方識幻人、拈幻拂、說幻法、指幻人、成幻佛；其或未會，將幻空二字放在面前，二六時中著力參去。」

小參。「若論者箇事，如人蹴圓相似，手之舞之，足之蹈之，威風八面，無一鈍置。若是眼目定動，未免四稜著地了也。所以，向上一事只在日用應物之際，悟得箇頭頭盡玅、法法玲瓏，便是高揖釋迦、不拜彌勒者，奈何諸人忝桶不快。會麼？寒霜鋪大地，梅花笑破腮。」

小參。僧問：「百骸分散時如何？」師云：「碧雞啼白晝。」進云：「更無一物混塵埃時如何？」師云：「金馬夜嘶風。」進云：「二俱不涉時如何？」師喝。進云：「百骸分散盡，更無一物混塵

埃又作麼生？」師云：「杲日騰空翠色新。」進云：「猶有者箇在。」師云：「女卻有者箇在。」問：「如何是即今佛法？」師云：「且許閣黎問。」進云：「恁麼則所薦亡者得生佛國也。」師卓杖，云：「棒頭卓處了無生。」乃舉杖，云：「見麼？」复擊香几，云：「聞麼？者箇不屬知、不屬不知，知是妄覺、不知是無記。者裏若分疏得下，不惟人人常光見前，亦且知我誥封李夫人無量劫來非男女等相底消息，使夫人聞此直下信受奉行，也少不得是者箇符子；若分疏不下，更有箇律令。」复擊香几兩下，云：「碧雞啼處雲山淨，金馬嘶時水月明。」

小參。「玅湛圓明，滾滾秋月，逼塞虛空，人胡不徹？石女和無絃之音，木人奏沒字之曲，恁麼也得，不恁麼也得。恁麼不恁麼，利刃驀頭截，不是彊分疏，只要識時節。只要識甚麼時節？是我護法親簉焦妃夫人，其生也佐王內政，其薨也功垂劫石，歷萬古而不磨底光明幢子，复於其間忽然識得者段光明底時節。」驀卓拄杖一下，云：「還會麼？永證金剛不壞身，飄然步步蓮華國。」

師誕，小參。「此日算來四十三，明朝決定四十四，就中一點不曾迻，敢問諸人知也未？若也知，掉臂不顧；脫或未知……」靠拄杖，云：「急著眼覷。」

小參。「若論佛法，適才普請時為諸人說了也。倘是勇猛漢聞恁麼道，正好將嵩山濫椎一頓，有甚麼過？如今未免別開眼腦為諸人去也。」以杖豎起，良久，云：「也是無耑。」便下座。

小參。「雲門抽顧，鎮州蘆菔，睦州閉門，華亭潛渡。一人於理上無礙，一人於事上無礙，一人於理事上無礙，一人於非理事上無礙。臨濟大師道：『赤肉團上有一無位真人，在女諸人面門出入。』且道還涉理事也無？者裏分疏得出，要篁鼓三玄三要也不難。」

小參。「前山雪，後山雪，火裏烏龜凍欲裂，露地白牛無處尋，東海波斯咬破古，文殊普賢暗點頭，目連鶖子笑不歇，忽然迸出火星來。」良久，云：「止，止，不須說。」

結制，小參。「二乘只解殺賊，殊不知賊不打貧家；少林祇麼安心，殊不知徒畫蛇添足。臥龍只得拈條白棒，佛來祖來，喪不旋踵。正與麼時，若為委悉？」卓杖，云：「天共白雲曉，水和明月流。」

小參。「箇事圓明觸處周，撞斷眉毛刺破頭，擬欲求真早墮塹，將心除妄反為讎。言中取則頭頭昧，意外相呈法法尤，更問嵩山何指示？逢人只豎箇拳頭。」乃豎拳云：「喚著則觸，不喚著則背，汝諸人試下一轉語看。」小參。「去年也恁麼，今年也恁麼，今年與

去年，何曾有兩箇？恁麼中不恁麼，不恁麼中卻恁麼。」以杖橫肩云：「星臨萬戶動，月旁九霄多。」
小參。「太華山，風吹日炙；昆池水，橘綠橙黃。且道：有指示？無指示？有指示，今日三，明日四；無指示，上是天，下是地。」良久，云：「文殊自文殊，文喜自文喜。」
小參。「今時道支離，禮誦行亦虧，誑或世間人，此病最難醫。嵩山如此，不是壓良為賤。不見古人：『大事未明，如喪考妣；大事已明，如喪考妣。』若是與古人把臂共行底，聞此則慶快平生；若是黠劣凡夫，聞此必生怪誕。大眾！還識古人建化門庭麼？」拍膝，云：「祇者是。」
小參。「匡徒領眾竭吾才，祇要兒曹正眼開。若是分明開正眼，眾生諸佛一坑薶。」以拄杖畫一畫，云：「且道毗盧遮那噩？」复畫一畫。
小參。「山僧與二三行者灌圃，不覺遲回，及過禪堂，禪堂裏香几便問：『長老何得違時失候？』山僧被伊一問，只得向四大五蘊裏走一回，要覓一句佛法抵對了不可得。如今又見諸人簇簇上來相逼，山僧想將起來，若上堂是而灌圃非，世尊不當云：『世間治生產業皆與實相不相違背。』若上堂也是、灌圃也是，因甚灌圃處不雲集而雲集於此？此處合下得箇甚麼語始不負參學？」乃喝云：「夜來何處火，燒出古人墳？」
小參。「山僧連日傷風、連日咳嗽，若論者箇病根，語默難搆。既語默難搆，還知嵩山病處麼？毗邪離城談不二，嵩山室裏笑殺人。」
小參。「知見立知，即無明本；知見無見，斯即涅槃。」驀豎拄杖，云：「安楞嚴，安楞嚴，你何曾識得菱花未照前？」
小參。「展方外乾坤，豎域中日月，理上也著，事上也著。所以道：髑髏橫干世界，鼻孔磨觸家風。雖然，轉身一句作麼生道？」豎拄杖，云：「手持千里鈔，林下道人悲。」
嵩山野竹禪師語錄卷四(終)

嵩山野竹禪師語錄卷五

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

示眾

住安順府長壽菴，監院太極領眾作禮，求睹長松所付《臨濟正宗記》，並請師陞座。師既不獲辭，集眾登座，拈記示眾云：「會麼？者箇不從天得，亦非地涌，本是山僧於平越府長松菴瞌睡[阜-十]頭得得來底，今日不妨和囊解出。」遂展開。拂一拂，云：「當場舉起師王令，瓜瓞綿綿萬古春。」眾作禮，師便下座。

示眾。「吐霧吞雲，衲僧巴鼻；丁一卓二，祖佛家風。雖然，二六時中也須向碗底箸頭具一隻眼始得。」遂拈起一莖菜，云：「會麼？大家拾取一莖好。」

示眾。「月上金峰，物色秀麗，指物傳心，誰曰不備？支支動珊瑚，寸寸飄桂气，雖然無比倫，與我常相對。天下大醫王提此第一句，仁者為甚不會？不是所得遲，只為分明極。」

示眾。「雪花菜，脫粟鬻，看來已過人天福。不是山僧愛清貧，先德高人如是屬。東坡云：『富莫富於常知足。』」

示眾。舉善財參彌勒因緣畢，乃云：「過去諸佛在者裏、未來諸佛在者裏、見在諸佛在者裏，無量文殊、無量普賢、無量觀音、無量彌勒、無量善財、無量梵王帝釋、無量香水海、無量須彌盧、無量有情無情，乃至不可說不可說一切世界俱在者裏，各說如是無量種種法門，汝諸人作麼生見？若見得，則生死二字總與汝沒交涉，亦可與者一隊把手共行。久立，珍重。」

示眾。「廣大門風將委地，可惜無人肯立志，慈雲彊出扶綱常，勞筋苦骨何指示？黃花韡韡露真機，翠竹竿竿明祖意。親切句，只者是，大道自如如，癡人全不識。迦維有箇老師翁，一花垂示付衣偈，三千年來有長松，此師剛柔而並濟。長松會下十餘人，慈雲最愚人還忌，薙名絕跡已多年，今日形蹤無處避。大眾請我轉法輪，白棒一條無所諱，只要人人道眼開，不負參尋學聖智。」

示眾。「春雷疾，春雨密，吹萬正怒哮，耳根浮逼逼，忽然雲霽晴空，刁調普息。我居此所見，實百花香撲鼻，或時遣興過東林，腳跟動處印成跡，此話說向諸人前，直教聞者笑溺滴。」

示眾。「我此大眾，各宜洗滌六根妄宰、一切虛習，將第一義著實審諦。者裏也不怕念起，祇恐不識。上上根人舉一知十，中下之流

依舊無據。者樣底如何教誨？即有箇方便為渠指示。金屑雖貴，落眼成翳。」
示眾。「凡所有相皆是虛妄，若見諸相非相則見如來。」豎起拂子，云：「者是相，作麼生是非相？者裏見得，始知先佛肝膽已為諸人傾出了也；如見不得，孤負古人者段風光。總之，諸人見一切物便作一切物會，未見一箇兩箇向者裏理會是相邪？非相邪？如今既不能了明大事，正好向佛未出世、祖未西來時自己眉毛上識取金剛正眼好。如此，始不枉相聚一番，亦免得他日受閻羅折挫。還知落處麼？」遂擲下拂子。
過寶臺山禮立禪大師塔示眾。拈拄杖敲桶云：「會麼？」時端峰塔主便喝，師云：「且漫與麼，此是大師生平不坐不臥驀於不坐不臥處拾得來底，今日落在者箇桶子裏，要教他出也由山僧，要教他隱也由山僧，且道利害在甚麼處？」峰又喝，師打云：「汝恁麼不惟孤負大師，亦且孤負山僧。」复敲桶云：「明明一具黃金骨，留與世人作樣看。」
示眾。「眼如電，口如吶，問禪不知，問教不孰。似此等禪人在者裏住著，有甚用處？會麼？若不會，知事打鼓普請看。」
出隊，示眾。「一杖昆明已十旬，未曾持缽下嶙峋，昨夜偶然饑火發，燒著東西南北人。大眾！莫有把臂共行底麼？」曳杖便行。
示眾。「山前好松，山後好柏，中間是甚麼？諸人下語看。此語下得，恰與汝一箇鈯斧子住山；不然，擔柴去。」
分衛，示眾。「山僧適才午睡，夢入給孤獨園，見阿難白佛云：『六度何先？』佛言：『善哉！六度者，首檀波羅密。何以故？吾從住此已來，皆用此法，此法令我得無上道故，令我具無量諸功德故，令我滅除三有結習故。』大眾！據世尊此說，喚甚麼作此法？莫是檀波羅密麼？三生六十劫在。」
示眾。「寸絲不挂、粒米不餐底衲僧，正好痛與三十棒。為甚如此？為他祇解潔白地上作滓，未解一切處流通。雖然，且到者裏著。」
示眾。「要取便取，要舍便舍，取舍兩忘時如何？大唐國裏安他不下。」复以拂畫一畫。
示眾。「才是八月中秋，又到重陽菊破，百代光會過客，一瞚生死傳火。欲出三界旅亭，打開識情關鎖，中有一竅通玄，天上地下惟我。」良久，云：「禾山四打鼓，護國三懨懨。」
示眾。「不餐粒米，不披寸絲，人若識得，不離四儀。實言相告，切莫多疑，腦後堂堂絕是非。」

機緣

師在長松領維那，有居士問：「如何是祖師西來意？」師云：「高藍山水間，四面翠微滴。」士云：「不得以竟示人。」師震威喝之。又問：「如何是浮塵野馬？」師云：「黃雁飛過去，胡僧夜看書。」

僧問：「清淨本然，云何忽生山河大地？」師云：「昨日也好雨，今日也好雨。」

僧問：「萬法歸一，一歸何處？」師云：「太華山頂雲片片，羅漢寺前水潺潺。」

僧問：「江梅破玉，春信方來。設問：如何是生機一句？」師云：「山僧口門窄。」

師在長松時，老人上堂，師向前展具，卻云：「也不消得。」便收起。老人豎起拂子，師云：「渾然含理事，何用歷三祇？」老人复豎拂子云：「者箇用得恁麼快。」師禮拜歸位。一日，長松老人問乾谿僧：「月映千江，因甚乾谿不到？」僧無對。師出坡歸，老人舉問師，師云：「某甲今日勞倦。」老人云：「勞倦且置，作麼生是映底道理？」師以手作擎叉勢而出。

士問：「和尚幾時來此？」師云：「天曉月初出，夜半日當空。」士云：「莫是臨濟宗麼？」師喝，士亦喝，師噓一聲。

因士舉古人云：「你不見閻君，閻君要見你。」師云：「何必南山起雲，北山下雨？」

經行次，師顧壁上畫，謂雲谷曰：「此是丹青巧手。」谷云：「巧即不得。」師云：「如何才得？」谷擬對，師云：「掠虛漢。」

師過廣陵萬壽寺，翫月次，問僧：「名甚麼？」僧云：「無隱。」師云：「當月照山河時，忽生雲霧，而輪不可見，是隱是無隱？」僧無語。

師歸獨山，遇無臧，臧問：「欲何處去？」師云：「獨山。」臧云：「獨山關吏甚嚴。」師云：「未到關，早教伊倒退三千里。」

眾參次，師舉古德因緣畢，有聶玄一居士云：「此事正如弟子於中塗目顧四方，不知山水地名。或曰：此某處也，此某處也。弟子當下即了然一般。」師云：「似則也似，是則未是。祇如四方不知名時，種種名色未常不在。及遇人指示，目即了然，種種名色未常始出。此正是取舍之見，何有於道哉？」士禮拜，乞師究竟。師示偈云：「見山當見雲，看水須看月。徘徊涂路中，莫教築著石。」士跽謝而退。

師仝混源遊山，見黃雁飛過，師指云：「闍黎見麼？」源云：「不見。」師云：「不見即得。」

善慶居士求開示，師云：「女名甚麼？」士云：「善慶。」師云：「父母未生前名甚麼？」士無對。師云：「女云名善慶，善慶不善

解，若達善慶理，泥牛奔出海。」
士問：「大千世界被人坐卻，和尚向那裏坐？」師云：「向居士頭上坐。」
師訪嵩目禪師不遇，歸遇諸涂，目問：「和尚何來？」師云：「長松。」目云：「長松近日有何言句示人？」師云：「一味平常。」目云：「衲僧門下好痛與三十棒。」師云：「未開口前，你自合喫一頓。」目擬對，師云：「苦哉佛陀邪！」
有居士從雲腹來，師驀拈拄杖問云：「雲和尚有者箇麼？」士云：「有。」師云：「作麼生用？」士禮拜，師劈脊打云：「汝不會，問取雲和尚去。」
師坐次，有居士至榻前作禮，師鳴指一下，士便出。師召居士，士回首，師复鳴指一下，士拍一拍，師云：「作麼？」士佇思，師厲聲叱之。又一士作禮云：「禮拜和尚。」師云：「恰值和尚不在。」士云：「應者為誰？」師云：「歸也！歸也！」士便出。師召居士，士回首，師云：「作麼！作麼！」士佇思，師亦厲聲叱之。
師仝僧坐次，有居士來，僧以手指云：「者居士不打，更待何時？」師劈口便打僧一下，僧喝，師云：「嫌少那？」隨後又打。
有居士參，適師閱天童老人頌古，士問：「是甚麼葛藤？」師云：「莫眼花。」士云：「某甲不眼花。」師云：「不眼花卻道是葛藤。」士拍一拍，師喝出。
師指庭花問僧云：「古德道：『如夢幻相似。』汝作麼生？」僧云：「仝。」師云：「是甚麼道仝？」僧云：「和尚如何？」師复指云：「者支恁麼紅，者支恁麼白。」复問：「當時臨濟在黃檗處得力，枉大愚處得力。」僧便喝，師云：「喝即不無，畢竟事作麼生？」僧又喝，師打一拂子云：「將謂是底。」
有婆子問：「如何是祖師西來意？」師垂足云：「與山僧脫腳。」婆擬議，師便喝出。
又婆子問：「昨夜生箇孩兒，請師安名。」師云：「不昧。」婆云：「意旨如何？」師云：「阿邪！阿邪！」婆云：「叫屈作麼？」師便喝。
有居士謁，師下禪床，以手加額云：「莫是不二居士麼？」士云：「是。」師云：「天晴不來下雨來。」士云：「聞和尚至，破雨奉謁。」師云：「路上遇人也未？」士罔措，師指狗子云：「者是子湖底？趙州底？」士云：「一任安名。」師云：「明日來，與汝一坑藐卻。」
僧問：「和尚從那裏來？」師云：「看腳下。」僧云：「猶涉程塗在。」師云：「憐兒不覺醜。」僧擬進語，師便喝出。

士問：「如何是父母未生前面目？」師劈口掌云：「是生邪？未生邪？」
婆問：「如何是水中月、鏡中相？」師云：「分明道破。」婆云：「如何是未動腳跟前薦取？」師云：「喫棒了也未？」
師問僧：「甚處來？」僧云：「帝釋菴。」師云：「來時帝釋出善法堂未？」僧云：「卻請和尚道。」師云：「我不從帝釋菴來。」復顧侍僧云：「者僧欠棒在。」侍僧擬進語，師云：「一等可憐生。」有居士作禮，師與驀頭一蹋，士云：「者蹋也用不著。」師云：「見箇甚麼便與麼道？」士云：「無入處。」師以手指地云：「者裏入。」
僧問：「和尚承嗣何人？」師云：「諸佛非我道。」僧擬進語，師叱之。
僧問：「學人從偏位中來，請和尚正位中接。」師劈頭一棒，僧接住，師便掌。僧喝，師复掌之。
師因僧呈偈，師接得，复申手云：「還有麼？」僧擬議，師便掌云：「丙丁童子來求火。」
有婆子問：「成佛消息在甚麼處？」師云：「腳跟下。」婆云：「除卻腳跟下又如何？」師云：「腦後看取。」
有居士指狗子云：「和尚快道。」師云：「者畜生！」士踢狗子，師云：「適才為汝道甚麼？」士無語。
僧問：「如何是水中月？」師云：「祇教你撈摸不著。」
士問：「弟子工夫不得力，就師請益。」師云：「汝從甚處來？」士云：「關嶺。」師云：「雲和尚處有甚因緣？」士云：「曾舉瑞巖主人公話。」師云：「你甚處見瑞巖？」士佇思，師云：「汝不識瑞巖落處在。若知瑞巖落處，則知雲腹落處；知雲腹落處，則見得山僧；見得山僧，則從上諸佛被汝一口吞卻。」
士問：「如何是東山水上行？」師云：「兩岸蘆花翻野色，一江風月弄波光。」
婆子問：「如何是佛？」師云：「相好光明。」婆云：「如何是真人？」師云：「滿口道不出。」婆云：「如何是海底撈鍼？」師云：「正好著力。」
僧問：「一口气不來，向甚麼處去？」師良久，云：「甚麼處去？」有俗士豎起扇子，云：「速道！速道！」師云：「販私鹽漢。」士展開扇子，師云：「販私鹽漢。」士歸位，師云：「好柄扇子，祇是少風。」
童子問：「如何是學？」師云：「勤而行之。」
尼善逝求開示，師喝一喝，尼不喻旨，侍僧云：「為汝開示已竟。」師打侍僧三棒。

僧問：「先有和尚？先有天地？」師云：「山僧後天地，天地後山僧。」
士問：「如何是肉眼？」師云：「眉毛腳下看。」士云：「如何是天眼？」師云：「河山也覷透。」士云：「如何是慧眼？」師云：「妍媸景自分。」士云：「如何是法眼？」師云：「一一鑒如日。」士云：「如何是佛眼？」師云：「鐵壁也須通。」士云：「五眼蒙師指示，即今事作麼生？」師召居士，士應諾，師云：「喫茶去。」
玄初居士問：「如何是一味馨香出菊林？」師云：「不是飽餐人不知。」
僧作禮，師與驀頭一棒，云：「是甚麼？」僧不審，師云：「悔！悔！」僧云：「悔甚麼？」師云：「悔適才錯打闍黎。」僧云：「棒頭有眼。」師云：「眼在甚麼處？」僧無對，師呵呵大笑。
僧問：「水盡山窮時如何？」師云：「者是拄杖子。」僧禮拜，師便打。
僧問：「諸魔頓盡時如何？」師云：「且不向汝道。」
馬居士騎驢入山，師問云：「既是馬，因甚騎驢？」士罔措，師呵呵大笑。
僧問：「如何是的的意旨？」師云：「石馬夜嘶風。」僧作禮，師云：「有先鋒，無殿後。」便打。
僧辭師，師以拂子畫一畫，云：「過得者裏便去。」僧云：「怎過不得？」師云：「作麼生？」僧禮拜，師打，云：「好好記取。」
彌勒高檀越入山供大眾布，師提起云：「天龍恭敬，不以為喜。若下得一轉語，便與他布。」時竹元首座出云：「某甲定不得布。」師云：「作麼生？」元趨出。
僧問：「如何是萬象之中獨露身？」師卓拄杖，僧禮拜，師云：「者裏放過即不可。」便打。
士問：「如何是安身立命處？」師云：「拄杖子卻知，問取一轉語。」士擬議，師便打。
師問元首座：「臨濟有箇賓主句，汝作麼生？」元便喝，師云：「是賓是主？」元又喝，師云：「汝再喝看。」元云：「得恁麼不識好惡？」師云：「者漢卻來者裏捋虎須。」元掩耳而出。
師問磷西堂：「臨濟枉黃檗處得力？枉大愚處得力？」磷云：「和尚也不得無厭生。」師云：「末後如何？」磷云：「落得一場笑。」師云：「未在，更道。」磷舞坐具便出。
佛果高居士問：「西來的旨可得聞乎？」師云：「得，得。」果禮拜，師以扇[打-丁+於]之，果云：「從今更不問和尚也。」師云：「汝見箇甚麼道理？」果再拜而去。

僧光遠謁師，師云：「汝名光遠邪？」僧云：「是。」師云：「設遇覆盆下又作麼生？」僧云：「諸佛仝一鼻孔。」師喝云：「甚麼所在，說仝說別？」僧云：「通身放下。」師直打出。
僧問：「如何是單傳之旨？」師云：「一箇鬏鬆兩箇丫。」
僧問：「古德云：『三藏十二部，從者裏流出。』又云：『從者裏流入。』未審出底是？入底是？」師卓杖云：「不得喚作拄杖子。」僧禮拜，師便打。
僧問：「本常理即不問，如何是迴脫根塵句？」師云：「棒頭自有驚人句，喝下何須覓指歸？」僧云：「恁麼則橫身踊躍去也。」師便打。
僧問：「如何是三玄的旨？」師云：「重陽九日菊花新。」
師常呼僧名，僧應諾，師云：「汝名甚麼？」或呼僧，僧至，師云：「我不曾叫汝。」或呼僧，僧擬議，師云：「可憐生！」复云：「嵩山有的旨，但呼汝名字，汝不恁麼來，我便恁麼去。」
僧問：「如何是正法眼藏？」師云：「六月裏炭團。」
僧問：「慈雲、嵩山二監院齊到，還有賓主也無？」師云：「賓主歷然。」僧禮拜，師打一棒，云：「恰倩汝用。」
士問：「如何是成佛底事？」師云：「殺人放火。」
僧問：「藏身處沒蹤跡，沒蹤跡處莫藏身，意旨如何？」師云：「皓月當空照無聊。」僧云：「還照學人也未？」師云：「將謂闍黎早薦得，不知猶在覆盆中。」
僧問：「終日商量，明甚麼邊事？」師云：「油鹽錢乞我一文。」
僧問：「學人桶破也，請和尚驗。」師云：「汝桶破也。」僧擬開口，師劈脊便打。

普說

普說。「若論者箇事，人各自具，人各不無。既人各自具，人各不無，又要山僧說箇甚麼？盍人雖自具，人雖不無，而人人不識自性，無始劫來認賊為子，薶沒家珍，妄自馳求，由此枉入諸趣，輪轉不休。故勞我先佛出來，示此一大事因緣，種種譬喻，無數善巧，喚作開方便門，示真實相，使人人悟明心地，了達諸緣，識取自家一段光明，以為修證之驗，自具不無之理於是乎得矣。奈何人人又於文言中泥滯，不知言外取討，是又勞我祖師西來，特唱幽宗，單明教外，喚作專接上機，使人人不落文字，直下承當，了達罪性本空，不涉言詮，以為直截之徑。故曰：教外別傳。遞相流布，綿綿繼續，楷模後人。自南嶽、馬祖、百丈、青原、石頭、藥山、臨濟、溈仰、曹洞、雲門、法眼，皆傳此印也。其他七破蒲

團，四十年不雜用心，三二十年打成一片，三登九上，種種勤勞，無非為此大事耳。今之初學，才進門來，便作自了自悟，已修已證想，甘心於無事甲裏、妄想叢中，終日食信心檀越食，衣信心檀越衣，取快過時，何有實落？烏乎！豈古人不若時輩之甚與？你輩既為生死事大，與山僧相伴，切勿學此般人無廉無恥、無慚無媿，須是實心達本，方為沙門極則。不然，終是虛妄之心窺竊祖位、欺罔良善、地獄種子。山僧住慈雲時，見有稱天童法嗣、稱萬峰衣缽，高談闊論，或有箇問著，便東指西畫、胡喝亂打，如此欺忤賢良、辱沒先德，百醜千態不堪屈指。山僧此說，只要人人識取自家本具一著，共相委悉，使佛祖一脈流通，作人天眼目，起迪後昆。復次，大眾！若以坐為禪，禪非坐臥，昔馬祖在南嶽二十年，諄以打坐為業，一日被讓和尚磨磚打車之喻，方才了達性空，穌通前後。若以棒喝為禪，禪非棒喝，棒喝若是禪，則十字街頭、三家村裏，擔來負去、掄拳喝罵者，亦應是禪邪？若以能言能說為禪，禪非言說，言說若是禪，則演禽賣卜、經紀貿易者，亦應是禪邪？若以義理講論為禪，禪非論義，論義若是禪，則經師律虎、文人墨士，亦應是禪邪？故教中道：我所說法，如筏喻者。又曰：指南一路，智者知疏。因你輩初入法門，假此重重指示，非為與人逞驢脣馬嘴，作地獄種子耳。珍重，珍重！」

普說。僧問：「和尚未出方丈，學人未到法堂時如何？」師云：「由前山後雨瀟瀟。」乃云：「霧重重鎖寂寥，山前山後雨瀟瀟，為要普滋三艸茂，甘霖從此應今朝。大眾！若論三艸二木，不獨大支小葉、拖綠垂青，以喻天人十善、小果四諦、緣覺十二法、菩薩六度，即聖之與凡、頓之與漸、迷之與悟、愚之與慧、利之與鈍，總此喻中收，然亦不出箇自性自度。何也？你若從見聞識得自性，便是見聞自度；從覺知識得自性，便是覺知自度；從色聲識得自性，便是色聲自度；從觸法識得自性，便是觸法自度。故三艸二木之喻，無非為人指衣下明珠、宅中大駕，豈有他邪？後來祖師家種種利生，亦是艸木之喻。昔僧問趙州云：『學人乍入叢林，乞和尚方便指示。』州云：『喫鬻了也未？』僧云：『喫鬻了也。』州云：『洗缽盂去。』僧從斯省悟。又僧請益葉縣省庭前柏樹子話，省云：『吾不辭語汝，恐汝不信。』僧云：『和尚誠言，安敢不信？』省云：『汝聞簷前雨滴聲麼？』其僧不覺失聲云：『[口*邪]！』省云：『汝見箇甚麼？』僧對以偈曰：『簷前雨滴，分明歷歷，打破虛空，當下心息。』又廣額屠兒於涅槃會上颺下屠刀云：『世尊！我是千佛中一數。』世尊云：『如是！如是！汝是千佛中一數。』又外道：『不問有言，不問無言。』世尊良久，外道禮拜讚歎云：『世尊大慈大悲，開我迷雲，令我得入。』又僧問一

尊宿：『學人要覓箇去處，向甚處去？』宿以手指云：『向那裏去。』其僧佇立，宿云：『汝不去，怎怪得老僧？』如此都是見聞覺知、色聲觸法悟去底樣子，都是艸木喻中悟得底樣子。所以悟得念佛，則念佛底是；悟得誦經，則誦經底是；悟得持咒，則持咒底是；悟得禮拜，則禮拜底是；悟得持戒，則持戒底是；悟得參禪，則參禪底是。何故？盍都是諸佛之本源、祖師之命脈。所謂開方便門、示真實相者，此也。若萬派朝宗、千江一月，此悟之一字，乃起迪之源也。洛浦云：『單明自己法眼，未明此人，祇具一隻眼。若要雙眼圓明，除是不居陰界、不涉眾緣，無景林中高縣日月、不萌支上暗辦春秋始得。』諸仁者！倘若依而行之，將他佛祖玄言玅句、三臧十二部、千七百則一一坐斷，然後向人天眾前大抹高揮，豈不快哉？雖然如是，也要知衲僧門下別有轉身處始得。今日為我眾居士來叢林裏飯僧，不覺忉忉怛怛，汝等還見麼？若也未見，待來日普請看。」

普說。「夫諸佛祖師，惟為此一大事因緣故，出見於世。諸人還知大事也未？勿論僧之與俗、男之與女、貧之與富、貴之與賤，人人貴在識破生死二字。若識破生死二字，則曰輪迴、曰顛倒、曰涅槃、曰真如、曰佛性、曰煩惱、曰苦樂、曰善惡、曰取舍，總是賸語，何有繫縛哉？不然，盡是安立知見，隨業漂沈，汩沒四生，輪迴三界，不能舍妄歸真、從凡入聖。所以佛祖千萬方便，或行棒行喝、或示機示竟，只要使人當下冰消無始劫來種種窠窟，拾取自家一段光明，七花八裂，徹底玲瓏，始知從前錯用許多痴福。故古者道：『佛即是塵，塵即是佛，心佛眾生，三無差別。』豈虛語哉？又曰：『佛真法身，猶若虛空，應物見形，如水中月。』雖然，如何說箇應底道理？莫是穿衣喫飯、屙屎放溺麼？莫是營家治業、教子訓孫麼？莫是高車大馬、呼奴使婢麼？莫是迎賓送客、折旋頫仰麼？莫是運水般柴、跨南走北麼？殊不知一一俱是，只是你諸人業識茫茫，無本可據，祇為從前不曾段鍊一回，依人作解，障自悟門，盡是經論邊、語言裏熱謾了，虛過一生，從劫至劫，無有出身之路。若是英靈上士，直下便知，安肯被他老婆舌頭轉卻面門，使不得玅邪？珍重。」

普說。「吾祖之道，不立文字尚矣。所以臨機顯晦，出格超群，若壯士屈臂，不借他力。臨濟大師云：『大凡舉唱宗乘，一句語須具三玄門，一玄門須具三要路，有權有實，有照有用。』如今去聖時遙，薆沒宗旨者比比，而禪衲盜竊祖位者亦比比，且返訕正知正見為文字，以己知己見為聖諦，蠱惑愚癡，謂大道無言，只枉清修苦鍊，甘於無事甲裏，黑山鬼窟，瞠眉動目為極。或有問，不是無根之言，便是胡打胡喝。若如是，則教外別傳之旨埽地矣。不見一貫

之旨，非顏曾莫能顯；抱一守元，非老莊莫能措。惟此一事，實非迦葉諸祖莫能相傳。三教聖賢莫不以此燮理陰陽，入無何有鄉，游覺苑之場。嗟乎！清修苦鍊，甘於無事甲裏者，尚何如哉？古人云：『今人不疑古人言句，學者大病。』余雖不敏，大眾請事斯語矣。」

普說。「上古淳風，居巢處穴，大智而後，布列叢林，養育才器，陳規矩，修繩墨，雖則可觀，而去聖愈遠矣。烏乎！看來如今不是無禪，祇是無師，古人豈欺我哉？獨是余身微言輕，不能為諸人張之。雖然，略舉數人行履，為諸人楷式。若楊岐監院、應菴副寺、寒山菜汁、拾得埽地、法昌行腳、圜悟歸侍、太原知浴、育王掌記、真牧維那、牛頭負米、大鑑打碓、石霜篩簸、雪峰飯頭、溈山典座、巖頭帶鋤、廣慧築圃、靈巖馳書、虎丘臧主、首山典客、龍牙庄役、夾山開堂、洞山生薑、道吾把鍼、寶壽街坊、明招烹茶、芙蓉提拏、普化生菜、智勇籬笆、雲峰乞炭、仰山種畬、蔣山槽廠、馬足推車、佛鑑封衾、興陽爛瓜、天童摩懺、盧陂當衙、香嚴拾垢、世奇聽蛙、海舟鐙繩、小塘袈裟、石鞏牧牛、嵇山柴頭、南泉行鬻、天衣汲湫、保福直歲、石門耕疇、重雲侍藥、洞山整灼、華藥持缽、華嚴鋤钁者，一路老古錐，得非諸人楷式邪？谷隱云：『如人學書，點畫可效者工，否者拙。』然山僧識淺德薄，不能新意，但取從上楷模，以結眾緣。倘諸人卒地折，曝地斷，始知古何人也？今何人也？唾罵山僧有日在。」

普說。舉：「什邡方水禪師示眾云：『方水潭中鱉鼻蛇，擬心相向便榆揶，何人拔得蛇頭出？』後來大隨元靖禪師舉了云：『方水潭中鱉鼻蛇。』昭覺克勤禪師舉了云：『雲門胡餅趙州茶。』靈隱慧遠禪師舉了云：『嚤呢嗹哩吽婆吒。』靈巖完璧老師舉了云：『霜葉紅於二月花。』者四尊宿可謂斗運於上，事立於下，斗指一方，四塞俱成，只是中間猶有點淆訛，若不為諸人說過，未免淆訛到底。且道淆訛在甚處？」乃顧左右云：「者裏無人證盟。雖然，嵩山又作麼生？」遂舉了云：「依然者事隔天涯。」

嵩山野竹禪師語錄卷五(終)

嵩山野竹禪師語錄卷六

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

拈古

舉：「世尊一日陞座，文殊白椎云：『諦觀法王法，法王法如是。』世尊便下座。」

拈云：「文殊見兔放鷹，正不失為本分；世尊因人成事，亦不失為宗師。只是百萬人天，不合大驚小怪，正眼看來，總是搓巴若鬼。」

舉：「世尊因耆婆善別音響，過一冢間，見五髑髏，乃敲一髑髏問曰：『生何道？』曰：『生天道。』又敲一曰：『生何道？』曰：『生人道。』又敲一曰：『生何道？』耆婆罔措。天童悟老人云：『世尊大似有先鋒，無殿後，待耆婆罔知，便也好與一敲。何故？不見道：先以定動，後以智拔。』」

拈云：「大小世尊無故坑陷平人，若非天童老人拔劍相救，未免髑髏遍地，所謂失之東隅，收之桑榆，未為晚也。」

舉：「明州布袋和尚常攜一布袋，或問：『如何是布袋？』袋便放下布袋。曰：『如何是布袋下事？』袋負之而去。或於稠人中打開布袋中物，擦下云：『看！看！』天童悟老人云：『少賣弄。』」

拈云：「一箇布袋便作奇特觀，若不是天童老人，幾被他謾過。」遂召大眾，眾舉首，師云：「可憐生」。

舉：「六祖大師云：『不思善，不思惡，正恁麼時，阿那箇是明上座本來面目？』明即悟入。」

拈云：「不思善，不思惡，正是明上座疑處，亦是明上座悟處，只不合向密語密意邊淹殺。如今還有救得者麼？」

舉：「六祖謂門人云：『吾歸新州，汝等速理舟楫。』門云：『師從此去，早晚卻回？』祖云：『葉落歸根，來時無口。』五祖演云：『祖師恁麼道，猶欠悟在。』悟老人云：『五祖恁麼道，還知端的也無？』」

拈云：「二大師舉此公案，將謂有箇焦尾巴接拍，殊不知徒自疲困。慈雲則不然，來日不得普請。」

舉：「南泉因東西兩堂爭貓兒，泉遇之，白眾曰：『道得即救取貓兒，道不得即斬卻也。』眾無對，泉便斬之。趙州自外

歸，泉舉前話示之，州乃脫履安頭上而出。泉曰：『子若在，即救得貓兒。』」

拈云：「南泉有生禽潛捉之手，無奪趙幟之能；趙州有縱奪殺潛之機，無縛彊項之智。千載之下，猶令人扼擊。大眾！慈雲恁麼，還有獨超物外助慈雲一臂者麼？」

舉：「南泉云：『王老師自小養一頭水羖，擬向谿東牧，未免食他國王水艸；擬向谿西牧，亦未免食他國王水艸。如今隨分納些些，總不見得。』悟老人云：『南泉希圖本分，不知翻成分外。』」

拈云：「王老師者頭水羖，費盡許多艸料方得肥膩，後來天童老人翻為屈殺。雖然，天童老人可謂善挽千鈞。」

舉：「大梅住山，馬祖令僧去問：『和尚見馬大師得箇甚麼便住此山？』梅云：『大師向我道即心即佛，我便向者裏住。』僧曰：『大師近日佛法又別。』梅云：『作麼生？』曰：『又道非心非佛。』梅云：『者老漢惑亂人未有了日，任他非心非佛，我祇管即心即佛。』其僧回舉似馬祖，祖曰：『梅子熟也。』」

拈云：「即心即佛，正是諸人笑處；非心非佛，亦正是諸人哭處。惑亂人未有了日即不無，敢問諸仁者：梅子熟時以何為驗？」

舉：「溈山示眾云：『老僧百年後，向山下作一頭水羖牛，左脅下書五字曰「溈山僧某甲」。當恁麼時，喚作溈山僧，又是水羖牛；喚作水羖牛，又是溈山僧某甲。畢竟喚作甚麼即得？』悟老人云：『溈山大似不打自招。』复云：『還知金粟落處麼？』」

拈云：「溈山古佛走入水羖牛隊裏，及金粟落處且置，還知慈雲落處麼？」

舉：「湖南祇林和尚每叱文殊、普賢為精魅，手持木劍，自謂降魔。每見僧來參，便云：『魔來也，魔來也。』以劍亂揮，歸方丈。如是十二年，後擿劍無言。僧問：『十二年前為甚降魔？』林云：『賊不打貧兒家。』『十二年後為甚不降魔？』林云：『賊不打貧兒家。』」

拈云：「湖南好箇賊，不打貧兒家，爭奈者僧前度有箇入路、後度沒箇出路？若是慈雲長老見與麼道，拂袖便行。」

舉：「仰山問中邑：『如何得見佛性去？』邑云：『譬如一室有六囱云云。』」

拈云：「仰山如此，可謂有半斤始稱八兩；中邑如彼，可謂有全機方施大用。大眾！瞌睡獼猴醒醒且置，你道相見後如何？」驀

歸方丈。

舉：「僧問趙州：『學人乍入叢林，乞師指示。』州云：『喫鬻了也未？』僧云：『喫鬻了也。』州云：『洗缽盂去。』僧從斯悟入。」

拈云：「七百餘甲子老禪伯，見人問著便鼓鬻飯气，雖療得他人饑，不覺失卻自己碗。大眾還知麼？」

舉：「僧問趙州：『萬法歸一，一歸何處？』州云：『我在青州作領布衫，重七斤。』」

拈云：「老趙州雖善裁長補短、較重量輕，柬點將來不無猶欠機關在。何也？切忌向者僧前賣弄。」

舉：「臨濟問黃檗佛法的的大意，三度問，三度被打，不契。檗指參大愚云云。」

拈云：「三度痛棒如蒿支拂相似，不是高安艾九向棒瘡上灸之，幾乎成箇拍盲。」

舉：「臨濟一日與河陽、木塔三人在僧堂坐，正說普化每日在街市掣風掣顛，未知他是凡是聖。化忽入來，濟便問：『汝是凡是聖？』化云：『汝且道我是凡是聖？』濟便喝，化以手指云：『河陽新婦子，木塔老婆禪，臨濟小廝兒，卻具一隻眼。』濟云：『者賊。』化云：『賊！賊！』便出去。」

拈云：「者三尊宿商量浩浩地且置，祇如臨濟道箇賊，普化道箇賊賊便出去，是甚麼意？」

舉：「臨濟將示滅，屬三聖云：『吾遷化後，不得滅卻吾正法眼藏。』聖云：『怎敢滅卻和尚正法眼藏？』濟云：『忽有人問，汝作麼生抵對？』聖便喝，濟云：『誰知吾正法眼藏向瞎驢邊滅卻？』」

拈云：「臨濟老漢生平用白拈手段，所以末後猶有一段顧命之恩，爭奈三聖不識好惡，卻向瞎驢隊裏下者一喝，喚作父子一堂。」

舉：「僧到翠巖相看，值巖不在，遂看主事，事云：『參見和尚也未？』僧云：『未曾。』事乃指狗子云：『上人要見和尚，但禮者狗子。』僧無語。後巖歸，問云：『作麼生免得與麼無語去？』雲門云：『欲見其師，先觀弟子。』玅喜云：『當時若作者僧，便禮狗子一拜。』」

拈云：「大眾！欲見其師，先觀弟子且從。祇如玅喜禮拜狗子，還得也無？世情看冷煖，人面逐高低。」

舉：「靈雲見桃花悟入，述偈云：『三十年來尋劍客，幾回落葉又抽支。自從一見桃花後，直至而今更不疑。』玄沙聞云：『諦當甚諦當，敢保老兄未徹在。』」

拈云：「日暖花香，自是家家園裏春堪賞，所以靈雲卻向者香嗅裏道箇不疑。後來玄沙恁麼，且道那裏是他未徹處？」

舉：「瑞巖問巖頭：『如何是本常理？』頭云：『動也。』巖云：『動後如何？』頭云：『不見本常理。』巖佇思，頭云：『肯則迴脫根塵，不肯則永沈生死。』巖即悟入。」

拈云：「縣巖散手，未是承當；絕後再穌，欺君不得。所以觀世音將錢買胡餅，放下卻是饅頭。」

舉：「九峰在石霜作侍者，霜遷化，眾請堂中第一座接續住持，峰不肯云云。」

拈云：「座元平地上扶杖猶恐遭跌，況滑路上能放腳邪？九峰也好箇心腸，不失為益友，只不合剛克於人，故失於厚道。慈雲恁麼斷，且道免得天下人唾罵也未？」

舉：「臨濟和尚示眾云：『赤肉團上有一無位真人，在汝諸人面門出入，未證據者看看。』時有僧出問：『如何是無位真人？』濟下禪床扭住云：『道！道！』僧無對。濟拓開云：『無位真人是甚麼乾菌橛？』」

拈云：「無位真人非但者僧無對，直饒智過張良、勇過項羽，看則有分、舉則淆訛。嵩山不惜新暑，要與諸人說破。」以杖擊禪床一下，云：「洎合錯下註腳。」

舉：「雪巖欽問高峰：『無夢無想主人公云云。』」

拈云：「正無夢想時，主人公枉甚麼處？此一詰，雪巖老人可謂天地父母心，亦可謂善教人處，但高峰推落枕子，只是難當者一驚。」

頌古

世尊拈花

當時手裏也平常，未必千金學此方。金色老人彊解事，至今顛倒我衣常。

產難因緣

相逢借問口難開，此日郎君落節回。縱是靈山霜雪遍，梅花未必送春來。

女子出定

當日入定女子，一踢踢翻便止。何必拓至梵天，又要渠來彈指。

外道問世尊：「不問有言，不問無言。」世尊良久，外道讚歎云：「世尊大慈，開我迷雲，令我得入。」

有無不問更是邪，一得江風便轉柁。回首長安何近遠，秋光月色冷平沙。

教云：若能轉物，即仝如來。

爾知我不知，我到爾不到。上馬築金鞭，下馬脫紙帽。

教云：佛說、剎說、眾生說、三世一時說。

刀刀眾木怒號起，三籟分明仝一音。若謂便含千古韻，依然錯認祖師心。

教云：關閉一切諸惡趣而生五道，以見其身。

關閉不關閉，失錢便遭罪。巴掌問拳頭，此是何三昧。

教云：當知虛空生汝心內，猶若片雲點太清裏。

好箇娘生，四大十方，總此一袋。看來無欠無餘，酬償佛冤祖債。

教云：見見之時，見非是見，見欲離見，見不能及。

春眠不覺曉，處處聞啼鳥。夜來風雨聲，花落知多少。

善財童子五十三參

未見文殊時，樓閣門已破。何必遍參來，千古成話墮。快須坐斷聖凡情，莫直大蟲看水磨。复彈指云：錯。

達磨見武帝

普通年中到吳江，高談殿陛心無降。不是天王多雨露，腰支未免血淙淙。

二祖斷臂

獨立庭前三尺雪，提刀斫手求心訣。天曉回頭骨已寒，翻然下拜何須說。

三祖懺罪

推求身恙若空然，如雪輕飛落火邊。始信從來無一物，河山依舊月明前。

道明趁盧行者

不見惡，不見善，者箇分明看得見。看得見，虛空背上早著箭。

思和尚問六祖

秦鑒當天物莫逃，寒光如水絕塵囂。回頭自照無功用，階級何曾著一毫。

馬祖不安

日面佛，月面佛，十有九人自受屈。清光如前照寶峰，兒孫高論翻為物。

野鴨子

高論雲中野鴨飛，鼻梁扭得痛如錐。歸來明月西江上，心曲如今說向誰。

百丈示眾

不將語默涉離微，翠竹黃花是邪非。屏卻咽喉如道得，潑天門戶复光煇。

黃檗拓缽

持缽王城也自然，相逢話舊各拋磚。誰知引玉都無實，且看蘆花放釣船。

三頓棒

丈室何曾開得口，三遭痛棒拂蒿支。高安築了拳頭後，從此顛名天下知。

四料揀

奪人不奪竟，白菊一籬香風永。誰家江上擣秋砧，思殺關西征戍冷。

奪竟不奪人，金鞍白馬倍精神。紅日西沉春已去，不知何地更逢春。

人竟兩俱奪，雲搖雨散成空闊。秦皇一去離宮休，陵寢荒來鳴曉鵊。

人竟俱不奪，漢地秦山花雨闊。公子王孫樂未央，銅鞮唱罷春風潑。

臨濟在黃檗鋤園

低頭鋤艸正新晴，钁柄翻開萬古春，莫謂尋常禮樂備，恐妨白日滔薶人。

南泉斬貓

掌中三尺豐城劍，雲水魂消敢乞鄰？脫下艸鞋春已去，一年一度暗傷神。

平常心是道

平常心是道，江風波浩浩。日用事如何，屙屎與放溺。

陸亙大夫問南泉云：「肇法師也甚奇特云云。」

牡丹花似美人莊，一著春風遍地香。玉指指時人不會，可憐無語對斜陽。

陸亙問南泉餅鵝話

標宗句子不淆訛，喚一聲來餅出鵝，從此家邦安若石，烹茶釀酒喫如何？

麻谷持錫

是不是，離不離，看他轉便欲何為？禪床三匝無多子，不免當頭下一椎。

僧問興化：「四方八面來時如何？」化云：「打中間底。」

饒他八面盡來時，當中一棒血淋漓，黑風暴雨忽然盡，村齋依舊飽如斯。

石頭參思和尚

雲鎖蒼梧鳳獨栖，雨去晴來總不知。總不知，秦皇漢武過多時。

藥山侍石頭遊山

兩兩峰頭說六朝，秋風吹殺小谿橋，誰知笑裏成刀劍，只到而今恨未消。

石頭和尚剷艸次，鄧隱峰在左側叉手云云。

者邊那邊，一钁齊剷。隱峰面牆，石頭擔板。看來赤土自成[阜-十]，獨許洞山具隻眼。

僧問洞山：「如何是佛？」山云：「待洞水逆流，即向汝道。」

洞水逆流如道得，平沙依舊月西斜。秋風昨夜吹霜雪，不識何人醉酒家。

江州刺史李問歸宗介子納須彌話

介納須彌莫是妄，十人九箇不能詮。從顛至踵如椰子，萬卷詩書何處邊。

白樂天謁歸宗

君子儒，小人儒，白公不悟走盤珠。當時若是僊陀客，奪過泥盤恰好塗。

僧問道吾：「如何是深深處？」吾下禪床作女人拜云：「謝子遠來，無可祇待。」

深深深意才相問，便下禪床作拜酬。熱血一腔原不惜，奈何郎意未曾休。

道吾有時持木劍在肩上作舞

怪來便去頻揮劍，者事分明無少欠，擿下依然是道吾，髑髏遍地無人窒。

僧問趙州云：「和尚姓甚麼？」州云：「常州有。」

常州有，常州有，赤土畫時樣不走。畫長畫短知不知，王維雖巧莫能偶。

趙州十二時

晝夜推遷一百剎，翻來覆去者箇賊。趙州也自解風流，打得胡笳十八拍。

趙州參南泉

示審沙彌有主無，進前叉手豈糊塗？果然蘆菔情關切，不是尋常小丈夫。

趙州因一秀才云：「和尚是古佛。」州云：「秀才是新如來。」

趙州是古佛，秀才新如來。兩箇粗體貨，深深掘土蘍。

趙州訪臨濟

一人口啞，一人耳聵，兩箇纏綿，本是一對。勘破了，大家請退。

秀才問趙州：「佛滿眾生願云云。」

當機覿面提，覿面當機疾。某甲非君子，我亦不是佛。各與三十藤，免得鑽鬼窟。

趙州三佛

趙州三佛，金木土屬，一齊搭卻，省得取辱。打瓦鼓，唱巴曲，者箇風流，千足萬足。

趙州因尼問：「如何是密密意？」

欲將密意為深酬，好箇白頭老趙州。一掐通身毛骨換，不知何處更風流。

雲峰示眾

何必與不必，兩頭俱不挈。正當恁麼時，一掌一握血。

三心不可得

過去來今不可得，紅粉佳人解作賊。金剛疏鈔燒龍潭，直到而今天下黑。

德山拓缽

衲子家風不別，剛刀須是鑌鐵。斬斷雪峰命根，那討巖頭饒舌？三年死去下冰霜，萬里關山人跡絕。

船子接夾山

高隱雲閒幾十秋，風晴雨露一孤舟。江清浪暖錦鱗出，卻向波心自點頭。

僧問夾山：「如何是佛？」山云：「此閒無賓主。」

本來不坐空王殿，誰肯尋花上五臺？如問山中何所有，春池浪靜月初來。

僧問夾山：「如何是夾山竟？」

山頭碧去是秋煙，茅屋寒來霜滿天。二十年前如此見，安知此日不如前。

保福、長慶、鏡清三人遊山

萬丈峰頭一碧秋，玅高山色似相侔，不見當年人可惜，如今淚向白雲流。

三喚侍者

國師三喚，侍者三應。負汝負吾，情何逕庭。秋光一片落西湖，且看菊英香三徑。

靈雲見桃花

露滴蒼苔桃萼嫩，香飄綠樹故園春。花神滿院人皆見，何似靈雲見得親。

僧問石霜：「如何是和尚深深處？」霜云：「無鑷鎖子兩頭搖。」

無鑷鎖子兩頭搖，萬兩黃金也合消。閒看江南三月雨，春風滿地是波濤。

婆子燒菴

祇解閉門煨野粳，不知門外春風催。翻思二十年前事，幾度梅花冷自開。

北斗臧身

秋月照高堂，艸根鳴絡緯，若非鍾子期，休問琴中旨。

白雲端和尚牧牛圖

白雲老子，是心未休，石上種棘，空裏插鍬，描形畫跡也無由。咄！

鄧隱峰推車次，馬大師展腳路上坐云云。

單車直輓向中原，萬騎倒戈日月昏。戰場斧子千鈞重，引頸相酬報此恩。

石車乘禪師問天童悟和尚：「設有問如何是禪？作麼抵對？」悟打，云：「一棒打教髑髏穿。」云：「更有問又如何？」悟亦打，云：「足方頂更圓。」云：「更有問又如何？」悟复打，云：「口裏舌頭尖。」云：「更有問又如何？」悟再打，云：「若喚作禪，入地獄如射箭。」乘禮拜。

七尺金鞭驅祖令，百千三昧此中圓。五湖自此狼煙息，獨累兒孫續正傳。

僧問天童悟和尚：「色身非我，我亦非真，如何是本來面目？」悟與推倒。師著語云：「費許多气力作麼？」

色身非我我非真，口未開時早喫棒。十二巫峰月正明，猿聲啼枉枯藤上。

僧問破山明和尚：「終日喫飯，不曾咬著一粒時如何？」明云：「一箇斑鳩九隻鳥。」

撥艸瞻風心悄悄，自言一粒不曾咬，萬峰別有好商量，痛道斑鳩九隻鳥。

青州布衫

白髮老人何太切，長將心事翻脣舌。青州衫子也無耑，坐上深房不可說。

鐵龍拙和尚四眼。一、金剛眼。

打破娘生眼見之，見時石火較猶遲。莫云五色能盲此，射殺陽烏分外奇。

透關眼。

月冷三更戶未關，朱簾不卷也清閒。裹中把出琉璃盞，石女當軒笑破顏。

擇法眼。

十尺樓臺百寶莊，金珠瓦石也盈堂。不須更借銀蟾力，貴賤妍媸不敢臧。

超宗眼

四海清清一色秋，空林黃葉落悠悠。仙人別有壺中日，不似陽烏照九州。

天地仝根，萬物一體。

天地仝根，萬物一體。此言如何？打著心髓。肇法師，肇法師，我要問你，南泉為甚麼道時人見此一朱花，如夢幻相似？

僧問長松璧和尚：「萬法歸一，一歸何處？」璧云：「疊翠峰。」

寒空一雁度秋河，思殺鄉關奈若何。如是不能知轉便，年年隴上泣嵯峨。

僧問長松：「如何是第一義？」松云：「猴愁摟搜頭。」

撥開空外一支春，特殺分明特殺新，喝散乾坤驅祖令，當頭誰設論疏親？

僧問長松：「如何是祖師西來意？」松云：「門前五箇石。」

大意如何五箇石，分明的示與兒曹。滄江空闊秋天雨，一處寒聲涌怒濤。

僧問長松：「如何是須須長丈二。」松云：「白羖背上一莖毛。」

須須丈二問如何，白羖一莖也不多。秋夜月明浦淑冷，砧聲擣碎玉蟾娥。

長松和尚問僧：「釋迦彌勒猶是他奴，且道他是誰？」僧無對。松代云：「背後無尾巴。」僧云：「意旨如何？」松云：「眉毛下黑黍黍。」

白牛露地眠，頭角攢雲霞。看看自完全，卻云無尾巴。

八棒

觸令支玄，無病討病。伶俐衲僧，切忌按定。
接機從正，絕念離思，擬動脣吻，早已覆屍。
靠玄傷正，棒了罰錢。興化老子，撲在驢前。
印順宗旨，置驛傳命。一人歡喜，萬人卻病。
取驗虛實，作家勘辦。設若躊躇，艸鞋線綻。
盲枷瞎棒，翳眼空花。天然種類，栗棘丫叉。
苦責愚痴，婆心不歇。大施門開，有何壅塞？
埽除凡聖，月照寒蘆。動揚古路，左右逢渠。

十智仝真

十智仝真面目全，華山高卓白雲邊。汾陽老，口便便，畫蛇添足瞎驢前。喝一喝，顧視左右，抗聲云：苦自苦兮甜自甜。

九峰不肯首座

古廟香煙如白練，石霜此意恐非真。要知暗裏東風力，須看梅花支上春。

盤山和尚因見人於屠肆買肉云云。

刻舟尋劍幾經秋，秋月春花未徹頭。偶然步自屠門過，一飽於今何所求。

雲巖埽地

四海參尋學道人，須知有不區區者，笤帚豎起自分明，汝若不見正好打。

僧問天童悟老人：「鐵牛吞卻虛空時如何？」悟云：「你道老僧枉甚麼處？」僧無對。師代云：「道即不辭，只是老和尚莫打某甲。」

問亦奇，答亦奇，鐵石聞之也蹙眉。當時若是慈雲在，笑破師翁老面皮。

蘇州報恩賢師翁住遯浦，常垂語云：「報恩居在水鄉，四面無路，還有不假舟楫到得者裏麼？」二十年未有契機者。

拏卻賊，走卻賊。今日關南，明日塞北。打殺會捕，捉了窩家。青天白日樂桑麻。

賢師翁常以馬祖一喝，百丈三日耳聾，勘眾三十年，未有契機者。一日，舉問福海璧和尚，福海曰：「不是苦心人不知。」

入室須還父子機，溫衾扇枕事庭幃。家聲從此傳天下，自是名無翼可蜚。

鐵龍灺和尚開堂日，沒量張居士請書雲堂額，龍云：「擦佛處。」以衣袖左右捣云：「山川也是？艸木也是？」張作虎聲便出，龍云：「者俗流也有點气息。」

千斤黑鐵鑄成鐘，一擊孤音驚海宇。有耳明明也不聞，如何不道眾生苦。

鐵龍一日舉楞嚴事究竟堅固，因擊碎茶桮，勘眾云：「你道是堅固？是不堅固？若道堅固，山僧已擊碎矣；若道不堅固，古人為甚如此道？」

口如石密心如棘，可惜當年放過賊。漫道夭桃別是紅，還他煤墨一般黑。

大儀觀誰禪師嗣棲靈灺和尚。將示滅，召眾云：「吾年三十五，隨處打口鼓。若識吾去處，反覆沙界裏。」便擿下拂子。時僧再請垂示，儀瞋目揚眉，端坐而逝。

臨行鼓板鼕鼕打，目瞋眉揚一著奇，分付叢林學道者，石林精舍看垂慈。

君臣五位

偏歸正位絕淆訛，正向偏中理事和。屋裏清光通一線，天邊素景沒長河。祇知尊貴深宮住，那覺勤勞勛業多。看取終時折合了，何曾銀漢照娑婆。

趙州蘆菔頭

鎮州蘆菔頭，南泉面目見。如今天下人，那箇能解薦。能解薦，也是徐六檐板。

鼻祖

折葦楊子江，轉身回天篤。可憐大地人，猶唱渡江曲。

石蒲揆禪師因則堯居士問：「如何是那事？」揆曰：「昨日方丈裏有客麼？」堯拍露柱便去。揆曰：「是！是！」

昨夜東山客問月，今朝北郭主回風。兩人笑到秋初一，依舊牆頭枸杞紅。

嵩山野竹禪師語錄卷六(終)

嵩山野竹禪師語錄卷七

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

源流頌

南嶽褒讓和尚

相從南粵幾多秋，一日飄然度嶺頭。自是祝融峰上月，清光不盡映衡州。

馬祖道一和尚

磨磚作鏡喻便便，此意聞之五味全。更旁關山歌一曲，孤音止許馬師傳。

百丈褒海和尚

野鴨高飛飛過去，歸寮哭笑恨偏長。來朝卷卻堂前席，別是從前怨鼻梁。

黃檗希運和尚

當年一喝聾三日，此日聞之舌吐來。赫赫家聲天下振，亞池浪裏錦帆開。

臨濟義玄和尚

頭皮打破痛難堪，一到高安便絕談。大業從今非小小，兒孫也好著羞慚。

興化存獎和尚

未識原流真實處，衲衣脫下莫輕忽，爛椎下下喚蒼天，不是尋常蒿子拂。

寶應慧顒和尚

欲疑不疑是何由，點破分明萬事休，赤肉團邊須子細，莫教錯認在鉤頭。

風穴延沼和尚

借問我師的的意，倚天長劍絕疏親。中原自此人安堵，一物何曾礙眼睛。

首山省念和尚

經聲才絕問心安，拂袖歸來玉一團。更把蒲輪當戶坐，秋天孤月下闌干。

汾陽善昭和尚

龍袖拂開如白月，象王行處落紅英。等閒放下千斤擔，七十一家風味平。

石霜楚圓和尚

辱罵千翻汾水上，可憐一箇臭頑皮，及知道出常情也，回首青天不自疑。

楊岐方會和尚

泣盡南源猶自可，山前擱住恨仍長，轉身日出扶桑國，野艸閒花遍界香。

白雲守端和尚

非問茶陵遭跌事，伽陀別有好宮商。一籌不及猶閒事，只是難當笑面郎。

五祖法演和尚

雪凍白雲春方醒，杜鵑啼血灑煙霞。谿風吹殺錢塘柳，別是秋紅二月花。

圓悟克勤和尚

詩聲認得未為孤，何事翻開別一塗。須是巍科重得意，好看丹鳳起蒼梧。

虎丘紹隆和尚

瞌睡虎兒人不識，闔閭一吼使人驚。諸方縱有穿楊手，未免臨危也失聲。

應菴曇華和尚

半載深明沒意智，家常事事足芳香。梅陽遙有銅符寄，自是聲名無地臧。

密菴咸傑和尚

正法眼開已可馮，破沙盆子也相稱。叢林近日多英物，只是猶多異類僧。

破菴祖先和尚

工夫穩實乃如此，自是玲瓏無可比。隨處逍遙不計年，團團秋月浮空水。

無準師範和尚

見說猢猻何用捉，烏頭自此眼雙開。孤音別是清商調，千古人思奏落梅。

雪巖祖欽和尚

一死十年湔不得，偶然古柏觸雙睛。西風相送歸帆急，鏡水秦山好掩荊。

高峰原妙和尚

床頭枕子才推落，夢想兩關便絕音。鐵蛇翻出險岩句，瑟瑟高風[番*支]古今。

中峰明本和尚

拓贈掌中竹篦子，如風著水波紋起，忽然浪靜碧如秋，祖佛淵源深見底。

千巖元長和尚

望亭聞鼠夜翻器，木勺磁甌齊粉碎。止賸南泉三尺鍋，爛鬻藜羹勝百味。

萬峰時蔚和尚

豎拳叉手已無耑，何用偲偲珠走盤？光福山中明月在，他家安有許多般？

寶臧普持和尚

窟中獅子是何物，牙叉未施威已出。一聲哮吼震高岡，千妖百怪無臧處。

東明慧昆和尚

虛空安柄事如何？辟歷聲中走白波。心佛剛然如粉碎，回頭星月在天河。

海舟永慈和尚

鐙繩才斷醒雙眸，放出遼天一箇鶻。自是羽毛豐足時，鵬霄九萬隨衝突。

寶峰智瑄和尚

漫笑當年山鬼子，眉毛燒卻丈夫兒。三三兩兩都打殺，扶起瞿曇第一支。

天奇本瑞和尚

細看師僧殺淫機，猛敲石火顧猶遲。如今關塞無飛將，愁聽胡笳悲咽時。

無聞明聰和尚

者箇分明赤子意，何妨苦樂兩拋開？村歌別是陽春曲，漫向江頭聽落海。

月心德寶和尚

江頭采葉一莖走，引得波斯笑破口。近代叢林老作家，看來未必全知有。

幻有正傳和尚

鐙花爆落已曾知，拋出鞋來又起疑。翹首忽焉心眼碎，天然靈物化龍兒。

密雲圓悟和尚

蹋碎銅棺月景寒，又來理釣弄波瀾。釣得錦鱗出巨浪，吳江日已在闌干。

浮石通賢和尚

脫盡皮膚始見真，吳山越水臥松筠。如今一片當湖月，萬古清輝莫可倫。

磚鏡完璧和尚(一諱行瀚)

指月園中肝膽裂，報恩寺裏髑髏枯。等閒奪得莫邪劍，四海堂堂大丈夫。

牧牛頌

安南許鎮府就師求牧牛頌，師信筆書十首與之。其次十首，乃師在開聖時呈方丈者，并編於此。

撥艸尋牛

曳杖春山綠樹齊，閒雲深處鷓鴣啼，孤征莫怨王孫艸，細看平苔過虎谿。
細細尋來不計程，寒苔結處野煙平。翻身又度千峰外，依舊空山啼亂鶯。

驀然見跡

雲亂山深艸木齊，踟躕搔首此松谿，風梳石髮輕會散，忽見新蹄印雨泥。
趁鳥隨雲出嶺東，芒鞋十載度崆峒。幾回泣盡松會亂，彷彿頭蹄白霧中。

捕步見牛

春雨濛濛度虎谿，寒巖樹裏叫黃鸝，抬眸一望煙峰下，頭角玲瓏隔水西。
看水尋山春又秋，羞將短髮老林丘，夕陽回首三千日，遙見深眠百艸頭。

得牛貫鼻

蹋斷青山與白雲，閒花野艸自芳芬，此時得曳牛兒鼻，一笛楊花奏晚曛。
隴西春煖簇山煙，一拳鼻頭信手牽，如今正好前谿牧，漫聽青林響杜鵑。

牧童調護

牽來日日牧煙霞，穩步雲山與淺沙。洗刷剛然無烈性，一聲葉笛夕陽斜。

鞭策相隨只此中，流鶯聲裏百花紅。閒來且趁春風煖，一覺晴煙臥牧童。

騎牛歸家

谿中漫步出荒蓁，橫笛吹來別樣春。十載辛勤無地譜，蘆花彎裏好愁人。
半嶺松風吹白沙，關山一曲日初斜，騎來自是頭蹄別，不讓南泉水艸奢。

忘牛存人

秋煙漠漠月暉暉，一色寒空倚翠微。隔澗蒼蒼深樹裏，一聲鶴唳到柴扉。
無功用處意若何，梁月盈盈浸白波。夜裏不知何處客，歌聲隱隱出煙蘿。

人牛雙忘

輪中桂子景婆娑，一道清煇映碧蘿。萬象森羅何處去，霏霏玉露下銀河。
清谿靜夜落秋香，不見疏鐘出上方。報汝參尋雲水客，別縣明月照滄浪。

返本還源

夭桃深處子鴂啼，一片春風遍嶺西，好箇輞川惟自樂，尋花趁柳過前谿。
此日還家罷問津，烹茶好賞百花春。高人有問如何道，山自清兮水自真。

入廛垂手

相逢竹篦才拈起，只是衲僧眼見鬼。昨日江南書信來，鷓鴣別在深花裏。
敝垢衣披自入廛，酉家屠肆也堪眠。兒童瓦鼓知多少，布袋何曾少白錢。

佛祖贊

釋迦佛

稽首空劫至賢聖，此大劫中睹圓鏡。四十九年住釋尊，群經能被恒沙性。屈指飛光悟阿難，毗邪勘破維魔病。多子塔前委大龜，從此源源流東震。東震兒孫道眼明，如龍如象最英俊。六十九傳有長松，慈雲繼松為道胤。是故稽首諸聖師，願續祖鐙濟饑饉。

阿彌陀佛

稽首安養世尊，四十八願深遠。化及水鳥與樹林，九蓮八德為園苑。紫金光聚仝法界，滿目皇皇瑩如琬。自從曠劫接群生，恒沙船筏及車幰。我常接足禮慈尊，不憚罷勞直至晚。

彌勒

稽首阿逸多，常游戲華臧，終日自軒渠，布袋惟相向。走過酉肆淫房，又轉花街柳衖，忽然申手索錢，复與兒童歌唱。慈雲菴突突兀兀，兜率天來來往往。咄！任他做盡伎倆，難逃者箇竹杖。

觀音大士

三十二應，如水含月。复具千手，手各有執。無剎不身，無身不晰。上天下土，羅剎鬼國。威威慈慈，利人利物。我故稽首，禮吾師足。

紫竹觀音

道子筆下神巧，畫出吾師真貌。吾師無身之身，紫竹檀欒遍罩。畫者禮者供養者，何名菩薩之道？

送子觀音(獨存李婆子請)

世間大慈父，逢場常作戲。手送福德男，與人繼宗嗣。善哉李行婆，皆承此恩力。

繪像觀音(許三山請)

大士大士，見如水月。恍恍惚惚，皓皓雪雪。正法眼中無盡身，破砂盆裏著不得。如今寫在畫圖中，萬古流芳沛恩澤。

布袋和尚

一條布袋，百樣古怪，十字街頭看買賣。逢人乞我一文錢，拄杖橫肩常三昧。

面壁達磨(堅副寺請)

者老阿師，少室宴坐，莫謂難識，早已勘破。放他三十藤，何必將錯就錯？

又(李佛心請)

看則非真，望則不像。甚麼東西，寫在紙上？直饒塗出他鼻孔，也未必受汝供養。

錫杖

錫杖錫杖，梵音貞亮。天人之幖幟，佛祖之榜樣。熏成五分法身，初機必假良匠。呵呵！若問授者何人，本是野竹和尚。

夔州破山明和尚

者老子，生滔賊。三十年，咨毒舌。肉鍋酉甕，薤沒英傑。撞著福慧，禮你三拜，看你老面皮厚薄。

安漢鐵龍灺和尚

棲靈四眼，能埽藥病。指月四禪，新出祖令。傳到諸方，人天寶鏡。魔王腦碎，衲僧乞命。者箇川巴老子，卻要賣弄毒糞。致令天下叢林，鬧浩浩裏講論。

立禪和尚

立禪和尚，僧寶頂像。帶水拖泥，流通龍臧。不怕黑風漂鼓，落得慈航無恙。如今葉落歸根，跏趺金屏石上，好好出來相見，免得虛空痛棒。

雲翁吳檀越行樂圖(諱三汲)

阿翁純一，心自無作。小白起權，大赤松略。弟位親楙，胸常沖漠。掩貫群書，孔顏之樂。時或尋僧，談笑林薄。時或訪道，倚杖采藥。三教床座，怡然自若。火其百家，不用存橐。侃侃闇闇，灑灑落落。造到如斯，人難摸索。忽遇嵩山，別有一著。雲翁雲翁，此還是惡。要得頓盡，脫卻此縛。

潘契空居士小像

黃眉碧眼，視著殘篇。童子炷香，坐立宛然。呵呵，不是嵩山道者，幾乎喚作地上行仙。

天童悟老人

不說有為，不談實相，佛來祖來，先喫棒好。打殺不打殺，金粟寺裏；欲削跡，難削跡，太白頂上。噫！伊何人斯？是我曾大父底頂相。

報恩賢老人

者位尊慈，七坐道場。道尊六合，大業皇皇。雖未親炙，者點難臧。如問雄基誰可繼，依然崛起錦江旁。

長松璧老人

長松老師，維奇維絕。四住名藍，縱橫施設。眼裏無人，腦後拔楔。退隱藍峰，谿山自說。祖佛不知，鬼神莫測。日午鐵鼓震長空，夜半木人吐出月。

自贊

者粗漢，無羈絆，言語奇奇怪怪，作事嬾嬾散散。干戈隊裏驅祖風，選佛場中埽文翰，如今分付還武昌，待遇其人始好展。(宏書記請)

箇竹布袋，也自奇怪。不慈不威，無向無背。人或請益，大棒打退。有者憎，有者愛。丹青丹青，不用汝繪。免得他年累子孫，塊塊兜樓擿火內。(堅西堂請)

昔玄鑑禪師畫中峰本老人像歸滇，滇人始知有禪，今數百年矣。余雖不敢望中峰老人，然親履其地，而滇人又親炙余言，似終不能忘余也。故昇維那描余陋質索題，乃筆其辭曰：唯村阿師，語默難搆，非佛非心，無聲無臭。嵩松維那，可以相授，傳兮傳兮，綿乎宇宙。(昇維那請)

野竹老師，本生下里，六年長松，一朝得髓。為人至毒，气吞虎兕，惡罵諸人，白棒隨舉。抽機迅崨，走殺雲水，三艸畫余來請題，搦管書云祇者是。(溥後堂請)

是相非相，也寫紙上。此時挂在室中，看他有甚伎倆。說是川勤適骨之孫，何曾是者箇模樣。雖然，童子童子，快把香來者裏供養。(幟後堂請)

生平貫弄白拈手，令行西南獅王吼。無人接拍奈若何，且向深塘種白蒔。或問此翁是阿誰，慈雲菴主野竹叟。(道監院請)

川巴老，也俊峭，據嵩山，佛魔埽。為人切，棒破腦，休懊悔，誰艸艸？無景林中，白日杲杲，好箇慈悲老子，只是惡名不少。(幬監院請)

十回拈香，八據大剎。人天魂消，佛祖抹殺。一道坦然，萬有包括。棒頭既銳，逢著便箚。見者聞者，盡道惡辣。佛美佛美，聽余此說。異日展時，莫只十八。(殷佛美請)

申申夭夭箇模樣，傳是嵩山老和尚，不知無身复無身，才是無身真實相。我也三喚太無耑，汝也三應何句當？侍者侍者莫只看，無風匝匝之波浪。(玨侍者請)

獨者川老子，無風白浪起，說法雖十年，未常啟此齒。棒喝看臨時，不著者些子，頂相擴乾坤，祇是自家底。歸去展開看，與汝不相似。(尼宗一請)

偉哉老蜀，直不臧曲。其气剛，其志篤，其心慈，其口毒。遇貴不尊，逢賤不辱。德雖未贍，行亦頗足。如此為人，何異惡俗。(尼宗鏡請)

書問

上長松老人

不肖慧，幼未經學，壯值干戈，加之賦性昏瞢，材質樗櫟，吾師明鑒久矣。拜辭函丈，奔走無聊，況鬼方焚種，獦狫煙村，而不毛之土，安能樹吾師宗旨，少報萬一邪？雖梵剎屢主，燒香數回，終為小就，敢云光前裕後，以當不傳，甚盛事哉！未審吾師近日起居若何？慧歷年不得隨侍，惟罪是恐，欲差僧省覲，揣無可任者，恃在

高明，或不加責矣。夜郎僧謀歸鄉之舉，聊附空函問安，容當專人恭候，伏冀洪慈，俯垂法庇，再祈吾師全錄一本，以便流通。慧臨啟無任瞻望之至。

复君用藺居士

山僧十年來枕煙霞、臥泉石，固守本分，不敢漏逗片語於明眼人前者，盍祖庭秋晚、佛道凌徨，加之野狐遍地、衷偽不分，此時若動一毫，必招若輩笑罵。昨者與居士一晤，不過口角中談論，孰知居士錯會，返引種種過譽并寄偈言？山僧籌之，又不敢緘默，恐墮疏謾之罪與孤居士問道之高意，是以就偈中喫緊處著一語以复，切勿笑為王蠻子也。如偈中云昆侖山上打坐者，祇如盡大地是一座昆侖山，居士作麼生坐？若道得一語，山僧當痛與三十棒。何也？寶所五百由旬，聊助居士發軔。
又
省手札，字字奇絕，且复擿地有聲，及再過一次，方知一味隔靴抓癢，未有實落。若是佛祖得力處，居士未開口前，正好驀口痛打；若知打意，自然得力。古人有言：「向父母未生前、未棒未喝前、威音那邊領略得，猶較些子；若直扶籬旁壁，絕無交涉。」倘居士痛念生死，只將父母未生前、未棒未喝前、威音那邊行住坐臥一一參究，參究到情忘意絕，忽地冷灰發燄，啐地折、嚗地斷，始不枉居士於戎馬留心空宗一番。若是半疑半信，有甚了期？不是山僧彊生支節，因翰示不得不直道一語。

與督府孫居士

奇逢昆海，聚首慈雲，未獲深談，便爾別去，令人不勝縣切。聞細柳營近在羅浮，此仙都也。想肅清萬里，恩威八荒，使魔王潛伏時，仍留心佛道。其諸仝輩，日論無生，而問道錄，又不知集幾許篇也。如不慧之山僧，每於塞雁南還，祝居士護衛三寶，當與髯將軍仝垂不朽耳。

再上長松老人

右慧啟：今月某日，承襲法印，再授金襴，以崇祖嗣者。竊以臨筵策眾，揚佛捺祖之無痕；就機接人，敲金戛玉之有器。大風歌威傳四海，小釋迦法震五天。正吾師之德功，乃我輩之眼目。慧抱志巖石，安靜林丘。與六七蠢蠢之徒，尋方拈韻；仝二三[言*(遝-(這-

言))][言*(遝-(這-言))]之士，較雨量晴。雖聖人直不為，況虛名所可動。奈何習气未盡，繇是方便隨興。故燒香於名藍，因領眾於南徼，是欲報先宗之慈蔭，非敢揚弱質之微才。何當金襴之遠頒，再勞玉書之大賜。慧捐此病軀，圖報有日。但恐罪辱法化，難申赦原。恃在海涵胸襟，總叨法庇者矣。

复玄初劉居士

手札三賜，不及一言奉复者，盍山僧短於柬札，非敢疏謾為罪，不知別後道念若何？昨來一帖，方知慕愛未已，但苦於公事耳。然古人有於公事中大得意者，《傳鐙》諸書往往見之，雖公事亦何妨？學道所謂公事之餘喜坐禪，此濟川居士徹證處，非公事時得意，必不出此言也。居士以為何如？
又
福星當位，德音遠聞。彈丸地上，握靈蛇者幾人，而護持佛法者亦又幾人。居士居是任，不獨為祥為瑞，亦使見聞快意，敬信仰慕。但恨法社羈身，不得與居士密邇，說仝條生仝條死於三生石上耳。何時買舟過昆明，以晤言消此渴塵乎。臨楮悵悵，不勝神溯。

复本源和尚(諱照明)

一日隔三秋，況五六年不一見邪？月日梅孰，兄來得誦大教，不覺絕倒。且又知長松門下出一瞌睡虎，安得不咥人，直起吾師之道？至若妖鼠封狐，自當退步。弟學淺德薄，雖勉力支掌，終鼠臂蟲肝之伎，何敢當毒鼓聲而雷震乎？邇興土木，無物奉寄，聊贈茶鐺一具。倘鬻月烹流得句時，不可不寄一絕來。

寄大雲和尚

平城拜別，幾向鑊湯盧炭中出入，總賴佛祖之靈，今得穌矣！抑或可少報聖恩之德？不知法兄近日挂瓢何地？倘念眾生，不妨拈出長松宗旨，幸甚！幸甚！鴻便聊控鄙懷，并呈二頌：兄昔聖恩續道原，非仝點額泣龍門，昆明池上一方月，曾照夜郎第幾村？大雲名已播川雲，法乳源源流到君，珍重龍門舊日德，莫將獅象落狐群。

寄海月和尚(諱祖妣)

龍門分袂，未卜 動止何地？不磷禪人歸，始知剎竿已樹圓覺，唱和長松宗旨，而惡池一派屬兄掌握矣。弟不勝慶幸，盍佛道垂秋、師法不古，得兄塵頭一揮，是輩自合潛滅，令法久住，不惟利物，亦庶學者不入邪見稠林，則老人有望矣。但老人江南之行，弟阻萬里，老兄倘獲佳音，可走一帖為感。

复羡瞿煇監院

月日接賢徒手啟，太守公將獅山道場煥然一新，功冠南雲、美榮西竺，又欲老僧於此作主法。老僧薄德淺識，大不堪任。近又因王妃仙遊有像教之羈，擬柳眼拖金、枯梅含玉，或可攜笻過武陽，桃李谿上一話無生。至於主法兩字，斷不敢許，可多致意太守公，餘不多屬。

复通邑眾護法

來札懇留秋水住持涌金道場，甚為希有。此公等一種高意，不惟法門增煇，亦佛祖慧命有寄，而震旦之高風、竺乾之法運在此一舉矣。但慮秋水學識荒涼，取笑識者。公等既重方外友，祈輔訓之可也。若欲講明堂奧，則秋水棒頭喝下亦可領取，不須更問山野也。然佛法凋零之秋，護法者與主法者須鐵石心、勇猛志，庶魔軍滅跡、狐狗潛蹤。不然，則靡不有初、鮮克有終之誚定在目前矣。

再复通邑眾居士

月日接眾君書云：謹諏七月廿四，請秋水上堂說法，欣動許多紳士，各願護法。八月六日，公請秋水實住涌金。山野始而喜，終而笑，何也？今海內稱知識者如麻粟，而入吾祖室者盍寡矣？山野戊戌入滇，法幢再樹，梵剎九遷，雖有一二彷彿者，亦不過勉彊印之，敢云宗揚六詔，名動五湖，老師大衲無不睹聞，而亦欲愛而續之，付此人也邪？況今一夥禿漢，未睹堂奧，未盡玄微，便將金帛市此祖位，到處蠱惑世俗，謂之傳佛心印。烏乎！是何幺 [(序-予+林)/ 肉]亂法之甚也？眾君既留秋水住此道場，不可艸艸，須要萬仞壁立，令盡大地眾生見者聞者，一齊斷卻命根，與佛祖為師，始不負眾君衛法之心也。艸覆不盡。

复秋水長老

祖佛家法，在弘法者之楷模耳。欲楷模此法，必效先覺軌範，方不致魔彊佛弱而敗乃事。且今鼠竊狗偷，不可曲指。此輩既不具頂[寧*頁]眼而入衰見稠林，我輩不以萬世師法、千古龜鑑臨之，則與此輩等也。月日，接通邑紳士書，並省賢徒書，知賢徒已作涌金主人，共多士廝結眉毛，作驢年友，不德有望矣。冬閒張盧韝，與湖海英俊從事，可報佛祖深恩也。所呈上堂，但離師太早之過，汝宜知之。餘意盡在來人口頭，茲不多贅。

复良之徐居士

適才午睡，偶聞門外剝啄聲，方下榻，有某居士至，言居士尚念山僧不置口。复出手札，即啟讀之，不惟天涯咫尺，而清風沁人，快不能喻。然非良之不至此也，何時一接笑談，消我渴塵萬斛？

上福海老人

七年秋七月四日，上子自淮南馳吾師書至，拜讀一過，訓誨諄諄，幾如親炙。又知近日福祉無恙，六七年哀慕之思，捧此可消半矣。又蒙遠賜佛果諸錄，慧雖不敏，不敢與諸祖等，然竊向往之，即他日與諸祖把臂性海，自此始也。吾師之德，銘刻五內，何可忘哉！昆明風景，翻然改觀，慧短拙之一人，而當二三百嗷嗷蛄[虫*施]，在江南雖是泛常，在滇中則竭盡心力也。關山修阻，不能趨侍，倘吾師原之，慧受賜侈矣。

复竹眉長老(附來啟)

月日省啟，知將歸江夏，令先君八尺可封矣。不知此後可再會滇中不？夫佛祖慧命，非敢如此，第以女素來投機，非仝淺士，驗之吾心久矣，故遣人再印之以衣原。倘他日為吾拈出，不但吾門幸甚，開聖幸甚，而先宗亦幸甚也。山僧從此可高眠泉石，身上亦無他事矣。餘不多屬。

伏聞中諦含遠，五眼莫得從窺；佛教崇虛，三賢未能取證。大龜尚嗟窮子，善吉猶申自訶。苟非神悟於機先，終是喪膽於喝下。宏自破家散宅，躡屩四方，二十餘載，回首家山，雨淚莫禁。常思出世因緣，既不逢人，罔聞入路。歲戊戌，扣法慈雲，蒙指嵕徑，再造金齒，深荷垂慈。宏受誨以來，捐埃難報，今又玉音遠錫，愛宏何深。宏自慚樗櫟之材，難當大任之責，欲躬親繳上方丈，奈眾兄說之再三，加之間關萬里，難以孤征，只得遙空頓

首，暫存方底，俟先君堂成，再覲慈顏，方盡裹抱。癸卯冬月望日，宏再拜上。

嵩山野竹禪師語錄卷七(終)

嵩山野竹禪師語錄卷八

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

法語

示竹眉書記

三峰宏公，楚人也，遇余於梁城。時余說法慈雲，因來席下請益先佛先祖下手工夫作何方便，山僧揣其因緣不可輕說，須時至可耳。歲己亥，余遷金齒，渠亦隨侍，其志尤切於當日。余始憫渠之誠，又憫信根有如此之確，安忍負之使不得門而入邪？故以金剛劍拈出，令渠當下無疑，則無始以來一切見網愛繩、塵勞羈鎖一齊頓脫，回觀從前許多冤屈，元來只是箇本來面目、本地風光，但欠悟耳。亦知山僧一段婆心與因緣和合之時節，實非偶然。昔人有言：「吾若向子道，他日必罵我。」若山僧當日即說，今日豈不罵我邪？

示雲和知客

雲山水月，四皆無情，而質皆虛虛實實，獨雲稱和者，何也？盍雲興雨施，萬物均蒙其澤，又能使槁者穌，困者起，故曰和。或集積千峰，不相妨礙，故曰和。今天下叢林之眾，而江湖來集聚者亦眾，因名其堂曰雲堂。盍亦取雲集之多，而無障礙義耳。雲集而不礙，和說而不憎，其稱雲和，不亦宜乎？今雲和有是德、有是和，其名雲和，又不亦宜乎？

示竹元侍者

高尚之士，能歇狂神，泯惡作，斷愛繩，省貪力，割見網，墮貢高，求善友，訪知識，遊城邑，步聚落，涉雲山，履泉石，冒寒暑，經歲月，或肩囊負缽，或喫苦耽饑，或含羞抱媿，或勞筋累骨，總之生死未破，佛法因緣未會，受斯種種苦耳。所以入一叢林，出一保社，參禮聖化，瞻仰高流，或問一機，或聞半偈，能向頂門突出金剛正眼，爍破魔精肝膽，使我臨濟門庭、楊岐正脈，綿綿續續，續續綿綿，豈不稱丈夫也哉？雖然，還須還我金剛寶劍

來。擿下筆云：關。又云：咄哉！丈夫生於大塊，學於佛乘，斯不足畏也。然而有時垂一言為叢林重者，獨何與？盍志大气剛，與天地仝化、聖人仝行，雖在寂寞之濱，巨壑之內，威武不能屈，美譽不能動，豈逃虛名於世外者仝日而語邪？雖如此，也須向冰壺石洞中折挫來始得。不然，徒自掠虛名，於事何益？

示不磷副寺

學道人非有鐵石心肝、金剛道種，必不能也。若只是箇方方良良、穢物腐艸，不名根器，如是之人，不惟道之難見，亦自陷生平行腳矣。不磷道人仝慈雲數載，雖未有大見諦，然而受苦耽辛，勤勤懇懇，晝夜精進以求此道，則他日瞌睡虎伎倆似有餘地，如斯人豈非鐵石心、金剛種邪？故筆此言以嘉之，而異日桶底子落時，竹布衲自是點頭也。不磷其勉諸！又云：不磷從慈雲參見以來，道業不輟，如渴欲飲、饑欲餐，又常來棒頭喝底討取巴鼻。山僧以副寺闕人，將以煩汝，伊忻然身任其事。又常請益洞山生彊因緣，山僧云：待汝咬著惡辣滋味，吞不得、吐不得。於吞吐不得處呈似山僧，山僧然後以一粒生鐵丸將惡辣滋味下得乾乾淨淨，無絲毫气息在腸胃 中作噎，始與汝說破。汝到者裏，亦始知生薑漢元是慈雲副寺，是時自合不問山僧，汝自放心也。呵呵！

示悟空老僧

悟空老僧者，今年六十有二，髮白面皺，終不以此自傷，盍散誕逍遙，如出廄良驥，見鞭景而追風趁日者也。且不觸三聖瞎驢前，亦不落臨濟三句後，惟於水邊林下，朝朝莫莫，一缽冰霜，而王舍城三十年足不至也。所謂絕學無為，盡諸有結，大阿羅漢人耳。慧公可不謂善知人者，而悟空得慧公一言，如附驥尾。

示思修禪人

眼色耳聲，非吾自用之地邪？犬吠驢鳴，聞塵清淨；谿光山色，見性寂然。然總不能逃吾般若之光、性地之理。奈何鼓鐘羅前，不知耳識之真；青黃交映，不知眼入之玅？所以不得到入流忘所、動靜二相不生之地耳。然又不知聞、思、修即仝龜毛兔角，有何真實？有何不真實？故曰：思而知，慮而解，鬼家活計。者裏如欲求的，向威音那邊更那邊一看，看破元來箇事本來寂靜、本來非寂靜，連

寂靜、不寂靜底一總搭卻，方有入路。經云：「十方俱擊鼓，十處一齊聞。」還會麼？低聲！低聲！

示不盈禪人

舉世閒為人，只要為到出家地步，自然尊貴，自然美譽，方是出格人，亦可楷模後學。所以黃面老人棄金輪王位，作出家事業四十九年，三百餘會說盡心病，到如今功德尤著，此非尊貴美譽而何？然後以斯道委付飲光，傳繼未來。故有禪教人參，有教要人看，皆出家事業也。不盈見山僧多番，將謂山僧有多少奇特，殊不知只是箇竹布袋耳。倘的的要論此事，此事富塞虛空，盈滿大地。雖然，猶有一著未肯點首在。

示含月禪人

有水皆含月，無山不帶雲。又曰：石蘊玉以山暉，水含珠而川媚。由此觀之，非人人常光、物物象先之喻邪？此是過量人之事，中下人未必能曉此義也。不然，在主法者善巧指示，曲全其德，德既全，安有不齊成正覺乎？含月來五福共住久矣，寒則仝穿衣，饑來仝喫飯，但是者事未仝耳。山僧不得不以沒滋味之言誘之，使之得入，不獨含月，即諸人亦欲誘之，使仝得斯道，始不枉五福領眾之勤勞也。嗟嗟！蘊玉含珠，若能剖出，試呈似山僧看。

示格目典座

描不成，畫不就，才著相，成過咎。煎油餈，敲茶曰，鍋中點水，灶下抽柴，此理省得，道眼自開。雪峰覆盆，溈山淨缾，一一透過，可謂普賢行門。

示空菴靜主

一條拄杖撥艸瞻風，祇要覓箇真子以繼吾道，自黔至滇未曾撥著一箇半箇，盍人才之難也如此？今又來蒙化太極山，偶空菴道人與余相見，被拄杖子打得橫身破裂，渠猶以理路未勦，故有許多說話，余只管痛錐痛箚，要將從前見解徹底掀翻，知余一種苦心相為也。欲余作字，余故書此以與之，俟異日到大全竟界再來相見時，自不負渠一段苦志。

示禦木副寺

江西老宿，即心即佛。一期方便，如蟲禦木。鐵鑄虛空，世人不識。汝若能知，立地成佛。打破煩惱城，推倒人我窟。若不如斯行，依舊是鹿鹿。

示化城禪人

古人威化城指歸寶所，意在欲不動寸步而遊諸國土，不舉一念而含育十方，無勞彈指，樓閣自開，不待尋覓別峰，自然相見。所謂無相，實相之體；無門，解脫之門。又曰：般若無門，四面可入。既曰無門，向甚處入？不妨疑著。化城禪者相見於蒙化，求一號與開示。山僧以所遇之地號之，亦由叔孫得地名其子之義，然不是欲伊登化城，要伊識破化城耳。經云：「寶所在近。」若悟得寶所，化城則賸物也。且道見寶所後，如何方悟神珠不從外得？

示羨瞿禪人

行腳人擔囊負缽，竹杖芒鞋，撥艸瞻風，不憚寒暑者，貴圖委悉大道耳，非是游煙水、尋名山、取嘯傲、快胸臆之事也。縱遇風濤洶涌，漂墮羅剎鬼國，亦須不畏生死，拌舍身命，只要聖解凡情一齊倒斷，仝佛了義，成無上道，如此才不枉行腳苦辛也。瞿云：「某此處推不開、約不住，日用中舉不顧，何如？」「噫嘻！還須向五福棒頭喝下，識些痛癢好。」瞿禮謝而退。

示三艸禪人

周行七步，目顧四方，此釋迦老子一種婆心，爭奈雲門大師一棒打殺與狗子喫？者箇說話喚作報恩，後代兒孫不翻為過譽，即翻為毒藥，總非二老人為人意也。三艸禪人自龍潭來五福門下，將究雲門打殺世尊之意。一日，山僧上堂，伊出問三玄的旨，山僧不惜眉毛，向道：「重陽九日菊花新。」如會此意，則二老人被汝一口吞卻。

示不露禪人

學佛比丘，鎮日青松社裏、白業龕中無出身路，終是鹿鹿漢子。縱曉得三臧十二部、五經百氏，何益於道眼？者裏須是別有轉身滔路

始得。古人云：「喫為山飯，屙為山屎，直不學為山禪。」此便是別有轉身底樣子。倘能如此，稱出格高人，亦不是過。若實未親到，不可與麼便休。露禪者來，喫五福飯，屙五福屎。五福要問：「你還學五福禪麼？」要悟猶可易，出身也大難。

示不用禪人

世所貴者，連城璧、隋侯珠；所不貴者，道旁礫、階除艸；所忽者，夫婦與知、夫婦與能；所尤忽者，生死大患耳。夫所貴者，有時墮塵土、委泥沙；所不貴者，有時陞高堂、覆亭榭。而與知、與能、與生死，只是不志求。若志求，雖聖人不知不能、我知我能，況生死不明不會邪？到此地步，曰璧、曰珠、曰礫、曰艸、曰知、曰能、曰大患、曰貴、曰不貴，皆一串穿卻。雖然，也須透過始得。

示化一禪人

衲僧家立箇掌天拄地志向、吐霧吞雲伎倆，學佛學祖自然不難矣。倘一向往東走西、登山涉水，此人喚作迷頭自狂，且無轉物手段，不惟如水沫泡燄，亦且虛喪光會，有何益哉？不如看箇狗子無佛性話，久之自然聖解也通、生死也辦、佛祖因緣也透、自己大事也明，雖有許多苦辛，卻得生平慶快，然後更以無量為一、一為無量，小中見大、大中見小，做得十分、悟得十分，方才不負行腳。

示慧一禪人

六月一日，山雨東霽，余登樓望遠，見華峰翠滴，昆水波流，鳧鷖相狎而鳴，漁人競舟而度，爽然自快矣。偶侍僧跫然而來曰：「慧一大德乞吾師法語，為學道先聲。」余曰：「是法住法位，世閒相常住，知之不？若知，則萬事畢；若不知，你向瀟湘我向秦。」侍僧不喻，只拂紙求書，因錄與侍僧問答之語以示之。

示佛照王居士

無上玅道，在汝昭昭心目之閒，云何不會，卻索人涕唾邪？三世諸佛、歷代祖師、天下知識，皆不能有道與人，惟要自悟自度。雖先聖建立化門，指機示竟，不過使見者、聞者悟此心地法門，仝證大覺，成無上道耳。如能自悟自度，則當人分上脫體無依，名大解

脫，所謂心、佛、眾生三無差別。騰蛟居士白禮於余，求法語開示，並欲求一字。余曰：搪葛藤則不能，只好以佛照二字字之。如知佛照之義，則玅道於斯悟矣。噫！只恐不是玉，是玉也大奇。

示崇信趙居士

道在邇而求諸遠，日從東嶺出；事在易而求諸難，月向咸池沒。嗟嗟！孰能於萬象中獨露身邪？東坡與東林總公論道，乃有偈，其末曰「夜來八萬四千偈，他日如何舉似人？」若東坡者，可謂得獨露身之理也。崇信居士要山僧指示，山僧無可指示；如有指示，又是馬頭截角，何有於道哉？雖然，李駙馬有云：「擔折知柴重。」如明此，乃可學道，乃得獨露身也。即道邇事易，正好噴飯。

示張春宇

今天下以病病人者多，而膏肓之病尤多，雖杏林春放，橘井香生，終不能藥而瘳之。嗟嗟！顧安得有盧、扁起，令盡大地病者，一箇箇倒腸傾肚，一箇箇起死回生，然後藥病齊埽，成箇佛祖乾淨世界。余目觀三十年，未有勃然而興者，安得不扼擊為天下人哭邪？

示建極李居士

余賦性疏野，且未經學，安知工詩作字，以應文人墨士邪？不過一條棒到處打風打雨，以繼先宗而已。偶寓楚雄福城院，建極居士以一箑索余偈。余不得已，乃書曰：但盡凡情，別無聖解。

示崇善傅居士

道無迷悟，迷悟屬機耳。余常語人曰：悟乃迷即失，迷乃悟即隱，迷悟雖分，然終歸幻相。古人有曰：有權有實，有照有用。此說非上根利智，不能機前領旨，言外知歸。如必曰權曰實、曰照曰用，則為四端之所籠絡，安得與大道相應耶？崇善居士見山僧論迷悟、權實、照用之理，乃索一言以為指示。山僧向道：上來所論即指示，何須更要蛇足？不見道：諸佛法印，匪從人得。汝知之不？倘不知，更為汝書出。

示不瞿禪人

父母未生，四稜著地；父母生後，一鶻戾天。生與未生，陝府鐵牛。如能一言透，則千萬言可透；如不透，雖千萬言，何益於道哉？不瞿，江南人。自江南河北，名山大川，無一不足履其概；老師大衲，無一不禮進其誠。祇是雲月雖仝，谿山是異。故又從黔邁滇，訪山僧於雲陽，請益斯道。既得其說，覺從前蹋遍許多山水，總閒事也。今年重到五福，朝參暮請，勤懇不已。總之，要明生與未生，直到絕學罷參，與吾祖佛作冤作讎於驢年耳。且乞法語，於是乎書以與之。

示惟勤禪人

為佛子！當報佛恩。祇如佛恩如何報？須是於無作用處顯作用、無交涉處作交涉、無安排處作安排、無機用處張機用，不顧危亡得失，一切淨盡拋卻，只有一條窮性命拖條笻竹杖，打風打雨，隨緣放曠，任性逍遙。能如是，報恩有餘矣。

示二木禪人

瞌睡遇枕子，冤家離對頭，者箇喚作好意思、好消息，然殊不知翻成利害。既成利害，畢竟過在甚處？過在取舍，過在喜怒，過在見聞，過在垢淨，過在迷悟，過在無事甲裏、昏散魔中，被者些盖覆，所以不能脫灑、不能自由。二木禪人二六時中不可放過，切須著力。

示不閔禪人

學道人樹精進幢，被忍辱鎧，出言若金石，行坐如磐石，外不受八風鼓蕩，內不受三業牽纏，始可於佛法中、本分上少有相應。如只管竟日倚牆靠壁，不但打失眉毛，亦恐花費眼前日子。於戲！生死大事如救頭然，所以保福擇菜，被玄沙一語堅其操學，方能盖天盖地，然後如吹萬，於萬竅不仝處自然哮吼也。尒其勉之！

示不顯禪人

學佛逃禪，繫驢橛耳。殊不知佛即心性，禪即日用，動心即佛，應物即禪。然以佛之一字為是，不曰漱口三日；以禪之一字為是，不曰禪乃藥石耳。者裏須將己眼洞明，然後始知禪即佛體，佛即禪用，體用雙章，理事不二，和箇不二底一齊拋卻，方名心佛眾生三

無差別之本覺也。雖羊鹿牛之不一，而禪佛心之本仝。仁者能直下委悉得麼？合取狗口好。

示通廣朱居士

識破化城之喻，則得寶所受用。得寶所受用，自不作伶俜窮子，甘受辛苦也。到如此地步，自然腳跟未動，足遍十方；一念未萌，圓成萬法。故曰：觸事而真，體之則神。然而此說，貴在當人領會。人不領會，吾末如之何也矣。所謂萬法本閒，而人自鬧，實自咎耳。余常以此語化城居士，居士不喻。余又只得將箇父母未生前面目，教伊貼在額頭上，使一切處看是甚麼東西。倘忽地裏洗面時，摸著鼻孔，方識吾不汝欺。亦知寶所地步，原來在者裏。

示古維董居士

古維初見山僧，求入道之要，因示以本來面目。一日再見，請益前所示者，山僧喝之，維忙無所措，再求開示，山僧云：「汝正禮拜時，是箇甚麼道理？」維不喻。又一日相見，山僧卻問：「從前事作麼生？」曰：「無下手處。」山僧云：「無下手處，正好下手。」維复作禮，山僧云：「好箇來頭，只是不知落處。」又來室中出紙一幅，求山僧書，因錄所見機語與之。

示文遠侍者

欲脫生死，須是上上智之人，其志堅，其言信，然後不問寒暑饑渴、苦樂逆順，只於灑埽應對、擔勞執役、滌缾洗缽、禮佛看經、焚香課誦，一一體究明白，自然與實相不相違背，而日用之理不待惺惺而自惺惺，不待寂寂而自寂寂矣。如涉岐路，非道人本分。倘不然，但向彼不來、此不往，於不來不往處急著眼覷。

示自休禪人

昔人有言：「至道無難，惟嫌柬擇；但莫憎愛，洞然明白。」斯言雖一期方便，終為叢席徽猷，看將來好箇入路。所以玄沙不出嶺、保福不渡河，便到解脫田地、便到不疑竟界，此正是不柬擇、不憎愛樣子。故曰：參學若無如是眼，艸鞋終被石頭謾。自休禪人既不與麼柬擇、亦不與麼憎愛，還得解脫到不疑之地不？看腳下。

示自愚禪人

本色住山，絕無他伎，由大事未明，故有此舉。所以住山有二：一、大事未辦，道眼未明，必欲打徹大事，悟明己眼，故須住山；二、從上佛祖玄言玅句未透未徹，必欲透徹，故須住山。非為棄世情、謝人事，入山取靜也。昔南泉住山刈茅次，一僧問：「南泉路向甚處去？」泉豎起鎌子云：「者箇三十錢買得。」僧云：「不問者箇，南泉路向甚處去？」泉云：「我用得正快。」如知此意，正是行到水窮處，坐看雲起時，而住山始有益。

示即徹禪人

大道在鬧浩中，不在寂靜裏；在寂靜中，不在鬧浩裏。此猶是分身兩處，何曾會仝？須理會寂靜非寂靜、鬧浩非鬧浩，以鬧浩為寂靜，以寂靜為鬧浩。寂兮鬧，晃晃燿燿；鬧兮寂，明明歷歷。打破虛空，當下心息。理會得如此，可謂會仝。要到徹頭徹尾，出羅籠，脫窠臼，見大人相，亦不難也。不然，終是隨群喫飯，何有於道哉？

示惟一禪人

三界惟心，萬法惟識，惟識惟心，眼聲耳色。咄！此是老清涼沒處臧頭，卻來山僧筆尖上討巴鼻。住！住！住！聽分付：花與麼黃，竹與麼綠，鼻孔下頭大，眉毛眼上曲。衲僧點著便行，何須白日走魅叫苦叫屈？侍僧云：「和尚借取眉毛。」山僧高聲喝曰：「你道山僧過在甚處？」侍僧無對。山僧复云：「本自無瘡，勿剜窟可也。」

示恒之李居士

余常觀古人有曰：鼓無絃琴，豈無知音於山間林下哉？然而者事貴在領會，領會底自是頭頭盡玅，即破沙盆、乾屎橛、麻三斤、庭前柏樹子、無位真人，未有不了了者。到此時節，則禪不必參、道不必學，村歌社舞、閒坐困眠，皆合吾道，且不待合而自合矣。故曰：「行亦禪，坐亦禪，語默動靜體安然」者也。居士還曾親證也未？其或未然，蟭螟眼裏嘉州象，蚱蜢眉梢陜府牛，且理會著。

示佛海陳居士

海居士來自騰越，請問直指之義。余曰：「直指之義，乃學道人之最緊要者，然亦貴在箇放得下。如放得下，自然有條入路。」曰：「放下後如何？」曰：「驀直去。」曰：「祇如道驀直去，莫是不管生不知生，死不知死，只管驀直去麼？」曰：「否。教驀直去者，是要根塵識法外，及子史百家，陳爛葛藤，一齊放下。然後向百尺竿頭，抖擻精神，把箇沒滋味底話，行也如是，住也如是，乃至坐臥，一動一靜，只如此看去。倘看得過來，則父母未生前，父母已生後，都透了，豈非驀直去邪？」士唯唯，踧謝而去。

示怕量禪人

昔人有言：四大本空，五蘊非有，滴滴為人，不可翻為乾爆爆、冷湫湫去。若如此，則安能動後學之淵心、激佛海之波瀾，以注澤枯槁眾生邪？所以祖師西來，特唱幽宗，直指人心，見性成佛者，良有以焉。量公相從已來，日則行諸難行，夜則脅不至席，以求心地法門，勤道有志，禮敬有節，所以運水般柴，神通妙用，誠道玄之偶偕也。雖然，神通妙用在甚麼處？請道看。

示德安禪人

出家人大事未了，雖將相之榮不取也。比見一夥禿居士，向村衖聚落取媚無識，謂之打口鼓，言我是某宗，彼是某派，妄形語言，魔魅人家男女，此等喚作無佛處稱尊。及徵其所為，則或兀坐，或狂歌，如此欺誑，如此惑人。烏乎！是何業種之蟻聚，妖魅之蜂屯，難殄難去邪？枯禪默照之徒，鬼窟長年打坐，已見叱於當日，豈知猶不如枯禪默照之日邪？德安求法語開示，因書此輩之狂解以告之。

示自惺禪人

至道無難，貴圖委悉。委悉云何？先須立志。志不可轉，有如磐石，搖亦不傾，排亦不退，自然可尊，自然可貴。了達大道，何難何易？即語默而非語默，即理事而非理事，即傳持而非傳持，即紹繼而非紹繼，即惺惺而非惺惺，即寂寂而非寂寂，金烏夜半正當空，便是直下成佛地。

示映楚熊居士

昔道玄問石頭和尚：「不與萬法為侶者是甚麼人？」石頭以手掩其口，道玄有省。後見馬大師，理前問，大師云：「待汝一口吸盡西江水，即向汝道。」道玄即頓悟玄旨。噫嘻！此公若無石頭開發，與夫馬祖格外鉗錘，不過一穿衣喫飯人而已，何有名聞於今日哉？映楚居士欲學玄公，須向一口吸盡西江水處摸索，如摸索得著，可謂今日之玄公也。

示佛印優婆私

臺山婆云：「驀直去。」伊只一箇女流耳，便有傾湫倒嶽之伎倆，且道伊得箇甚麼？此語不可放過。若知此語，則從上千七百則被汝一串穿卻；不然，縱朝打三千，莫打八百，尚何益哉？噫！臺山一句子，千古更光煇。

示篤信優婆私

尋牛須訪跡，學道貴無心，指物與心會，物物皆本真。者幾語只恐信不及，若信得及，則靈昭百艸頭邊祖師意旨便了然也。篤信來山飯僧，無可開示，祇將靈昭句子示之，汝當默默參究，看是甚麼道理？如看到山盡水窮，放得身命時，則靈昭之伎倆盡被汝勘破了也。汝能行不？

示即性禪人

學道須是鐵漢，是非好醜不管，只要光光相照，鐙鐙續燄。故曰：「大丈夫，秉慧劍，般若鋒兮金剛燄，不但能摧外道心，早曾落卻天魔膽。」即性禪者欲秉是劍，奈何其力未充，每索法言於老竹，老竹向道：「欲識佛性義，當觀時節因緣，時節若至，其理自章。」汝還知麼？

示如剛陳居士

余自戊戌六月離普定，挂笠滇南之彌勒閣。時城西慈雲菴成，督府孫居士延為住持。一載，因風塵不偶，又逐永昌之金華山。一載，到雲陽。又一載，始歸慈雲。嗟乎！四年之間，奔走不暇，安能有法指示於人也邪？如剛居士從騰越來，作禮於余，余曰：「何來？」曰：「和尚忘卻弟子邪？」余不覺泫然下涕，曰：「莫是四年前普定之陳居士不？」士唯唯。於是盤桓者十數日，臨別索余法

言，因拂紙錄余與居士離合之言以送之；如法言，當求之諸方善知識去。

示拈一禪人

有時三世諸佛於糞[阜-十]上轉大法輪，有時貍奴白羝在法堂中演第一義。拈一，汝曾見也未？所以者件事不是拈頭作尾、拈尾作頭。趙州常云：「將一莖艸作丈六金身，丈六金身作一莖艸。」會得趙州意，則轉與不轉、演與不演皆了了矣。故曰：識得一，萬事畢。

示不臧禪人

者件事沒甚奇特，沒甚巴鼻，沒甚工夫，沒甚伎倆，沒甚學解，沒甚見聞，只要當下識得無始劫來識神種子，元是賓頭盧手中琉璃碗，不假人借，然後喚作奇特也得，不喚作奇特也得；喚作巴鼻也得，不喚作巴鼻也得；喚作工夫也得，不喚作工夫也得；喚作伎倆也得，不喚作伎倆也得；喚作學解也得，不喚作學解也得；喚作見聞也得，不喚作見聞也得，在一切非一切，在喜怒非喜怒。不見道：穿衣喫飯是箇甚麼？參！

示蘊空禪人

住深山，奚所匹。倚層巒，旁崒嵂。刈把茅，結箇室。折腳鐺，煨品字。拾枯柴，煮瀑汁。或吟詠，采松實。行則三，坐則七。時客來，便相聚。老瓦盆，方拓出。[阜-十]黃精，盛樣栗。且加餐，任游逸。若如何，可不必。一漚發，浴其日。逸其流，喪其質。蘊禪人，其惕怵。恁麼行，萬事畢。

嵩山野竹禪師語錄卷八(終)

嵩山野竹禪師語錄卷九

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜偈

送竹眉書記

十載梁州道自箴，死心名已重叢林。此歸還見衡山月，曾照洞庭幾尺深。
鞭指高天走白日，魂消石虎血流出。亞池派派汎湖湘，百代鯨波翻崒崖。

送竹元首座

霜敲萬尺湘山竹，空曲檀欒是幾年。和根落在桓伊手，一笛梅花楚水邊。
鐵拳揮破蒼蒼面，一色煙空飛紫電。多少東瓜瓠子禪，爭逃開聖一支箭。

送喻紫石歸夜郎兼贈木患子

朝聞蜀客向夜郎，昆明池上餞行裝。手中百八君如用，舌吐蓮華十丈香。

寄水目山無住大師

自說句章契理來，閒花落盡又重開。如何不屑當時屬，水目山頭卻放獃。

寄高峰山自然律主

不貴當年推枕子，牢將四分束身心。年來練得如蟾淨，別樣清光照北林。

寄雲巖靜主

聞道不行驢馬腳，山中高臥笑南參。為僧即到無生死，當日何須五十三。

寄畢節眾居士

黔山靄靄雨中天，遙憶故人赤水邊。飯罷烹茶茶未孰，一聲歸雁落秋煙。

寄清水塘應宣

清水塘邊艸如煙，倚雲樓閣淨諸天，夜來人憶三更冷，誰看輕風吹白蓮？

寄獨山州心月

夜夜高藍峰上月，秋暉先照獨山來。鬻茶話舊知何日，兩地寒風吹綠苔。

寄太極主人

昆明秋碧清如鏡，煙蘄天空月下來。寄語故人須就道，快扶輕策過徘徊。

寄廣陵渾源

雪斷廣陵淑气催，尋芳拾翠向莓苔。渾源如憶當時約，快著芒鞋策杖來。

秋夜懷古與慈玉上人

前有華亭後慈玉，孤舟一繫何榮辱。他人不解追遺蹤，莫莫朝朝船子曲。
太華峰下昆明月，金馬坊前漢使碣。夜靜誦經月上來，蒼然照見古人骨。

寄希有律主

麈尾高揮談四部，淨壇冷坐論三空。麻衣老大成何事，不若安眠白晝中。

寄玄初劉居士

擔折知柴重有由，如何不悟令心憂？尼山若是詞壇客，未必師人十二州。

寄東山印持

我祖西來傳法印，黃梅洗刷更精微。自從印破東山月，萬里蒼然揭素暉。

寄佛度高居士(諱俊捷)

煙樹蒼蒼月色微，秋天一雁向南飛。此情遙寄哥舒翰，玉露泠泠在釣磯。

寄不凡禪人

葉盡疏林秋已促，園中桂子飄香玉。不見吾徒過嶺來，渡頭聽唱華亭曲。

答許別駕送扇(諱學夔)

感君遺我扇頭字，中有熱腸豈偶然。他日誰編高士傳，清言未必別為篇。

答劉夫人

獨坐深宮求佛理，好將寶劍剖無明。等閒識得非他物，好笑靈昭也浪名。

答楊夫人

形聲未兆理俱全，切忌從他物外牽。聖解凡情都莫取，此時方信祖師禪。

答鞏昌眾居士

相逢一笑舊黔南，別去春花已見三。信字雖然頻寄雁，不知何日話松龕。

答李擇之居士

白首窮經欲學韓，青鐙永夜對闌干。雞肭啼出殘更月，猶自依依未解冠。

答竹眉昆仲寄梅花之作

枯腸搜盡答雙槐，為愛新聲遠寄來。猶說前年天目嶺，梅花正向雪中開。
梅花樹樹旁崔嵬，雪骨冰衫映石苔。不得陽春回洞壑，如何一片逐風來。

答李維谷居士

天篤談心喻指月，指頭非月月生明。若將暗者為明月，依舊從前汩死生。

复黃太史公燦

一夜西風逐雁來，千山巖桂映秋開。幽香不為遊人醉，山谷如何得意回。

复張爾用居士

近日法綱將委地，蒲團只是念張商。自憐好箇清涼室，恐作鐵圍鬼子場。

复許別駕(附來偈)

一劍頂門血滴滴，回頭不覺濺羅袍。身前曾共三生石，今日無明當下消。
不貴窮機貴轉身，當年供奉已消塵。眼前豈是無相識，能到大賢有幾人。

斗粟從來腰不折，惟逢石丈整宮袍。今得雨花臺上會，塵頭一拂障全消。
敢說生前金粟身，佛門獅象已拋塵。登岸不須回首顧，問塗還問過來人。

复古乘上人

挂冠歸隱禮空王，忠孝又尋寂滅場。周子留衣亭上偈，何曾一字貴韓昌。

复胡思慥居士

久欲歸家歸不得，今番歸去卻無家。不如放下歸家句，一任優游到海涯。
一寒徹骨還如洒，況是無家野鶴兒，若問風流何處得？慈雲一棒破頭皮。
君言徹骨還存髓，我道貧時髓也無。好向人天開隻眼，清名也自播江湖。

示覺證劉夫人

曠大劫來一幻身，今朝看破是浮塵，普門示見隨男女，宴坐華堂好繼秦。

示佛果高居士

一從白社廬山中，人世千年別遠公。今日將軍身再見，依然談笑舊春風。

示佛源張居士

輕身重道學無為，玅在今時惟自知，若問自知知底事，無根樹子糝春支。

示佛旨于居士

禪房三次論無生，利鎖名韁一洗清，只飲曹谿谿裏水，從今無意世中情。

示佛初劉居士

沙場百戰逞戈矛，洗盡風塵已見休，卻問蘇黃何處得？谿聲巖桂啟雙眸。

示佛舟薛居士

動靜雙忘入聖流，張帆性海任春秋。何須更過涅槃岸，潦倒高棲明月樓。

贈堅副寺

當時生薑辣洞山，清名從此落人間。慈雲副寺還剛直，竟日何曾一破顏。

贈三山許居士

祖佛叢中中毒深，一腔惡气噴東林。此番結下驢年友，間弄瑤琴太古音。

贈丹桂陳居士

何為法眼破沙盆？此語分明是道原，桂子從今香宇宙，石人聞得也消魂。

贈佛心李居士

少林華綻不萌支，香霧重重繞石籬，報汝佛心知道不？瞿曇法印自今時。

示昇維那

竹杖敲來血濺衣，嵩山別是箭鋒機，還拳不借那吒力，好向青峰詠落暉。

示圓通道人

山海沈沈曉日紅，一聲清聲出琳宮。楞伽讀罷全無事，臥看閒雲過嶺東。

示綵繪昆仲

宮牆珠樹接嵩山，寶葉疏疏蔭大還，直共莊生椿不老，餘會也得護禪關。

示我侍者

為僧心了是精修，莫把虛名落世流。真如木枕堪龜鑒，直到真如得便休。

示易侍者

隨侍巾鉼已十春，殷勤曉夕拂空塵。何時摸著九峰鼻，始笑板頭未了人。

示幬監院

監寺名垂切要知，金陵之則复何疑。雖然潔比冰壺月，不似高翔鐵鷂兒。

璋知客求書

不暇臨池學艸聖，揮毫落紙便塗雅，雲煙未必龍蛇走，空道山陰第一家。

示不磨禪人

鐵石為心可學道，龍驤虎驟起家聲，何妨一缽三千界，隨處法幢接有情。

示不計禪人

佛有恒沙方便智，娑婆國土閒游戲。揭開理性示真常，實相堂堂無位次。

示豁浪禪人

錦鯉千頭奮鬣來，桃花三級怒春雷。龍門若不施全力，依舊爆腮點額回。

示朗月禪人

秋江日日碧波流，道者無心仝水鷗。回首樓前今夜月，清暉如洗照芳洲。

示我聞禪人

雪薄香寒送早春，鳥啼空翠入清晨。曇華山裏天然足，了得人閒一夢身。

示體周禪人

倚城禪室散幽香，庭下海棠看正芳。一度聞來穿鼻孔，如何還有別商量。

示會玄禪人

杵聲處處送秋光，醉芙蓉別樣香；開眼堂堂無入路，不知何地覓心王？

示筍光禮峨嵋

山東萬里向西來，未必孃生夢眼開。好去峨嵋山上見，一輪孤月在蒼苔。

示智然禪人

伊魴眼裏著須彌，太末眉閒貯酒危。引得鐙籠開口笑，不知何日是歸期。

示幻息禪人

亂峰[阜-十]裏寄殘身，鳥自啼花艸自春，物外高人如幻息，何妨敲枕臥松筠？

示般舟禪人

芙蓉拔出明如雪，直剖先天混沌空。此空剖後來相見，始笑燕然勒石功。

作務歸示眾

土木勞人可罷參，汾州門戶未能堪。胡僧近日知何處，不見重來激指南。
盡道嵩山歇晚參，方來雲水力難堪，僧堂好箇慈明鼓，竟日無人擊嶺南。

示月峰監院

笠挂南雄是幾時？杖頭消息少人知。鬼方好歎無靈物，笑殺月峰老住持。

示映月禪人

風來桂子遞秋香，物外高人臥艸堂，細論長松當日事，回頭月色上垂楊。

示秋水禪人

學者先須不自欺，千章松裏破深疑。悄然摸著虛空面，題字傳鐙也可期。

示洞天禪人

不識真機何處是，雲流洞口也分明。江湖多少南詢客，只是平生滯化城。

示牧野禪人

徼外相逢一笑休，解人何必在多秋。青山有約須歸去，月白花黃好牧牛。

示無相菴主

撲碎雲中師子峰，此生也好繼先宗，缽盂不是人閒物，漫向寒潭制毒龍。

示無量老僧

竹嶺茅茨久掩關，無將鶴髮去人閒。黃精白筍長知足，僧史之名也是閒。

示空菴靜主

無景林中牧白牛，秋春不計樂悠悠，嬾添水艸祇隨分，好笑池陽老比丘。

示純一禪人

萬事如何純到一，還須靜裏自家看。忽然看至情忘處，明月皚皚在指耑。

示不昧禪人

百事無關世外春，三衣一缽也隨身。辟塵珠子明方寸，好向錦城出示人。

示篤行禪人

先德門風如不切，吐辭未必可為經。只宜三尺明如雪，山鬼無能逞性靈。

示心和禪人

淨如秋月是禪心，一枕間房日色沈。才把缽盂烹白水，不知野老正相尋。

示法空靜主

無我無人無壽者，清源一幅無人寫。雙空空後是何空，一把鋤頭住林野。

示西江老僧

白石巖邊曳杖藜，春花隇隇落幽谿，谿南回首是何處？一帶寒松老鶴棲。

示熹書記

山徑迢迢步委蛇，蒼蒼花木也徵詩。碧雞坊下青苔石，傳是王褒舊日碑。

示六一茶頭

陸羽盧仝舊有經，烹來七碗醉還醒。嵩山欲獻打門客，倩汝擎來就竹亭。

示非幻靜主

高峰室裏靜無塵，坐聽啼鶯報曉春，紫蕨新新穿破土，折來便好待佳賓。

弔天然上人

渠無國土歸何處，面目分明也了然。不信請看江上月，清暉夜夜蘆花前。

示玄谷禪人

北禪私宰白牛兒，縣裏來句要納皮。脫下帽簷分外別，何曾節外又生支。

示慧旨禪人

記得盤龍分別時，杖頭消息汝曾知。如何十載青山外，方寸依然未破疑。

示石幢禪人

雲開一笑入青天，不是他家五味禪。自此銀河秋月永，寒光靄靄淨無邊。

示見容禪人

午夜挑鐙坐碧紗，客身如夢在天涯。谿聲忽醒從前事，長嘯松門月色斜。

示佛照王居士

自理絲綸上釣臺，青煙白雨集還開。谿山笑我三千日，未見金鱗破浪來。

送熊總戎之黔州

鄉關一別幾經春，公極人臣我極真。欲問真僧真實理，回觀此理在君身。
羽輪才得駐東林，又聽明朝灞水吟。一夜盤桓須盡意，莫教前路思偏深。

示祥符甘居士

談笑天涯也有年，碑文白字已重鐫。大家攜手松亭上，閒看微風動白蓮。

示普澤趙善人

道在己躬不自知，登山涉水卻生疑，靈昭有箇平生語，百艸分明是祖師。

示古維居士書華嚴

河沙偈子斗山高，總入香園一兔豪，字字書來無盡眼，到頭未必別塵勞。

示李明之居士

身經幻夢醒無期，漚滅漚生是幾時。好把趙州無字看，不須別處覓靈犀。

示馬坦然居士

大道如何卻坦然，不須竿木著身邊。他家別有清機在，漫向蘆灣喚釣船。

示彭大器居士

斗大茅菴住此中，間收樣芋未為窮。分明好箇清貧調，笑殺山前白髮翁。

示李世奇居士

三餐鬻飯無他事，一架琴書對酉卮。悟來即是真消息，何必青天又起疑。

示王為霖居士

艸鞋未入白雲門，三十葛陂打痛快，忽然識得本來人，好罵臥龍湣慘怪。

示李時雨居士

百尺巖邊夜雨聲，圓通面目也分明，頂門若是無靈鑒，仍是黑風吹殺人。

示陶君重居士

龜毛拔得幾千尺，兔角截來百萬鈞。此語相傳人未信，不如緘口過殘春。

示江文仲居士

百事不關心自閒，倦來曳杖向沙灣。何須一擊頭皮碎，別有生機笑破顏。

示董國玉居士

喝底如能細揣摸，曹谿鼻孔也不多，從今歸去西湖月，夜夜清暉在白波。

示潘紹永居士

一念消歸露本真，根根互用便無塵。只恐豪釐空未盡，依然性命落波旬。

示夏元朗居士

酉注葷盤不礙道，閒情野況自如如。何須更問還家事，昆海波心月照初。

示陳瑞應居士

覓火逢煙未可休，燄光須是徹牽牛，逃禪必到情忘處，海鳥無心得自由。

示魏不能居士

鞭起鐵牛力未能，如何與道得相應？老龐鼻孔元無別，摸著尖頭似不曾。

示夏君錫居士

香園潔白沒人住，塵土腥羶往往多。可惜形山無價寶，委在泥沙奈若何。

示顏思淵居士

三生石共白雲峰，一枕蒲團睡正濃。卻被茶童初喚醒，夕陽已下嶺頭松。

示孔宗熙居士

曉日含霜露正肥，塞鴻陬陬向南飛。秋風滿地吹黃葉，幾處樵歌隔翠微。

示王志明居士

春雨霏霏鳥亂啼，吾家住在竹林西。有人問道如何對，一片閒雲散遠谿。

示王國章居士

相逢豎拂驗來耑，多少英雄到此難。若要清香香透骨，梅花也得幾番寒。

示趙佛勇居士

萬國風塵艸木悲，橫擔一杖到天涯。莫云荒服無知己，細與君家和舊詩。

示楊志勤居士

昨夜三更月到囪，南泉此語也平常。野僧別有過人處，一缽青芹分外香。

示魯質貞居士

一盧柏子平生事，半缽糲羹萬慮忘。野竹家常已道了，任將此語播諸方。

示田良遂居士

嵩寺蒼涼昆海濱，門無俗客室無塵。倦來又上蒲團臥，閱盡人間四十春。

示王佛身居士

幾年學佛空諸有，衣下明珠識也無？今日相逢仝一笑，烹茶剝栗且跏趺。

示熊道人

前峰漠漠散飛霞，野徑蕭疏正落花。蓽戶一聲閒犬吠，世人也得到山家。

示王君仁居士

勞勞學佛幾多年，一卷牛皮也看穿。不似道人無一事，三竿紅日正堪眠。

示王君用居士

百艸堂堂湣祖師，龐家面目別無為，轉身便到忘功用，五葉一花香滿支。

示馮國祥居士

身老無能報國恩，蕭然斗室坐黃昏。閒無異物消清晝，只有陳年杖一根。

示何寧宇居士

不愛叩嘩不愛靜，隨緣自適得深省。森羅攝入大圓中，一切聖人如鏡景。

示王應龍居士

晚步平田四野春，山家石室靜無塵。忽然雲外鐘聲出，好向堂前省夢身。

示姚佛仁居士

千尺桃花滾滾流，春風細柳繫孤舟。有時釣得金鱗物，回首前山月已浮。

拓缽歸示楊古玄居士

緊俏艸鞋入市來，婆婆也自笑余獃，家常元不添些子，依舊低頭空缽回。

示王古宗居士

鄰家犬吠啟圓通，何事時人耳獨聾？更向山中求解會，不知日已下谿東。

示楊席珍居士

白髮持竿坐釣磯，蒼山洱水送春暉。何時破浪金鱗子，一上鉤頭得意歸。

示張國柱居士

一年一度中秋節，惟有今年分外別。孤月團團在汝心，殷勤教我如何說。

示楊聞谷居士

多年靜坐覓心王，不識心王每自傷，野竹室中三頓棒，回頭滿地散天香。

示劉自北居士

石霜已奪裴休笏，嵩寺還徵自北心。未必古今分兩路，看來只是白雲深。

示祝天美居士

世外高人坐白蓮，心如水月盡秋煙。不知亦有攢眉客，直向深林訪酉仙。

示張師徽居士

年年谿上弄春暉，百鳥啼花隔翠微。日出乘舟沿水去，月來罷釣旁雲歸。

示楊騰龍居士

不知嵩少為誰言，見說神光雪裏論。皮髓分來戊底事，低頭下拜可酬恩。

嵩山野竹禪師語錄卷九(終)

嵩山野竹禪師語錄卷十

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜偈

褒竹元、竹眉二子

拂衣昆海是春時，三楚為家未可知。不見衡陽歸雁至，空教老眼兩行垂。

寄兜率堅長老

住院心心要細微，減言敬事用恩威。若云寬猛俱無濟，那得人人盡上機。

與昇首座

海光昨夜淨西樓，山色蒼蒼月一鉤。自是漁人知我意，釣船繫在蓼華頭。

與總戎王居士

挾纊當知惠愛深，英雄入塞騎駸駸。壽亭一去空千載，此日浮屠見沛霖。

送鼎西堂吳門代省

雲山萬里別哀牢，南下戕舸放小舠。此去姑蘇寧大父，趨庭切忌試吹毛。

送方伯李護法遷浙中，時開聖老人在吳郡，便寄起居(諱本晟)

清香夾道海棠紅，皁盍行雲向浙東。何用衡陽南去雁，家書一紙便吳中。

送碨谿王居士

吾家住在古城西，水鳥聲聲叫柳陽。回首親朋無信字，故人獨有老碨谿。

寄胡堯菴居士(諱欽華，時許作嵩山碑)

何事書淫惜此光，嵩山不放照幽堂。曹谿南嶽千年石，緣字猶能記寶坊。

贈兜率堅長老

三尺青蛇開紫電，十年得自長松院。和韜分付不磷兒，歸去臨機看轉便。

贈報國海長老

文水潭魚極細文，孤舟乘月向江瀆。有時釣得魚兒出，好擿絲竿笑晚曛。

贈臻監院

一塢紅英映艸堂，閑師才見便還鄉，如今折贈臻監院，別是玄都觀裏香。

贈總戎線居士(諱維明)

嵩雲帶雨潤江皋，橫海將軍在不毛。令肅嚴更縣夜月，南方小醜漫稱豪。
神武軍威徼外陳，當時出塞車鄰鄰。靈山舊識公還記，共坐嵩山詠早春。

贈總戎祁居士(諱三昇)

親擐戈甲塞雲開，手握青蛇气噴雷，走馬虎谿尋勝蹟，雲房無力下床來。

贈李廷弼世襲

石霜一箇無鑐鎖，巧手欲開不得開。卻被郎君輕一擊，火星迸散滿崔嵬。

贈竹水張居士

知君愛竹又愛水，竹高水淨青山裏。或時背手夕陽斜，一笑一歌深有旨。

答龍光上長老苦雨之作(附上偈)

鐵鞭已在山僧手，問爾龍蛇何處走？如今六合青冥開，躍躍依然不出斗。
好把珊瑚鞭在手，東椎白日金輪走。蒼龍跛[(虺-兀+(八/儿))-虫+左]如驅羊，臥看銀河橫北斗。

前韻贈堅昇二子

逢人垂下黃龍手，幾番申縮金毛走。神睛雙點真龍兒，破壁天飛戾北斗。

再答上長老(附來偈)

無耑申出拏雲手，嚇得豐隆下地走。卻被龍光收拾歸，金豪萬道射牛斗。
等閒築著我師手，滿紙雲煙隨手走。放在奚囊玉匣中，猶餘光怪拂南斗。

壽軒翁高檀越

簫鼓張筵可壯觀，百年此祝复何難。籛彭不審家何處，為我邀來一醉歡。

壽巖若陳太守

白榆昨夜支支開，散入錦城大府來。盡道梁州賢太守，千春治此字嬰孩。

壽佛髻羅居士

鷲峰壽量稱無盡，好笑人閒貴百年，瑞靄高門初度日，銜豪一為寫新篇。

壽我侍者(我楚雄人)

鹿城城外白雲橫，此日阿充旁曉生。好看蹋翻紫頂月，蒼山雪浪任從烹。

次大眾勉學二絕

寓內浮名也可刪，心原始得接嵩山。莫愁塵外無深趣，白石青谿好掩關。
舊時塵務未能刪，瓢笠何須寄此山。方寸清來無一事，南公也免揭三關。

示嵩元禪人

衣囊束束到嵩山，雲自無心水自閒，只把此閒閒到底，不須持缽向人閒。

華書記被犬傷

拋閒信步入城游，砧急家家九月秋。忽遇子湖簾外犬，親遭一口笑不休。

示無用知客

雲水紛紛無盡期，茶栝談笑切須知。恐防大伯咍咍笑，又詠枯椿舊處詩。

示顯宗禪人

蒲團靜對竹囪時，花落花開總不知。莫把此閒容易得，臥龍當日也難期。

寄洞庭賀居士

少陵去後艸堂灰，冷落巴山千載來，月照洞庭萬頃碧，不知新句為誰裁？
高囪研墨寫新詩，下筆未能又引疑。始信昔人言不誤，吟成扭斷數莖髭。

寄參仝宏長老

虎須捋得才盈把，鳳翥龍驤看作家。不是嵩高真骨肉，如何掌上有靈蛇。

寄盛守元居士

百劫塵緣剔得脫，尋花趁柳也翛然。此情便是毗邪意，何用他家五味禪。

示陳元柏居士

金山室裏尋床座，四大元無五蘊空。玉帶輸來千古外，桃花猶自怨春風。

示渾樸熊居士

蒼蒼庭柏語來真，老子不將竟示人。若謂談玄終不實，不知何地覓芳春。

示傅雲景居士

本常之理未能知，埽地焚香看是誰。者裏忽然頭角出，青天白日复何疑。

示佛祕馮善人

未知誰脫复誰縛，太末蟲兒吞卻雀。此意疑來幾十年，猶傳普化空搖鐸。

示佛性劉善人

從來者事無多語，一箇平常心自許。黃葉西飛旅雁南，秋風析析吹禾黍。

示何宗古居士

天曉山前白雨收，魚竿又理向谿流。誰知自弄鉤頭餌，眼看清波不計秋。

示杜可美居士

禪心濯濯似秋月，三十年來力已竭。舉似公家知不知，若知歸去莫輕忽。

示佛真葉道人

好箇龐家回向句，荊釵脫下走盤珠。千年法社無消息，且喜今朝汝自符。

示王大定居士

一曲無絃彈未已，仝人聞得便歡忻。松門自此堪長嘯，秋月浮來可贈君。

示宗益王道人

紅塵豈是隔清涼，祇恐牢牢著戲場。報汝常光元具足，不須此外別商量。

示呂離我居士

齋心事佛只須真，莫掠虛名笑殺人。直與蘇黃仝鼻孔，超然韻出劫前春。

示殷佛美居士

者事吾徒切要知，臨機全不著思惟，請看信手拈來藥，即使膏肓也可醫。

示羅佛髻居士

烏藤七尺驗雲水，盡抱頭皮護痛痕。不似君家心更切，幾番走馬到龍門。

示汪永善居士

香匙手裏撥盧煙，此是諸方上上禪，無那汪君猶未徹，徒勞高步向林泉。

示袁宗啟居士

世尊無說我無聞，此語分明舉似君。正體堂堂無位次，歸家切忌罵慈雲。

示曹一禎居士

夜靜殘鐙在艸堂，囪前寒景動輕霜，道人紙被烘來煖，一覺安眠萬事忘。

示王東城居士

橫擔一竹坐茅廬，有客相尋忽下驢。借問君家何處是，門前五柳是吾居。

示陳貴吾居士

山家充缽是園蔬，歲歲年年食有餘。更問住山消息子，蒲團夜夜月來初。

示李新初居士

暑气相催到上方，松門艸閣也清涼，臥看拒霜華滿樹，西風撲落上衣香。

示傅玉環居士

相逢盡是熱心人，未肯休歸閒此身。獨有傅君情可愛，時時顧我詠陽春。

示傅褒吾居士

臥龍山下芭蕉石，石上莓苔深可尺。一片贈君君莫輕，有時價重連城璧。

示涂成衣

看水尋山情自說，孃生鼻孔何曾別。翦刀遺下響丁東，此事分明都漏洩。

示王如月居士

雪斷夭桃映水紅，陽春滿地艸茂茂，文殊面目無臧處，一任風吹日炙中。

示姜如鶚居士

無情說法果何長，撥著盧頭柏子香。自是塵塵聲動地，痴人猶自播雌黃。

示王一賢居士

團團秋月上谿東，素景如霜下艸芃，好箇瞿曇清淨眼，何妨說與白頭翁？

示李乾如居士

塵心洗淨可逃禪，靜裏煙華別一天。若是翻然開醉眼，騎驢何用到林泉。

示徐居士亨

捉下猢猻即便休，閉門高枕樂悠悠。此時有問如何道，拈起茶栝也好酬。

示江寂永居士

白石巖前煙漠漠，閒來石上看松鶴。只須騎鶴白雲耑，莫向人間嚼糟粕。

示羅洪才居士

列聖微言理可求，囪前艸緣未為優，山僧無者閒家具，日日高眠接上流。

示劉濟舟居士

當日張弓二十年，三平一見開胸臆。敲床自是醒韓公，借問濟舟識不識。

示宋榮祿居士

儒佛何曾是兩般，埽除刪述各相關。不知別有風流事，只在相逢一笑間。

與王臣舉居士話舊

一別錦江十歲寒，家山回首幾摧肝。逢君又話鄉中事，夜半殘鐙淚眼看。

俗士病革因示小偈

伏枕床頭苦病身，如今易簀欲拋塵。要知此去家何處，可問蓮花國裏人。

示戚道明居士

秋霜打動庭梧落，驚起高支三兩雀。此意明明著見聞，如何卻說空無作。

示王國柱居士

日日囪中禮六時，金臺有路預為期，總之未了目前事，拓足他方白蒔池。

示方任周居士

從前謬向經中討，此日方知一字無。種柳栽花堪自樂，不須別處費工夫。

示符聖道居士

去盡塵緣與野馬，何空何有亦何假？始知萬象一毛中，魔佛相逢正好打。

示毛宗明居士

青眼高歌白日裏，不僧不俗是何宗？瞿曇老子也難識，薄莫騎牛入亂松。

示王淵源居士

清心絕欲坐間房，便是長生第一方。花落花開情自得，何山何水不幽香。

示杜體賢居士

大業心心在聖堯，深裒精一老漁樵。楊雄去後無消息，此日逢君意自銷。

示岳良壁居士

拄杖顛東拂子忙，磚頭瓦塊費商量，瞿曇一有拈花事，千古虛聲落大唐。

示陳語石居士

煩惱叢叢是燄光，未能勘破苦何長？回頭若醒塵緣夢，便到如來大寂場。

示佛印婆子

佛印圓通耳獨云，由來堪忍詔聲聞，慈航欲盡眾生界，無那頑皮志不勤。

示佛明婆子

道在常情須理會，非男女相莫塗糊。古人雖說無名字，喫飯穿衣豈是無。

示佛見婆子

宗旨今時豈易扶，幾番困頓幾番穌。雖然得箇蒲團地，也笑功成萬骨枯。

示葉佛顯居士

本來底事無名字，教我如何安得名。昨夜前村深雪裏，不知何處笑歌聲。

示易佛本居士

佛說何曾去一塵？閒花野艸自天真，須彌腳下滄溟水，浸殺魚龍笑殺人。

示趙佛住居士

本來無住名真住，佛子緣何信未能？若使虛空開得口，說時依舊未相應。

示郭足法居士

方自方兮圓自圓，道人活計此為先。咽喉屏卻如何道，三箇猢猻夜簸錢。

示李賢友居士

山風撼撼隕霜露，看看高梧秋已莫。促織鳴來嬾婦驚，道人何不趨歸路。

示王國才居士

熊耳山前斷臂師，一缽傳來是幾時？莫謂如今消息盡，慈雲菴主也偏宜。

示劉宗法居士

山僧無法可相傳，問著當央痛與拳，曠劫無明從此息，朝朝莫莫自天然。

示范世德居士

斬水蒼山兩地秋，單車昨日到梁州。迎風一掌能相委，白月青天各自休。

示王國安居士

相逢惟說宕渠邊，回首身前事枉然。何日還鄉尋故老，為余問訊李青蓮。

示黃玉徵居士

九月九日昆陽裏，閒看秋園落樣子。籬邊醉殺陶淵明，笑倩旁人為扶起。

示楊宗文居士

雷奔一喝勘來耑，卻道明明是此旨。更有蒼天兩字冤，何曾悟得自家底。

送江希賢居士

西風昨夜落青梧，又見寒砧艸木枯，十載梁城驚歲莫，明朝回首是東吳。

章祥宇居士以扇求偈

揮豪欲艸扇頭詩，盡力畫來無一字。引得鐙籠笑不休，為君投筆慚無地。

示馬神超居士(紫竹菴托滄江)

行盡深谿紫竹菴，禪房華木映晴嵐，秋來一碧如天鏡，應看銀河下空潭。

示張一嘯居士

日下松支景漸斜，香風十里道人家。一腔清趣能消受，散步長隄送去雅。

示王如鼎居士

何名清淨何名佛？艸木河山人畜物，縛作一團置掌中，莫教滾滾如波沸。

示金之鼐居士

萬事經心溺是非，一絲不挂也輕微。請看聚散白雲景，到底何曾有所依。

示楊文季居士

秋老邊城木葉空，太華風雨夜濛濛。更殘忽霽昆陽月，一片清光落浪中。

示張正顏居士

寂寂山房月一鉤，風迻花景過囪頭。幾番欲繪金箋上，只恐王維也著羞。

觀潘契空居士箑頭詩字口號

字玅詩工遠擅場，右丞千古筆生香，莫云不是前身事，一度思來笑欲狂。

寄劉善用居士

寄語忘情客可來，山中靜極白雲[阜-十]。河梁亦有清秋月，好共知音酌茗栝。

示李仁吾居士

道者無心學漢詩，閒情疏散是便宜。相逢有問曹谿旨，一掌分明贈故知。

示舒隰原居士

物物何曾別性天，祇緣染汙各紛然。如今說破雖無異，一箇鼻頭沒半邊。

示楊裕德居士

有心說道道非道，無意談心心自心。一箇蒲團緘口坐，高天白月上幽林。

示王居敬居士

露溼疏林曉霧吹，秋禽啼在桂花支。如何此意人皆見，不省從前夢幻時。

示鄭洪仁居士

世事看來如野馬，人情不實似潺湲。縱然玉帛千廂滿，不及道人一日閒。

示申宗琳居士

烹茶釀酉也如如，此是西林高士居。亭上問余玄要意，青天一嘯落池魚。

示宗玩婆子

油餈擿去事何如？一掌當腮信不虛，火裏生蓮香可愛，聲名百代播群書。

示宗緣刑夫人

當年秦國扣禪宗，無字徹來笑別峰，心事恐人傳不盡，親書入道語重重。

示載谷鄭婆子

道在邇而求諸遠，飲得茶來忘卻飯。忽照菱花省舊顏，翻然頓足悔來晚。

示曾一諾居士

嵩山敢自愛林泉，總為雲峰許我眠。法社麥徨非不惜，如今半是野狐禪。

示不及徐婆子

一劍揮空及不及，此談終不落階級。轉身若不解真機，方寸何能祛妄習。

示于登江婆子

散手千巖未是玄，銀河撲碎始悄然，有人問爾真息，遙指蜀山萬點尖。

示陳待沽居士

吾儕一柄龜毛拂，別是人閒無價物，白石先生也不知，空教居士來相乞。

示李宗韜居士

塵說剎說熾然說，朝朝莫莫何曾輟。李君歸去返聞聞，識得從前冤可雪。

示宗祥劉婆子

衲僧盡是老婆兒，此語聞之也大奇。近日梁城劉鐵磨，孃生鼻孔要人知。

示張希聲居士

臥龍不說聱頭禪，有問當空築鐵鞭。只教偷心無避處，他年免得哭蒼天。

示宗希蔡婆子

六子生來人未遇，如今者箇也須拋。嵩山問汝如何道，無翼鳥兒起鶴巢。

示楊完素居士

毗目仙人失卻口，嘉州大象向南走。驀然撞著桃符神，兩腳踢翻白額吼。

示江佛道居士

春朝細雨下長空，北去翩翩萬里鴻。借問拖泥何所事，幽谿蹋碎落花紅。

示龔安然婆子

風雨瀟瀟灑碧空，松雲密密送飛鴻。道人欲契無生旨，且看東園樹樹紅。

示尼維量

辭親下髮為僧事，不務真心也枉然，若得一期桶底落，翻身便是祖師禪。

示尼還轍

孤標一榻坐閒房，閱盡人閒四十霜。回首絲絲如白雪，名高蘭若淨天香。

示一舟船頭

蘆花渡口一孤舟，雲衰雨笠自風流。有時臥唱華亭曲，應是無心仝海鷗。

示大堅禪人

不是挂冠圖小急，都緣學佛價難酬。於今欲入慈雲室，只是深防棒血流。

示似我禪人

者箇須眉不是我，才離者箇便相左。何如拋下了然知，斗大茅菴獨自坐。

示南嶽德監院

話到為僧未是難，鼻梁摸著始心安，請觀思大當年事，三世吞來豈是謾？

示會元禪人

飄飄一笠漢中來，萬里梁城得意回，歸去三川尋古佛，艸鞋破處罵吾儕。

示李靖邦居士

雨後煙光淨北斗，輕風細細動楊柳。看來不是眼中塵，無那君心卻自負。

薦萬恭人陳氏

者箇不生元不生，挑鐙未必暗中行。從今識得本來百，鳥語松風祇是聲。

弔王秉和居士

十載昆明手共攜，來風去雨每嵩西。哭君何事抽身早，孤我雲瓢在五谿。

弔王長山居士

推破名韁利鎖關，翻身如月涌千山。毗邪有問須親對，白石青松解笑顏。

嵩山野竹禪師語錄卷十(終)

嵩山野竹禪師語錄卷十一

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜偈

示愈書記

初日當囪曉色，青山滿岫晴光。悄然快活松下，何必丹丘石旁。

示祥監院

早夜勤勤不倦，金陵老子風規。有時摸著鼻孔，與汝一根竹篦。

示和侍者

曠大劫來一物，朗然偪塞虛空。此即相傳的事，原原委委何窮。

示敏侍者

槲笠艸衣幾載？芒鞋竹杖平生，如何更問消息？別指籬前菊英。

示玨侍者

不變不遷不改，何思何慮何憂。庭前百尺松子，每向其中臥遊。

示學侍者

山中學得無為，嬾把殘經對月，千七百則葛藤，何為成佛之訣？

示牧之禪人

溈山一頭水羖，隨處拖犁拽杷，莫道無人收管，牧之也解倒跨。

示近山禪人

諧去諧來十載，腳跟下事浮沈。室中問我宗旨，且聽樹頭鳥音。

示不仝禪人

荊棘林中不住，翻身卻到慈雲。來時步步思忖，何者是吾真聞。

示湛涪禪人

巾缾缽杖三衣，四海五湖任往。榮辱自然不干，何須別問安養。

示悅也禪人

欲醒吾家法眼，棒頭別有根源，若將學解為勝，依然三世佛冤。

示石雲禪人

深山寂寂禪室，何事心心未閒。不若通身放下，自然萬慮俱刪。

示指南禪人

落日霞生萬壑，山靈列幕環屏。回頭石上東顧，山色朧朧杳冥。

示佛旨禪人

止說偷身學嬾，那知學嬾非閒，嬾閒兩字無取，馮他日上松關。

示會一禪人

曠劫汪汪愛水，今朝一瀝傾乾。只諧明月來往，一切塵緣不干。

示空碧禪人

山僧不解談禪，亦不與人講究，晚來散步長廊，不覺依然漏逗。

寄白馬講主

白馬峰前翻經，青蓮華裏悟理。高原鑿井之喻，舉世何曾惺此。

寄古問禪人

江頭一片明月，白露千珠艸頭，借問廣寒何兔，擣藥聞之滿臼。

示覺一禪人

欲識死生覺性，瑩然覺一恢恢。此理若知真實，原非槁木寒灰。

示大一禪人

月來原自渡口，雲去無非峰頭。雲月往來不盡，時時醒我雙眸。

示仲安禪人

闍黎發足金陵，四海名山過目。今日相逢益州，挂錫三間茅屋。

示不悉禪人

為僧獨貴清真，莫學勞勞度日。動靜常常中規，自然大道安逸。

示不易禪人

不明生死云何，須究西來大意。只到佛魔兩忘，神珠一顆自至。

示岫雲禪人

色色空空世界，瀟瀟灑灑人家。且過眼前日子，任他說落天花。

示三目禪人

摩醯三目難鑒，衲子相逢若何？古人別有方便，打鼓且聽笙歌。

示明旨禪人

欲知明暗之旨，曉夜何常兩邊。明暗拋來莫管，回頭蹋破三玄。

示淨月禪人

月中桂子垂朵，一夜風來送香，鼻孔依俙識得，開眉便見清光。

示尼宗一

至道祇須一言，自然體露金風。且徵何者是道，只可返尋己躬。

示尼安然

三尺竹篦悟得，任他東土西天。慈雲不是多口，祇要女心了然。

示廣國宋夫人持法華

禮誦蓮經竟日，言言字字深香。有時念到寶塔，便是儼然法王。

示賀居士宗福

為仙為佛高志，祇在當人一決。若是因循日子，依然錯過時節。

示雷居士遠

地僻山幽可靜，谿清石怪堪情。看他鳥弄春日，支上一聲兩聲。

示戴居士璞

住著山中幾載，日高猶自貪眠。為僧得到如此，何必羨他大賢。

示閻居士禧

宿昔閻丘居士，相尋拾得寒山，遺來一片明月，至今猶在林間。

示張居士印

西來大意何旨？白日朝來水東。剔起眉毛便是，莫教錯過此中。

示白居士恩

山頭錦鯉如雪，海底金烏若雞。今日為君說破，明朝各自東西。

示徐居士太原

君家住在何處，身上猶帶落霞。早把機心放下，馮他碓嘴生華。
秤錘蟲蠹，久矣不見不聞。隨他前三後三，省得即是吾家叉牙。

示何居士常

迷悟兩塗未判，端居看是何物。分明一段天真，不是依俙仿佛。

示王居士幻

十類眾生是夢，三世如來夢人。山僧為你直道，爾我亦是浮塵。

示楊居士顯

野馬如無玉絡，奔狂之性何調？學人棄此繩墨，未免伴奐自憍。

示湯居士昶

萬尺寒潭把釣，細鱗無意吞鉤。可憐襏襫漁叟，香餌翛然別投。

示眾

今朝白禮諸人，事務不煩問我。有求佛法因緣，但指庭花幾朵。
山僧雖是村翁，領眾何常廢禮？只是尋常鬻飯，不曾別有臧否。

示陳居士萬

多年失卻寶所，今日相尋道人。話到無生奧義，何勞拋棄紅塵。

示丁居士輔

祇知鑿井高原，不識水源就下。縱是施工百生，何曾有滴如瀉。

示易居士生

早晨洗面穿衣，下晚上床脫襪。申手去摸枕頭，不知打著心月。

示龍居士智

一艇閒游性海，蘭橈打倒須彌。此是大人竟界，非仝緣木之龜。

示龍居士乾

無說無傳聖道，有為有作猿心。一豪不去分別，當下全消古今。

示趙居士本

佛心無住為本，道者無為是根。無住無為不二，鐙籠露柱何言。

示王居士朗

山門佛殿相對，土地金剛鬥拳。既是旁人不識，隨他明月前川。

坐象巖示昆明諸子

象嶺巖前獨坐，朝昏滿目煙雲。回觀隔岸松子，依舊落他見聞。
葉上欲書半偈，枯腸括盡無能。不如石上高臥，此事全超一乘。

示許居士三山

推落匡床枕子，驚起檐樹鳴鳩。安南城裏收賊，塞北山前失牛。

示劉居士應文

才見提刀出塞，又來撿點家珍。兩重公案無別，可謂全詠法身。

示陳居士宗性

道人識甚家風，手裏把箇木勺。驚起甑箪搖眉，鐙籠築破雙腳。

示石居士廷瑾

槿籬靄靄雲合，石澗潺潺野水。入路分明不差，幾曾輪轉生死。

示李居士可植

松直棘曲之理，鶴白烏玄之言。喚作歸家時節，何常悟得心源。

示許居士云盛

誨人不是不切，回頭恐落虛名。偶上東山散步，月明一塢松聲。

示崔居士天壽

般若深談四相，法華喻說三車。究來都是閒事，且坐室中喫茶。

示徐居士伯遷

月照前峰石色，風吹上澗波聲。誰知見者難識，仍教孤他此情。

示杜居士三元

水水山山畫圖，風風雨雨世界，從頭柬點將來，智者如何蒂芥？

示徐居士化淳

騎牛覓牛痴矣，上筏舍筏愚甚。一切是非莫存，自然華屋高枕。

示祝居士良傑

傑出中山獨步，虎頭燕頷稱奇。指耑亦有明月，返照必然得之。

示徐居士大成

大事因緣不別，一揮智劍心寒。成仙成佛多事，閒看前峰月團。

示張居士希舜

消閒無過山家，萬嶺清風素霞。閒到峰前一曲，樹頭驚起飛雅。

示郭居士成功

道學無非方寸，逃禪何用求心。自然應物如鏡，一切魔王敢侵。

示平居士不二

喫飯穿衣不二，提餅把碗偏仝。鳥啼花落巖下，悟得從來法空。

示王居士世統

七尺軀中性靈，無耑落在風月。今朝落脫些兒，便上蓮華一筏。

示陳居士棟

萬木森森巖石，風吹瑟瑟清音。禪房有此幽韻，任他世上浮沈。

示張居士自起

一根既得返元，六處自能休伏。二十五人圓通，當時名起天篤。

示曹居士成功

石鞏一弓廿載，三平方露胸襟。當陽兩扣絃子，聖箭猶傳到今。

示張居士登高

碧雞午夜啼寒，金馬日中嚼雪。分明好箇風頭，只是當人不決。

示羅居士守庫

當年濟北三玄，今日嵩山一喝。莫謂古今兩塗，總然者點生活。

示張居士天祥

瑞像道人不取，道人只貴心光。問余何謂心光，依舊龜毛尺長。

示史居士得功

空華陽燄潭月，三箇本來不真，若謂竹僧錯判，何妨緘口殘春？

示薛居士聯

帶月連雲艸坐，石頭為枕高情，了然松韻徐響，不勝笙歌幾聲。

示程居士雲鳳

相傳大道多載，只是無人承當。所以慈雲一默，管他東土西方。

示張居士朝玉

佛殿苔生艸合，然鐙過去慈尊，門前沒箇消息，佛法有誰一論？

示陳居士揀

至道惟嫌柬擇，洞然明白何詮。眼光爍破天下，南北東西見前。

示王居士尚勇

道人一箇蒲團，四海任他游戲。若問如何是道，倦來放下憨睡。

示王居士應顯

青峰陰裏高臥，白水谿邊放船，此是維摩玅著，馮他天下相傳。

示馬居士顯祥

者箇渥洼駿骨，有時齧膝千里。非仝款段騰蹋，所以名高野史。

示劉居士文聖

井市山林不二，春華秋月相期。嗟乎者段三昧，須是達人乃知。

示曹居士應桀

良驥從來貴德，蟾蜍亦重精明。余聞先佛心印，不是虛頭假名。

示王居士良友

嵩少安心可師，慈雲勤道良友。莫謂古今不仝，蝦跳何曾出斗。

示趙居士良珮

囀囀支頭鳥語，閒閒林下人家。夜來一輪明月，客至兩椗閔茶。

示殷居士自常

舉世無人好道，滿堂盡是閒僧，雖然有箇居士，何曾離得愛憎？

示呂居士友才

我輩相逢話舊，芝蘭气味相投。落花流水游戲，誰管南州北州。

示金居士成功

金剛撝散魔軍，慧日光開暗室，瑞艸靈芽不珍，端然領取真實。

示李居士國珍

曲說直說兩路，宗通說通一門。分明隻字無得，便是歸家之言。

示郭居士朝鳳

松鶴巢來古樹，鐘聲散入平原。此中即是宗旨，更要阿誰一言。

示張居士弘名

心佛眾生名字，泥豬癩狗生涯，明明如何不會？驢鳴犬吠從他。

示張居士計美

世人百計生涯，嬾漢只消一事。日日蒲團石上，閒來便是濃睡。

示王居士文柱

古鏡生光似雪，自然方良潛蹤。騎牛忽過松嶺，管甚春風淡濃。

示肖居士二卯

豎起一條鐵脊，打開半箇疑團。了然當下成佛，何必重重細看。

示湯居士國印

先佛一枚海印，一印萬象森羅。誰知落在君手，何妨來往娑婆。

示溫居士泗

生死關頭識破，端然成佛多時，坐消昆海明月，踢脫凡情聖知。

示張居士權

參禪本自求悟，斷妄何須猒迷。只把吹毛利劍，聖凡情見排擠。

示張居士教

菩提煩惱如燄，生死涅槃似漚。若是安心選佛，秋高月上芳洲。

示黃居士宗

數日不打口鼓，安閒自在煙村。剛才搖動檀板，笑破諸人面門。

示王居士道

利門名路元假，山鳥谿煙可尋。若問道人樂處，翻身又上幽岑。

示金居士豁

如玉如冰如水，若華若鳥若晴。道人祇此坐臥，佛來祖來嬾迎。

示楊居士鶴紀

少室安心斷臂，兩重公案紛紜。不如言外求之，免墮從前見聞。

示馮居士文魁

道骨千生練就，衣珠一日何明。逢煙如可休去，到底逗遛半程。

示保居士佛手

小往大來名泰，輕清重濁兩間，見聞不住聲色，是謂佛祖之關。

示楊居士中立

密雲密布三千，一雨普沾艸木，喚作如來大慈，亦是指馬為鹿。

示余居士不一

勞勞終日持佛，只是恐防錯認。若謂佛居淨邦，目前安得隨順？

示羅居士郁

鬱鬱黃花非外，青青翠竹本真。總是當人佛性，何須猒棄芳塵。

示楊居士茂

眾生諸佛眼孔，只在喫飯穿衣，直指出來不會，枉然此箇真機。

示耿居士迥

祕魔擎叉奇怪，為山笑裏戈矛。慈雲不是無語，卻有一條棒頭。

示俞居士永

秋日蘆華華下，釣魚舟上坐歌。分明一箇船子，元是華亭頭陀。

示熊居士昌

殺佛殺祖雲門，奪人奪竟濟北。正好一坑活薶，免得是非兩賊。

示李居士繼

學道當如埽地，只須埽到無塵。了然一片乾淨，莫管誰為假真。

示劉居士時

室中請益禪學，善惡兩關莫取。父母未生面目，分明祇者言語。

示劉居士齡瑞

維摩病中說法，嵩山埽除藥病。拈起拂子便打，少室親行此令。

示雷居士奭

大雄峰頂明月，光含萬象森羅。世人祇是懵董，不見目前奈何。

示蔣居士嘉

金馬碧雞坊下，太華昆水之間。悟得眼前景物，誰為生死兩關。

示王居士晶

趙州一箇繩床，野竹一間艸屋，受用雖則不仝，從教天下相噱。

示舒居士章

鼻祖西來直指，虛虛豁豁性天。孃生面目全在，劫火從他洞然。

示楊居士智

山上鯉魚破浪，海中塵土坌天。指示當人不信，生生錯過目前。

示孟道人奇

奇哉鼻舌身意，三世如來安宅。更問如何是道，趙州有箇庭柏。

示陳道人瑞

為人為仙為佛，祇要吾徒志堅。一點明明會得，便知父母生前。

示朱道人惺

勤行德業為首，道眼處處圓明。信手摸著鼻孔，元來不自孃生。

示張道人映

心佛眾生不二，眾生心佛何殊？會來三無差別，青青翠竹真如。

示毛居士安

地盧撥火談道，了沒一言可陳。若問那邊理事，本來無妄無真。

示張居士寅

菴外石牛穩睡，火中蓮子飄香。西來大意如此，義气全章法堂。

示沈居士鼇

不二門中何物，梅花帳裏真機。堪憐一段消息，落得人前是非。

示熊居士易

不種梧桐免鳳，多栽綠竹引賢。道人雖沒文行，卻有祖師別傳。

示聞居士聖

無泥內外中閒，豈云聞見非塵。雖然不是真智，了得從前之因。

示張居士實

惟此一事真實，本來何有三乘。千頭萬緒歸一，曠劫無明可冰。

示謝居士有

一段西來玅機，許多大士難識，今時縱有些兒，究竟何曾得力？

嵩山野竹禪師語錄卷十一(終)

嵩山野竹禪師語錄卷十二

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜偈

示克禮禪人

谿深勺柄三尺，水靜漁歌一灣。此事無人舉著，隨他狼藉松關。

示擇木禪人

佛見也須括去，是以乃可安閒。一身輕似雲葉，始得把茅住山。

示闊安禪人

鐘聲曉出千峰，秋雨夜來幾點，打著闍黎面門，可憐猶作空閃。

示等齊禪人

竹杖敲開頂盍，眼光映著眉毛。如何者裏難會，卻去尋李問桃。

示豁山禪人

一口缽盂放下，半閒茅屋隨緣。清泉爚孰三碗，力倦方床可眠。

示普濟禪人

靜住深山幾祀，不曾拓缽梁城。非衣己自知我，白米朝朝滿盈。

示玉和禪人

嵩山華木春煖，古寺雲煙靜深。放下蒲輪且坐，流鶯啼在西林。

示二木禪人

頂門有眼須見，艸履無繩莫拋，信意行將過去，山中也好誅茅。

示牧山禪人

落日青楓江上，西來幾處漁樵。看他一種佛性，天然與理俱超。

示純白禪人

椎殺山前石虎，打翻殿上鐙籠。不知何者為佛，但見日出海東。

示遍谷禪人

春鶯啼上煙華，白雨傾來竹樹。打著心頭不知，要人指箇入路。

訪曇華上人不遇，題壁而還

南來一衲瀟灑，荷葉翦成練衣，我欲相尋菴裏，元來拓缽未歸。

聽琴

流水分明指上，高山迻在庭中。轉身一曲悽惋，灑灑柳霧松風。

漁父詞

蘆華一繫孤舟，便取白魚換酉。明月灣中自傾，醉來仍臥谿口。
瀟瀟灑灑平生，往往來來洞口。忽遇秦人兩語，回頭星已在留。

種華

金峰卓錫幽居，且種幾行松菊。松韻泠泠襲人，菊華徑徑香屋。

早梅

一支鬥雪開來，冷艷微微出朵。只恐佳人妒忌，任他煙霧深鎖。

入山

直入千山萬山，管他兩谿三谿。有時大笑巖口，驚起林中竹雞。

題鐙

一碗孤鐙殿上，清光與月爭明。小師好好挑撥，莫教非蛾死生。

題壁

飯食經行無別，揮豪壁上圖詩。雖然高士訶罵，識者心必韙之。

山居

幽居日日清閒，不管聲名榮辱。山下雕胡一掌，三餐往往豐沃。

示蔣居士武

看盡聯峰集翠，峰頭猿鳥幾聲。日莫牛羊下去，松關纖月初明。

示晏居士圯

不到石霜奪笏，非從鐵甕輸帶。頓然崛起龐公，一吸西江絕瀨。

示何居士覺

當日燒菴伎倆，龐家百艸風度，拈來勘驗龍蛇，便是生機一路。

示許居士貴

缽盂不可安柄，竹杖何曾發蘗。放下手中盞兒，未常有物爭奪。

示杜居士喻

山翁終日杜門，不是猒煩應對，祇要人人共知，箇事全無向背。

示宋居士皎

油油出岫春雲，鬱鬱旁籬野艸，細看者箇生機，不消別去尋討。

示楊居士運

下馬虎谿一笑，登樓見月高呼。總是清涼竟界，騎牛恐是文殊。

示石居士鏗

當囪幾樹黃梅，臨水數竿綠竹。梅上月來似霜，竹邊露墜如霖。

示李居士祖

無頭無尾一物，能賓能主多般。山僧一味閒坐，梅雨一灣兩灣。

示彭居士節

檐前細雨涔涔，山外水雲漠漠。且賞華茶兩鐺，閒來又上樓閣。

示鄧居士靖

涼風吹亂芭蕉，細雨潤回荁蔰。便是山中佳趣，不妨高臥清晝。

示陳居士璋

瓦礫放光動地，東瓜說短道長。者箇句當不必，大家散步西廊。

示王居士曛

王瓜棧上新燕，郁李支頭落英。不是知音莫道，恐他喚作閒情。

示朱道人煦

涔涔夜雨黃梅，漠漠水田黑犢。好箇風流不知，依然只是徐六。

示王居士語

鳥語啼來漏洩，山華看去無名。見聞若不黏著，十方可以橫行。

示何居士業

嵩山高臥雲室，免得勞勞送迎。有問如何是道，子鴣支上三更。

示鄧居士處

用修遺蹟苔厚，玄鑒禪房艸深，一段風流可惜，與君且酌東林。

示趙居士莊

黍園夢化蝴蝶，李伯晝成馬胎。二子不知妄相，如何道眼得開。

示楊居士燾

仲尼精一無比，老氏嬰兒絕倫。惟我瞿曇獨步，十方總是天真。

示王居士塞

問我西來大意，塞鴻昨夜南飛。王君若也難會，更折一支紫薇。

示余道人局

仙凡一箇棋局，日月兩枚腐螢。倚檻看華看竹，不知春老山亭。

示陳道人準

佛說無心最上，我云有物難群。閒來且蹋松景，未必隨他見聞。

示曹道人冰

蠟人幾度如冰，道者何曾有實。放下一棚是非，端然坐致深密。

示景道人經

三拜何曾得髓，一言已是遭賊。看來金屑雖貴，眼裏著他不得。

示汪道人湘

一滴虛空浸爛，何消滾滾瀟湘。道人笑我無實，我也未曾著忙。

示柳道人竭

不貴隋隄萬樹，亦非白蕩深香。若得末山伎倆，管他東土西方。

示段居士戍

忽然昨夜秋砧，黃葉西飛滿林。一領鶉衣有在，何消瞥起驚心。

示孫居士武

無琢無磨是道，有修有證非真。佛生兩路無別，你道誰疏誰親？

示喬居士鶴

一翮翼翼碧漢，數聲清響前村。往來共我多日，月上待歸閉門。

示汪居士文

理學知行合一，浮屠戒等三門。何謂禪宗之學？雪峰覆卻飯盆。

示吳道人凌

是道非道勿論，即心即佛無爭。只管掩室閒坐，從他涇渭濁清。

示趙道人甸

取得明珠在掌，不須別覓金丹。方知開合隨順，回首光生指耑。

示胡道人默

三心開卻人眼，親到龍潭不曾。可惜都盧放過，任他隨處馮陵。

示傅道人說

一箇西來印子，如今落在梁中。是誰摸著師紐，我也許他立功。

示鄭道人璉

璉也尊為玉器，不如心玉為奇。非男非女之相，分付鐙籠不知。

示吳居士嚴

青山一塢春雲，白水千群野鶩。莫將入道之源，落在見聞兩路。

示李道人崇

學道貴乎無我，此言入道之原。嵩山不是饒舌，千聖從斯一門。

示李居士季

深悲象季澆漓，且旁南山打雀。不是風流衲僧，如何弄得手腳。

示潭道人祕

法印何曾祕密，心光如日當天。婆子若還識得，不須別問三玄。

示李道人章

要知龐子回向，拈取龜毛尺長，擿在東洋海裏，回頭百艸生光。

示李居士淙

萬派東流入海，千山西向摩天。誰知成佛之訣，此處亦有生緣。

示宋居士軾

每見宋儒理學，也曾口口談禪。傳鐙雖有名字，未必心心了然。

示李居士碔

你也馬頭截角，我方龜背括毛。笑倒貍奴白殺，何妨椎殺猿夔。

示王居士玭

論道先須去妄，方才得近如來。然後拈起椎子，一下兩邊擊開。

示方道人素

曰聖曰凡假名，無脩無證光大。只饒萬里長江，不免似條襪帶。

示余居士立

說性說心伎倆，奪人奪竟生涯。嵩山一味閒坐，渴到起來鬻茶。

示鄭居士洪

生死兩關如何？直下穿衣喫飯。有時唼著舌頭，好箇見成公案。

示陶居士灒

五柳先生好飲，如今好飲何妨。應知者點消息，也在三梧五觴。

示李居士初

心心欲學般若，見色聞聲若何。忽然跌落盆子，打碎山廚小鍋。

示王居士沐

為君拈起苕帚，此處也須洞然。好箇機關不識，回頭只叫蒼天。

示范道人沅

暑往寒來性海，歠茶飲水無生。日用尋常知得，不必問他淨名。

示彭居士佑

秋水長天一色，此中便是真如。黃華折得盈把，自在安閒有餘。

示趙道人爾

艸塘荷葉錢小，江岸柳梢線長，若問西來大意，不須別處商量。

示劉道人盈

[阿-可+虫]山華山門額，菜海昆海談玄。龍女獻珠百顆，夜叉震動三千。

示陳居士沱

當日寶峰一喝，耳聾吐舌兩人。千古門風不別，誰是前身後身。

示劉道人能

千山日煖樵歌，一水春晴釣艇，便是道人樂處，識來與佛齊等。

示劉居士致

者箇如何說得，虛空未必能詮。當日李翺問道，止言月在青天。

示馬道人涯

臥龍沒甚生涯，惟有一條落藜。或問至道如何，拈起當頭便批。

示趙居士泰

才然豎起苕帚，人便謂余說禪。只如犢子搖尾，且道是玅是玄？

示王居士晉

欲得不傳至道，只須斫斷根朱。軀中一物無取，方識眉山老蘇。

示何居士既

不與鐙籠共語，還仝露柱相娛，識得其中玅理，便為了事凡夫。

示祝居士深

秋清雲吐明月，水淨光生蚌珠。一段天真不識，請看鷺宿平湖。

示王居士佐

靜處坐觀物化，怡然自有真如。粗心不得涯際，五眼未能一窺。

示龔居士基

素履安然進道，不知幾度春秋。審君非是機鈍，入路難將力求。

示范居士晞

竹裏艸亭僻淨，谿邊石徑幽深，居來始猒塵俗，烹茶獨箇彈琴。

示李居士正

埽石高眠白晝，曳笻又向青山。若非世外人物，未必能知此間。

示姚居士贊

居山須遠塵俗，談道莫生妄言。此是高人法式，亦為成佛之根。

示謝居士暉

過去之言過去，今朝之事今朝。看來無甚關切，且向嵩山挂瓢。

示劉居士苓

因行不妨掉臂，逄松也得茯苓。返身識得家寶，一切煩惱自寧。

示吳居士剛

不識金剛玅體，無明窟裏回轉，此番為女敲開，處處身光大顯。

示余居士任

春山疊疊青嶂，漁唱聲聲水涯。達者風流洩洩，往來蹋碎煙華。

示聞居士普

廣大如天普盍，煇光似日常明。者箇果然會得，何妨坐臥經行。

示溫居士模

一毛耑上天地，百艸頭邊祖師，不是其人莫說，恐他笑殺雙眉。

示鄭居士宜

好箇見成法句，如何賢者無聞。吾儕不惜脣舌，是非還他莫分。

示李居士依

大道本無依倚，真如何用談論。江清月白之夜，一曲高歌石門。

示周居士皓

浩浩紅塵有佛，瑩瑩白玉無瑕。道人莫合雙眼，此物何曾正邪。

示盧居士紀

何常佛性南北，管甚寤迷兩條。只要單刀入去，從前心垢全消。

示朱居士怙

棒下不能領旨，且看拋下油餈。有時摸著巴鼻，始笑臥龍古錐。

示陳居士航

嶽林一箇神通，終日嗤嗤自笑，布袋向人解開，何曾有點玄玅？

示王居士從

世尊有箇三昧，石女偏然寶惜。女也不妨眼開，看他是甚蹤跡。

示李居士令

欲知衰世津梁，祇是手中拂柄。此處不消佇思，翻然寤得真淨。

示吳居士忍

階前石是真機，不別淨名一默。如何更問嵩山，歸去黑山捉賊。

示趙居士鍾

梁山天半嵯峨，黑水江心怒吼。少室真機漏洩，木人空裏招手。

示尹居士筠

幾樹寒梅厭雪，千竿修竹搖晴。分明好箇歸路，何用雷奔一聲。

示夏居士恁

才言入路分明，露柱嗤嗤笑倒，不若支鐺鬻茶，管他天色遲早。

示張居士誥

不隨語默流轉，脫去是非兩岐。方寸全無一物，不知月上華支。

示鍾居士坷

海上月光炯炯，樹閒華景微微。文殊老子三昧，知得全拋是非。

示關居士雲

瀟瀟華雨春岸，漠漠香風艸塘，不是瞿曇面見，空勞別覓丹方。

示計居士緣

道者不隨世緣，蒲團只在山裏。渴來一澗清泉，秋孰滿林樣子。

示張居士琳

囪虛月照空床，艸密荒肥石徑，不必蓬壺遠尋，須知此地殊勝。

示王居士[月*氏]

半雨半晴歲月，不山不水人家。閒來石上趺坐，目送林東落雅。

示無垢禪人

蹋破萬峰青，飲乾千澗水。若求佛祖心，早須合卻嘴。

示禪學禪人

林下何生涯，山前一塢粟。何須持缽行，卻受人榮辱。

示法雨禪人

如天一味雨，萬物從茲生。借問生機理，無臭复無聲。

示唯識禪人

唯識識何識，唯心心亦空。迅雷下一喝，頓教雙耳聾。

示谿舌禪人

禪者意如何，飲湯識冷熱。閒看谿水流，日日弄長舌。

示覺旨禪人

宿昔談心法，何曾知目前。可憐肝膽裂，空負百華然。

示不波禪人

早晨喫白鬻，到晚饑仍覺。此理复如何，馬頭初生角。

示融旨禪人

一條筇竹杖，是處得人嫌，撥著興化了，結冤到驢年。

示輪旨禪人

新作出家郎，須明方寸事。揩磨日用中，可到如來地。

示慈航禪人

一缽一蒲團，隨緣道自安。魔宮與佛界，是處得盤桓。

送霽禪人還水目

送女歸山裏，離亭分手難。殷勤精道業，莫只自顦頇。

示得心禪人

得心不得心，得心在方寸。昨夜子規啼，聲聲啼出恨。

示尼善逝

臺山大會齋，此語傳千古。分付汝研窮，努力莫鄣鹵。

示張居士蘊

慈雲昆海上，張子古城裏。味道幾如饑，往來談至理。

示陳居士見

從來無法說，教我如何指？明月照菴前，吾心常若此。

示宋居士橲

相見不揚眉，舉意便知有。合掌向南辰，面面看北斗。

示蔣居士輪

本來無一事，何須更比倫。東峰日已出，華景落平原。

示孫居士文

慈雲菴前水，太華頂上雪。祖意已了然，叫我如何說。

示戈居士息

寄食江城裏，盤桓艸閣中，問余道中事，日出寺門東。

示郭居士茂

塵中人寂寂，一物了然無。如此行將去，何須問老盧。

示孫居士威

月到清江明，風來桃浪生。仁者心不動，隨處聽啼鶯。

示唐居士廣嚴

佛法無多子，太虛一印定。泥人笑破顏，石女初褰孕。

示徐居士國倫

才欲見山僧，紛紛華雨墮。端然不外求，何處立功過。

示胡居士騰所

無我我亦無，有心心亦有。兩關齊踢破，杲日當垂柳。

示龔居士詄

嵩山一竹篦，勘驗五湖人。打得血流出，方才見本真。

示黃居士昱

要論無生旨，須教道眼真。秋中一片月，看看無纖塵。

示郭居士昱

良哉觀世音，能超諸生死。故號大慈父，如秋月見水。

示熊居士繼

佛本在愚心，亦不離此覺，若明此覺性，誰縛欲誰脫？

示鍾居士慶

馬頭截角易，龜背拔毛難。嶺上古明月，徘徊過石磐。

嵩山野竹禪師語錄卷十二(終)

嵩山野竹禪師語錄卷十三

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜偈

西山雜偈

昆海澂清已潑秋，西山高臥看牽牛。人生無事須行樂，莫待星星白上頭。
掌雲笋竹隨春秀，落澗松聲逐晚來。村村野趣轉幽翠，樹樹群芳向日開。
一局殘棋罷戲場，百年興廢可悲傷。門前欲散華朝雨，且旁谿煙詠夕陽。
蹋蹋莓苔春興奢，呼童敲火鬻新茶。銜豪擬畫庭芳趣，回首青山叫晚雅。
十載曾經采玉蘭，重來烽火半燒殘。青山無恙松風在，且酌清泉鎮日看。
商山嶺下鴨城西，古樹蒼蒼亂鳥啼。白髮閒僧多種竹，寒梢百尺與雲齊。
亂石巖巖倚白雲，霜鐘送曉散榆枌。分明一幅王維畫，可惜和煙落海濱。
世外柴扉旁水涯，高岡華木嚲春支。倚巖夜夜看昆海，惟有清風明月宜。
眺望青天明月珠，團團如玉向山隅。老僧自說兒時住，八十年來在畫圖。
一宿山中便欲仙，山花山鳥也紛然。主人注意能留客，又引峰頭看杜鵑。
芒鞋竹杖宿江村，一夜猿聲響北原。明日欲歸歸未得，又攜瓢笠入雲門。
麥浪翻翻四月中，海棠葉耎石橋東。欲將老眼看三日，無那征蓬已挂風。

采蕨

才[巢-果+失]春山放綠蟠，柔疑玉腕淨疑蘭。拓根雖是山中物，曾與夷齊有舊歡。

采薪

負斧登山山更幽，一聲寒鳥上支頭。雪華回首迷青嶂，不見江心放鶴洲。
嶺外孤征兩鬢寒，小谿風度雪漫漫。誰知萬壑千崖玉，也作峨嵋一樣看。

采芹

自識青泥姓字來，芳香幾度共春醅。莫愁回首雲谿晚，已見東峰月色開。

山居

放下詩瓢砌石籬，茅房常與白雲期。廚薤蕨飯從來事，說似膏梁恐未知。
山中樣芋足秋來，日日沙鐺只自煨。飽食閒眠明月下，何須高唱酌金罍。

龍門奉和本師和尚喜雨之作

一躍龍湫白雨來，江天萬里看風雷，雖然艸木生機別，各自青青抱潤回。

喜林上人至

蹋蹋歌聲澗外來，手攜笻竹打門開，莫愁艸榻為君下，且酌蒙山勝舊醅。

戲書筆華館

二月煙華滿苑香，主人醉臥古亭旁。莫云往事夢中夢，今日猶存小洞房。

和雲腹和尚四首(雲嗣象崖珽)

僧玄谷呈雲公复梁司馬四景韻，余讀之，極愛神竟絕妙，可謂今日雪竇也。把筆和之，雖不能與雲較得失，聊自警耳。

涉谿

雨盡新晴照柳隄，綠煙深處亂鶯啼。高人此際能消受，樹樹梨華香滿谿。

心景

柳色鶯聲此見聞，如何別處說氤氳。嵩山日日閒無事，倚杖高歌入水雲。

寂定

山前雨歇轉新涼，靜入蒲團事事忘。囪外寒雅啼出月，不知何處散天香。

水月

秋河清極淨無塵，素景遙遙映白蘋。道者了然方寸裏，此心欲寄與何人。

蟬鳴樹底

輕煙裊裊動高支，葉下清音到莫時。幾度欲題韻未就，竹風引雨過簾楣。

漁舟夜泛

空潭羙羙弄清河，兩岸蘆華拂細波。回首林皋纖月上，清煇白露墜漁衰。

罌粟

朵朵東園一丈開，澆紅潑綠美人來。信知西子非凡種，曾是蓬壺舊結胎。

鬻泉

孤身落落向天涯，且鬻清流醉白沙。坐到月明苔石上，蘆笙吹起野人家。

聞雁有感

廣陵一夜倍凄清，鴻雁聲中傷客情。仝學少年多不在，如今何計樂邑耕。

看蓮

漠漠清池水荇肥，香風款款襲人衣。玉顏已勝澣紗女，不用吳宮著絳緋。

過萬松山

袈裟自媿亂戎常，病骨三年在異鄉；借問蠻煙何日淨？此山終是斷人腸。

野望

天目山中響杜鵑，隴雲如絳艸如煙，春風不棄碧邑裏，故遣梅華十里妍。

閒游

艸綠東郊曳杖游，山華滿岫隔林丘，谿谿黃鳥啼春日，回首雲煙在嶺頭。

步友人雪中尋梅韻

寒芳昨夜一支開，玉骨冰肌隔水隈。仙種自應能傲雪，秋波何必妒香胎。

過準提菴(菴去長松二里)

家在小谿半畝田，每看松鶴避茶煙。閒庭夜夜東峰月，何必廬山種白蓮。

再參荊南開聖老和尚

荊南再到逢秋日，三徑幽香看菊英。北望秭歸巫峽外，晚來萬里莫雲平。

遣興

挂笠長松已六秋，殘篇未敢入雙眸。故人遙在南丹裏，何日扶笻到虎丘。

自勉

莫怨風塵鬢已衰，好將鐵骨傲霜梅。古人不自輕吾道，八十猶擔杖缽來。

長松別靈巖老和尚

十載依違古夜郎，秋風曉送桂華香。寒蟬欲去千峰冷，黃葉西蜚引恨長。
詩瓢此日別愚谿，白雨清朝盡柳隄。不識龍山何處是，茅房無恙借幽棲。
岳色青青雨後真，出門長揖別西鄰。山中有分堪高臥，只是深褒白髮人。
孤蹤幾度白雲陳，又見黃華向砌開。才得承歡今又別，安知淚向平生來。
衣缽收來去夜郎，輕身趁鳥又還鄉。蒼苔茅屋深山裏，敢把虛名播四方。
已躍龍門三汲浪，非仝點額落波濤。他年雲外天蚩日，好看風雷撼巨鼇。

次王應龍居士韻

三月邊城日气融，白雲來去自西東，晴光幾樹催春鳥，空使繁聲落艸蓬。

閒坐

不翦芙煙貼翠茵，青苔石上老閒身。東風日日催黃鳥，坐看山華醉別春。
綠水蒼蒼繫小舠，閒傾白酉复低謠。夕陽才向前谿口，又挂輕帆去石橋。

偕許刺史宋廣文遊龍泉寺

隨雲緩步上山樓，洞口迢遙白水流，秋色煙光看不猒，晴霞洗盡一池鷗。

廣陵九日

九月秋高落木時，廣陵孤客倍相思。渝州弟妹知何處，未得還鄉一問之。

孤梅笑日

玉脂嬝嬝縞衣輕，肯放容華笑晚晴？谿畔已隨春霧煖，誰將凡品汙高名？

江梅映水

支支瘦骨向江開，香霧沈沈映日來。護惜春光江水上，冰衫莫遣委莓苔。

訪靈隱和尚

雲日當天暑漸催，幽人著屐向莓苔。到門桃李天然別，款款清香風[采/廾]回。

法明曉鐘(即金齒八景)

白雲深鎖帝王居，玉字人傳是御書。不識龍歸何處去，晚鍾猶自報清虛。

西山晚翠

日莫古城看去雅，武侯祠上夕陽斜。晚風吹得漁樵冷，滿目清光潑翠華。

龍池夜月

女堞參差印水湄，秋波澹澹引新詩。低回池上龍泉寺，獨對寒光有所思。

芭蕉石洞

風雨瀟瀟碎玉聲，空嵓百丈倚山城，石門深鎖荒煙裏，亦有洞簫葉底鳴。

安樂金井

青峰萬點指煙空，舋沸清源出柳東。午夜微波方印月，蠻奴誰遣汲雲中。

擺井楊柳

金絲織翠曲闌旁，弱弱千條舞夕陽。不向隋隄拖雨足，山中空自斷人腸。

雲嵓石佛

山門一望白雲開，石壁流光散佛臺。日莫珠林清磬出，翩翩鸞鶴又蜚回。

金雞溫泉

金齒城東古寺西，碑亭每見昔人題。如今寂寞深山裏，祇聽黃鸝薄莫啼。

李道人給供口占

松間入定正當春，一樹寒鴉叫殺人。何處道人來給粟，車聲軋軋起煙塵。

留客

小座當軒春日斜，西山歸鶴破煙霞。三間茅屋能留客，汲得靈泉夜鬻茶。

乙未元日奉和開聖老人登石林山用原韻

元日晴煙淨，邊春入石林。小谿梅欲亂，前嶺雪還深。松霧侵人骨，山風散瀑音。誰知塵竟外，聞聽亦無心。

晚眺

寒煙浮竹樹，秋气向檐生。日落山初暗，菊肥暑漸平。孤峰蜚鳥盡，野澗入雲輕。千里一身外，狂歌茗欲傾。

喜晴柬杜爾侯

晴開峰際曉，人坐小囪中。定水浸香案，蜚崖斷雨虹。青煙含瘦柳，白露下微風。已見楓林晚，山山霜葉紅。

薄莫

登高岳色冷，野望晚山昏。秋老林光瘦，谿乾雲气溫。煙隨虹雨出，鳥向夕陽翻。故舊音書盡，悲風動石門。

玅應寺

白白金沙地，青青玉井蓮。古碑荒鳥篆，廢沼引牛泉。微雨溼松子，茶鐺散竹煙。了然人景外，鐙火接諸天。

裒本師靈和尚

一別經三載，音書絕夜郎。昆明秋夜月，湘水播州霜。落木紛紛盡，邊風浸浸涼。自知裒抱拙，何日奉恩光。

仝汪牧鯤夜坐得樓字

石壺傾苦茗，竟日坐山樓，雨過苔衣溼，雲生竹戶幽。相逢萬里外，談笑五谿頭，莫問平生事，千峰已莫秋。

和佟太守韓甲喇觀海之作

下馬山林晚，蒼芒碧海深。波砰知變化，浪靜識禪心。樹樹寒蟬聒，村村野鳥吟。歸來茗碗在，何以獻高岑。

戲題大我靜主房

山深成野況，高日照嵓津，坐見僧寮晝，行探石澗春。一峰天外杳，萬木眼中頻，借問降龍缽，欲收何處鱗？

答友人餽物兼話舊

獨坐松囪下，焚香聽鳥鳴。打門何處客，聞語似師兄。曾憶荼蘼別，今逢玉菊清。贈余方外物，十襲敢云輕。

送友人之昆陽

秋淨山光冷，前涂路頗遙。邊雲隨去景，野鳥逐歸橈。纔看釣魚叟，忽過冷水橋。昆陽何處達，落日見漁樵。

秋日坐梵菴上人房

石床華木裏，黃葉落西風，萬里音書斷，一身鬼國東。青山插雲際，白露下芳叢，坐到夕陽後，秋香入梵宮。

還山

看看谿山晚，前村日已斜。隨雲行澗水，趁鳥入煙霞。古畫仍餘壁，寒梅漸有華。且烹龍窟下，塵外道人家。

寄都統高居士(諱得捷，道號佛果)

晴日浮滄波，清風吹芰荷。嵓深臧虎豹，村遠隔笙歌。山靜人來少，林疏月上多。何時王事暇，一騎入煙蘿。

秋夕與白雲上人

白霧三山起，秋風一院涼，茶煙熏石壁，霜鳥上隄楊。泉落龍皃下，人經虎洞旁，茅菴竟日好，坐臥只空堂。

送王太守(諱命來)

相逢一月閒，談笑滿臺榭，閒去看谿流，倦來歸艸舍。離情生昨日，論道只今夜，前路須善為，陰晴莫自詫。

答扶相國(諱絅)

月浮不出戶，況复到人間。囪下南華孰，階前苔石斑。微風聞鳥語，亂響落潺湲。自是塵沙業，一生即可刪。

與天龍陳居士

陳公西蜀名家，疆場俠士，雖羈身戎塞，心在空宗。歲辛丑，余遷五福，公再往盤桓，因就果園刱室為游宴地。鄉里胡公額曰綠野軒，乃約仝志閉室轟飲。是日獨余惺惺，遂賦一章。

青林開一室，白石映新晴。樹密禽常宿，潭深水至清。萬竿階下靜，五斗座中傾。余獨惺惺者，天池聊以烹。

竹林寺

一到無塵地，白雲在五峰，蘿上新秋月，山中舊日鐘。錫閒曾解虎，缽淨可降龍，飯罷無餘事，散步自扶笻。

擬寒山詩(用麗江世守虛白木公雲薖集韻二十首)

黃金如可成，白璧賤武夫。真覺陶幻妄，大道貴清虛。世界蝸角耑，乾坤著小壺。火風銷歇盡，浮漚若潰疽。

但圖名與利，早是利心人。況复梯榮業，鹿鹿走夢身。何日去煩熱，優游樂天真。悲愍甚悲愍，不得脫囂塵。

自省身世事，何物與我親。髮膚非己有，妻子屬他人。一入冥塗閒，業風吹識神。不如休歇去，免此淫怒瞋。

未能空五蘊，躁妄名為濁。逐塵自迷源，隨真賊可捉。寒潭月皎潔，空華何勞斲。慧日本常光，如何不自覺。
鼻祖未西來，箇箇丈夫漢。直逗到今日，如麻似粟亂。空勞逞嬌姿，安知有長歎。烏乎女如此，驢年登彼岸。
此身離襁褓，漸漸形姝好。渾渾若蜉蝣，凄然便衰老。人生天地閒，一息難再保。經紀眼前華，不如修行早。
看看如逆旅，光陰真過客。無生半箇無，趨利常千百。未雪妻兒冤，又酬牛馬役。奔波尚未寧，早被閻羅責。
耽色拖紅裙，欲食美酉葷。蛾眉充後掖，金珠足千斤。一朝臨死期，方悔不鑒殷。拘拘去冥路，回首誰從君。
貨財不為家，世珍非我有。獨有兩箇字，拙愚常抱守。服食莫多貪，無憂無過咎。千鍾何足娛，寸地福還厚。
我有一奇物，如空谷傳響。六用或來需，應之豪不爽。德常被天人，重重若梵網。乘此大悲心，可以化諸枉。
山中何所有，清谿與白雲。或值漁樵語，或從麋鹿群。青冥發澹靄，迻坐對斜曛。客至隨豐儉，柏子香得焚。
道人衡門下，棲遲方契真。衣破翦荷葉，理窮惟谷神。守智休離德，為物先體仁。勤勤教初學，勿自憍主賓。
夢裏作國王，覺來何曾履。浮生三萬場，終是癡愚子。富貴不牢固，聰明安用此。伯夷與叔齊，今古無多已。
日日看谿流，敖遊古松下，談心佛日明，講究尊王化。風打艸蓬蜇，仙人時獨駕，頫仰天地閒，大道誰酬價？
世事多紛云，吾心寂頗玅，林泉常澹泊，免得天人笑。不赴王城齋，安趨公侯召？清谿無秋冬，一竿惟自釣。
聖教有確論，權實兩為門，三賢眼上翳，吾心樂秋原。少室單傳旨，玅道奚用言？奇哉复奇哉，歸來早閉閽。
鵬鵬背千里，錦鱗汙池游。逐本須棄末，煩性一旦休。是物皆有適，齊之早不侔。無笑莊生陋，明明是贅疣。
雪鶴白自白，墨煤黔自黔，黃檗何為苦？甘艸元非甜。覺性恒如是，初月露纖纖，勞生無把著，不及益當謙。
酉色神之鑿，貨財命之斧。華羅喪人明，功名實心蠹。惟有越格士，無憂常無苦。往來天地先，遊戲任州府。
我擬寒山詩，本從雲薖集。三复義自殊，俗士尚能及。煙雲灑太清，筆墨蜇華汁。大事雖未能，西江欲盡吸。

贈米太守(諱璁，曾參萬峰明和尚)

自謂曹谿客，复從白兔來，禪深棒下旨，機玅地中雷。長嘯三祇劫，尤嫌八斗才，梁山如有約，莫道不重回。

答杜長史(諱元英)

若欲覓安心，覓心不可得。春來萬物青，月晦一宵黑。動靜觀無因，後先求有則。堂堂大道宗，君道何通塞。

送別劉順州

星軺五馬使，行色碧雞初。手綰銅章臭，旂開日气餘。邊春華擁署，夾道雨隨車。若到順州後，還須寄一書。

仙月盧兵憲夜坐嵩山

中夜坐嵩山，秋光清四野。重徵五蘊床，不及白蓮社。諸郡仰金湯，一竿掌大廈。銜栖夜茗孰，默默情堪瀉。

仝岳峙如賀大來月夜登樓用前韻

乘興夜登樓，推囪遙望野。清光在石林，玉露滴茅社。鬻月問流泉，工詩頻步廈。山童滌瓦區，苦茗為君瀉。

秋日答劉文季內翰

相逢古道在，高論亦何奇。悅老相徵詰，張公啟笑眉。更殘翻溺器，曉後說家私。自是雲山衲，清閒可得披。

示實參居士

忽見西流火，還聞北陸風。嚴霜沾老樹，皓月起長空。不欲露全體，翛然明正中。來時卻無口，今古憶何窮。

雪日書示大眾

群陰剝盡日，瑞雪滿崔嵬。無著王恭服，好傾黨氏栝。充廚愁翦蔬，占韻喜從梅。更有過人處，寒盧撥死灰。

七夕旅次二首

七月方流火，江楓已半紅。晚霞親橘柚，殘暑卻梧桐。河上鵲橋起，天邊雲路通。如何身似葉，猶滯在梁中。日下西峰際，晴光向晚開。人間乞巧候，天上合歡哀。對月輕搖珮，依雲漫酌桮。可憐此一夜，淚向平生來。

送甸舒和尚居五華

涂飾光先德，磨磚砌五華，金沙清淨界，鐘聲梵王家。瓦合迷蒼鼠，亭斜栖白雅，佛鐙從此續，爍破嶺頭霞。

示昇首座

春日生峰際，煙華起洞邊，風回香自遠，艸耎色還妍。綠入松雲度，白逐野鶴遷，相依烹樣芋，飽食亦堪眠。

送裕之張檀越齎奏京師

新秋暑未退，萬里北平行。馳驛尊王事，揮鞭入帝京。征涂須保愛，到處看逢迎。馬首歸何日，山茶欲待烹。

山居

山靜從無俗客尋，閒華野徑自低吟。春來鋤藥防牙損，秋後收禾畏鼠侵。月到清流常獨坐，雲封古石每多陰。蒲團一定三更冷，榻下惟聞促織音。

高藍山元日登眺

空山欲上履冰苔，已見晴煇旁柳開，度澗吟行浮野色，倚嵓小座韻新梅。百年心事從人欲，一塢春光向岫來，最是今朝興自別，衣常帶得谷雲回。

寧國寺(寺在迷渡)

桃華滿樹映春開，紅景含香逐水回，綠艸芬芳天正暖，白雲明滅日初來。瘴深迷渡情堪泣，碑臥荒村事可哀，松寺未殘僧已老，

何時鐘聲出莓苔？

次宋廣文寄上許刺史之作用來韻

昨夜蜚鴻到白雲，山山泉石起氤氳。新新墨跡還含潤，戛戛金聲未可群。世上如君誰夢筆？黔中惟我稿先焚。從今莫寄蒲團客，五老峰前實媿君。

太極樓分韻得秋字

樓觀菜海碧波流，又見西風送晚秋。幾點斷雲穿石谷，一群歸雁落沙洲。閒敲玉磬僧房淨，時看楞伽利路休。吟罷又隨庭鶴去，橋頭坐看采菱舟。

除夕

萬事傷悲今日驅，百年歡笑每須臾。名心澹盡如栝水，利路無關只瓦盧。自著松柴烹玉雪，誰將柏酉酌冰壺。雲房且過眼前日，莫管人家換舊符。

偶成與竹眉、竹元、不磷諸徒

戶外昆明積水深，漁歌薄莫響蘆林。扁舟欲泛澂江月，夕雨將收擣練砧。老病相催潘岳鬢，兒孫須學古人心。熱腸未盡楊華盡，萬里春歸亂鳥吟。

卜居金華山

小築新居祇樹中，盧峰裊裊紫煙空。雲來雲去隨深澗，華落華開逐曉風。翠黛有時生莫嶺，西山無日不垂虹。林香又是清明節，倚杖階前看去鴻。

南峰寺

曳杖重來舊竹房，疏鐘猶聽出山岡。千章古木排雙徑，一畝新荷綻晚香。洞口閒雲流石壁，樓頭白月映池塘。上方自是清涼竟，幾度游人洗熱腸。

室中聞野哭

雲松百畝景蒼蒼，忽聽哀聲人斷腸，不為無家深墮淚，多因催賦苦悲傷。鬻雞雨過莓苔滑，典室翁艸色荒，日莫更愁鈞帖至，悽風吹殺舊隄楊。

綠野軒

一到雲中見古初，塵氛何敢入幽居。高眠自斷天涯夢，病骨難刪舊日書。對柳閒看春欲老，向山遠望鳥蜚徐。今朝莫遣夕陽早，石上谿翁正釣魚。

仝刺史于公坐綠野軒

聲聲黃鳥響柴荊，遙望雲山物色清。白白梨華開谷口，青青松子弄春明。愛君詞賦人難敵，媿我袈裟事未精。茶孰室中須暢飲，雪絲莫待滿頭生。

龍泉寺

九曲清流兼碧渦，迢遙一徑入煙蘿。風回綠水迭秋月，雨斷青天朗玉河。琪樹華開香上界，慈雲景潤溼輕羅。明朝還有前涂恨，不識沾巾思若何。

送內翰劉文季歸里用來韻

自投書劍學深臧，每見秋高憶故鄉。千里峨嵋無限恨，十年昆海不勝忙。人歸故國愁荒塞，夢到天涯淚染常。此去蠶叢莫久住，兔園寂寞思梁王。

喜李方伯再過賞桃

華木幾番雨雪催，清香始見逐風來。在培已得隨春日，點爇深叨作賦才。暢飲何須邀美妓，尋芳不用折新梅。只因民膜關心苦，嵩寺難教十日回。

和福海靈老人輓淮仙先生原韻

雪照湖沙一片明，江春又旁白雲生。祝融有日開青嶂，華屋無琴對紫荊。漢水西來城郭冷，蛇山東向薜蘿晴。陰陰松柏千峰裏，只與漁樵舊有盟。

示蒼石禪人

千峰[阜-十]裏好刈茅，縛箇閒房十尺高，自放豪吟消岑寂，可將清磬擊雲皋。是非不問纔方淨，歌笑何須喜酌醪？漫道煙霞非我隱，如今四海盡風濤。

親王省耕南郭，便泛近華洲，上宴賞夫渠

王家南郭說田疇，萬井瘡痍已可瘳。浪夾旌旂蛟送雨，弓開明月箭翻鵰。聯檣戀賞夫渠勝，載酉稱觴荇菜柔。不數梁園詞賦美，棠陰有曲詠千秋。

小壺橋獲拙鳩集，步蜚華入研池韻

輕舠一繫讀新詩，字秀如何不費思。敲石聲聲翻峽水，落英點點入香池。階前老檜方消雪，橋下脩鱗欲躍時。好著奚囊歸寺去，江湖有意報相知。

和張太守游華亭寺見寄

燕公詞賦舊知名，宇內新聲未可爭。南徼惠行憐赤子，東山臥起為蒼生。僊僊旌旆華亭日，隱隱笙歌孟獲城。玄鑑遺蹤千古在，白雲倚檻看畬耕。

嵩山野竹禪師語錄卷十三(終)

嵩山野竹禪師語錄卷十四

鄂　州參仝門人宗宏　錄

鄂　州龍光門人宗上　潞南州兜率門人宗堅　仝編

雜著

贈高藍隱者

竹雞聲滑滑，隱者深林裏。曉色照谿西，秋風來萬里。

過紫谿菴

夏日人易倦，閒行過紫谿。竹門山靄合，坐聽鷓鴣啼。

金華散步，見海棠盛開，余摘其尤者兩支插於鬢，大眾見而笑之，因口占以示

室中人岑寂，偶步到華叢。一支才插鬢，語笑對春風。

裘鞏昌府綵繪二居士

登樓裘白公，遙望秋雲疾。處處漁樵歸，石門正落日。

詠梅

寒香初破雪，高潔隔幽谿。堪笑余兼爾，終當巖壑棲。

示申居士受

松寒月欲高，隔塢聞荷香。不識誰家笛，清音細柳旁。

示梅居士鶴

鶴閒松子青，馬亦有追風。鄰翁谿水上，日莫釣魚終。

示曹居士濟

求佛先求心，蓮華掌上開。香風吹不盡，白豪吞日來。

示楊居士謝

聞道不須遲，來朝雪滿頭。忽然骨肉別，如日輕霜休。

示周居士昭

南山松柏裏，亦有白頭翁。昨日過山來，對我理絲桐。

壽張居士存之

嵩山磨古今，白月照無終。圖畫箑頭上，煙雲生不窮。

复李居士相如(附來偈)

聽聽打更鐘，一下复五下。才曉又夕陽，依舊是昨夜。
一更一聲鐘，五更鐘五下。寅卯已天明，子丑是昨夜。

示王居士令

松囪開澗水，高坐待明月。西北涼風生，謬謬吹白髮。

示江居士汲

江聲夜靜遠，微波生枕上。鄰雞寒欲啼，鼯鼠自來往。

示雷居士嵂

琴在白雲室，孤音逐水流。彈罷焚香坐，松風猶未休。

示欒居士盍

楊柳垂殘月，寒雅醒欲啼。不知何處客，已度板橋西。

示伍居士泏

一衣三十年，高臥白雲岡 。如何開卻眼，只見別人忙。

山中四威儀

山中行，谿谿野雲平。古樹生苔蘚，寒猿三兩聲。
山中住，閒看前峰霧。茅屋倚雲隈，好鳥自來去。
山中坐，何須理清課。日用自閒閒，誰管立功過。
山中臥，一枕蒲團破。忽然惺覺來，峰頭日已墮。

示劉居士嚴

道原不在規矩，學又豈關子書。只要心空若月，看華隨柳幽居。

贈佛果高居士

佛果佛果，如蓮出火。開口見肝，內不著我。祖債佛冤，一杖擔荷。師子遊行，野干自墮。事事見成，行行回互。分付宗元，一切莫附。祖代源流，從此屬付。

贈傅居士懷吾

山生奇石，水含秋碧。鳥倦飛而知還，雲無心而出入。煙光靄靄，谿色冪冪。中有一士，鄰我咫尺。日來亭上，問我佛理。一劍破頂門，渾身血滴滴。忽然申此手，拍碎昆侖脊。

示章居士祥宇

死生齊一，凡聖仝廛。揮之即碎，團之即圓。清光滿斛，明鏡當軒。一條白練，一念萬年。是賓是主，有實有權。如斯領悟，故曰單傳。且道傳箇甚麼？咄，伶俐漢，休熱瞞。南海波斯騎石虎，森森拔出珊瑚鞭。

示造周熊總戎

逃禪須子細，不可墮無記。喫飯與穿衣，咳唾與掉臂。處處契真機，物物明祖意。又須格外觀，莫信人巧譬。一念如萬年，千差當一致。古之學道流，依之超十地。若不如是行，徒勞立此志。

我雖不識丁，敢言說非義。情忘體自殊，意絕理自備。應用在臨時，斯道為第一。

示不昧禪人

者一物，那一物。因不該，果不屬。心常明，意常足。不斷貪，不求福。昭昭然，能照燭。未生前，是何物。

示汝明磨頭

磨推女，女推磨，汝明汝明識者箇。莫滯塗路中，只須家裏坐。女來執吾役，吾故與女說。毋要論玄機，玄機終非得。無修無悟人，直此是法則。

示李居士維谷

在家出家，理無差別。一念回光，萬機頓歇。本既無生，何者受滅。萬年一念，獨超方便。佛說非真，我本無見。曰男曰女，乃貴乃賤。一念萬年，頓在目前。先天勿用，何假後天。前後際斷，其道玄玄。玄玄之玅，不涉眹兆。推倒空王，歸來大笑。

示周居士清

坐如山，行如兕。大丈夫，本乎此。三千年前老釋迦，說有談空剖真理。非心非佛，在彼在此。中天月正圓，素景落潭水。

總戎熊居士祈禪銘

禪須實究，道須實落，日用之閒，灑灑脫脫。踢倒淨缾，豎起塵拂，索我禪銘，乃為是說。畢竟如何？長天一鶚。

示阮居士坤

幾向黃華叱吒，又來白社縱橫。著著玄關莫測，威風凜凜江城。

示王居士佛身

以身持經，以經束身。夫身與經，誰疏誰親？二如不取，何妨持經。呵呵，也是平地掘坑。

示黎居士亨

宗亨居士，入佛叢林，歸無上道。了悟佛心，中邊不涉，亦不閒吟。雖然到此田地，猶是聽人餘音。

示劉居士文進

驀直相逢道不識，廓然無聖語何欺？如今為女重說破，鳥道歸來早已遲。是甚麼？貓兒尾上繫研椎。

示韓居士世

如何是佛，糞[阜-十]土塹。衲僧罔措，龍天稱歎。力士骨毛寒，波旬心膽顫。

示黃居士旭

海印三昧，觸目菩提。毛含巨海，蟆吞象犀。修竹囪前萬竿，山僧只管高棲。

示薛居士遠

天上無彌勒，地下無彌勒。去問拄杖子，向空畫一畫。良久，云：「總沒交涉。」

示王居士海

昆侖申足，蹋倒海嶽。抹過丹穴，吞卻鸑鷟。露柱笑鐙籠，此理也端確。

示楊居士奇

梵夾五千餘，字字疏摩訶。中閒一字真，著意便蹉跎。呵呵，會得奈我何，不會奈爾何。

示陳居士雲

雲從龍，風從虎，五眼六通各自睹。祕魔叉，禾山鼓，五五還歸二十五。

示宋居士易知

知者見之知，仁者見之仁，易之易之誰與鄰？縱然跳出者箇，猶是眼中之塵。

示任居士古帽

黃檗自苦，石密自甘，甘苦不著，各自歸菴。若了此中旨，何勞五十三？

示貝居士鳳

喫茶者茶，飲酉者酉。上天鷹飛，下地兔走。吾與女，复何有？猴愁摟頭，狗走抖口。

示王居士融

雅不涅而黔，鶴不浴而白。火盧浪滔天，梵本難為譯。木人天外高歌，石女谿邊繡刺。

示趙居士珠

如珠走盤，似水就下。一往觀來，何假何借。珠兮珠兮奈爾何，明朝有意重來麼。

示李居士玉

左也得，右也得。虛空何面，烏本自黑。鴛鴦枕上夢回時，且道起來何消息。

示楊居士冀

馬能蹄，牛可角。雨下枯回，魚行水濁。物我仝根，佛生不悖。是謂春溫之華，秋涼之月。

示周居士目

我生天地，天地我子。面目依然，阿誰動止。風吹江海波紋起。

示陳居士景

禪非禪，道非道，直下了之無不到，百尺竿頭進步人，坐卻白雲終不玅。

示白居士道

不入虎穴，不得虎子，以喻道人學佛之理，但能勤精進，自然得道耳。

示曾居士一

天得一，地得一，衲僧有甚閒巴鼻。竹老眉毛任女看，錯會依然何處覓。

示李居士燿

我心不可得，問之無可說。拋卻鏡華，忘卻水月。莫叫屈，明朝依舊日東出。

示金居士緯

大道如何，經天緯地。萬象森羅，清光不昧。左右逢原，切忌眼覷。

示徐居士玉

前三後三，布袋之閒。若也不會，綠水青山。寒山逢拾得，攜手笑破顏。

示陳居士薊

有家無家，二俱不立。路上人披衰，田中人頂笠。疑殺瓠子東瓜，笑倒石頭瓦礫。

示楊居士轍

父母未生，女是阿誰？父母生後，何悟何迷？咄！撞著白額大蟲須打殺，莫待貓兒狗子疑。

示曾居士學

道無言說，曾子一唯。門人詰之，忠恕而已。若是衲僧，未敢相許。

示周居士維新

聖不得名，凡不得狀。掌碎虛空，何名實相。住住聽吾言，莫要喫人棒。

示李居士惟

洞山有麻，曹山有酉。趙州喫茶，子湖看狗。慈雲無說，拈匙弄帚。有問西來意，拾起驀打口。

示唐居士本

道不屬知，不屬不知。及乎有知，何異無知。認取孃生舊面皮，勿待霜月落前谿。

示脫塵飯頭

炊脫粟，供頭陀。雪峰覆卻盆，南泉打破鍋。飯裏有蟲有砂麼？

示羅居士欽

不是心佛不是物，明明指人也叫屈。南泉蘆菔頭，不是相仿佛。翠竹青青，黃華鬱鬱，切不可認作佛。

示譚道人谷

山深臧雲，水清含物。喚作吾心，孤負先佛。者裏只須分明，免得後時叫屈。

示葛居士樵

對一說，倒一說，深恨睦州拶折腳。忽然識得者些兒，好把葛藤盡拋卻。盡拋卻，開眼也著，合眼也著。

示張居士注

如人飲水，冷熱自知。此是直說，不必生疑。豎起拂，云：「看取令行時。」

示張居士貞

真實說，無閒歇，虛空咬爛須彌舌。天下覓醫人，驢年覓不得。

示李居士止

止止不須說，此意人難知。竹篦打三十，依舊卻生疑。呵呵，此事不須疑。

示葉居士饒

此眾無支葉，惟有諸真實。筠袁虔吉，頭上插筆。此意如何？舉心即失。

示左居士立

千朱柏，萬章松，閒觀春綠綠重重。如來面孔何常別，好向峰頭識此容。

示陳居士釋

功德天，黑暗女，有知主人俱不取。綠竹黃華別樣春，曹谿衣缽何須數。

示吳居士述

日出作，日入息，鋤柄舉來人不識。卻向他家覓指歸，焉知費盡心頭力。

示李居士和

雪峰毬，石霜鎖，俱胝一指，雲門話墮。長松五石更新鮮，將心解會卻不可。

示周居士宣

一句明，三句透，不必重重求講究。呼奴喚婢識家風，何曾一事落人後。

示楊居士益

知之眾玅門，知之眾禍門，忽然知字都忘卻，水送扁舟過別村。

示梁居士震

半壁關中百二，名楊六詔江山。駸駸良驥嘶月，又向松門學閒。

薦劉道人

生以不生生，死以不死死。死生如轉圜，佛性何終始。只恐不自知，去來終不已。勞勞三界中，苦樂如拘豕。幸爾遇梁城，聽吾說深旨。雖未大休歇，頗亦識知止。此日復何言，言之不相似。撲破無明敢，何物可為累。

讀《升菴外集》載佛經有云：「樂行不如苦住，富客不如貧主。」又見《洞山語錄》「破鏡不重照，落華不上支。」絕似唐人樂府，因書其後。

星泥兩未形，是中何為主。苦樂既累吾，安知眾父父。鏡破照非無，華隕香還吐。寄言詞人知，至道切須取。

書石刻金剛經後

劉公維巡撫雲南時，刻金剛於石，使士民傳誦，意在俾南人知有佛。公去，袁公懋功來，下車之初，知劉舊有石刻金剛，即使人求之。人以殘闕進，公歎曰：時日未遠，損蠹乃爾。命工補全印出，

复裝潢之，遍送仝事。烏乎！故君子莫大與人為善，則二公以之。歲某月日，額駙衛公得一本以示余，且謂余曰：「二公之好佛，不在楊、李下，師不一言發明之，無乃忘人功乎？」余唯唯，遂成一頌：

鏡水無心能鑒物，金剛有種豈微功。太虛仝壽傳難盡，高閣經聲落曉風。

喜雨

支上有鳴鳩，梁上有栖燕。蜇時各自蜇，雨下雙不見。山囪苦炎熱，忽然涼生殿。遙天青冥開，江色淨如練。

從軍行

余生胡不辰，才壯驅入塞。爺孃苦號啼，別時肝腦碎。王事未有程，此心焉可背。磨刀隴上水，慴雲忽生代。明日鬥旂旛，天地為之晦。

毗盧閣告成，詩以謝兩序

嵩山古瓦薶蘚荒，煙流水去千秋涼，庭樹蒼蒼鶴栖老，囪外雲深白日長。北來老僧手有力，芟艸除礫洗宮牆，未還舊觀此僧去，余來四載猶暴霜。鱗瓦蜇碧星日礙，嘲風似磨閶闔旁，水藻丹黍妒華木，青黑烏雀正蹌蹌。鍾鼓逢逢傳萬壑，高風欲下落天香，畫棟雕甍何人力？夙興夜寐眾劻勷。我烹白泉先春艸，更燒龍麝排高堂，白黑三百咸歌舞，歌斯哭斯曆永昌。

峨嵋山月歌

峨嵋山高入青天，白月蜇來半山前，月照空山夜如雪，山搖空月艸如煙。老僧禿髮騎雲出，眉豪垂銀深拂肩，此時顧我似有說，回首看月心不然。峨嵋山高，高入青天，山月莫逆，歌以永年。

和于公薄斂歌

南海珠還雲州守，高呼青天民父母。啼饑號寒獨關心，一歲兩歲饒歌酉。于公于公真賢牧，賣劍使人盡買犢。我歌未終惠風生，

徐徐出自龔黃屋。虎走蝗蜚又收秣，村村童叟歌莫來。只恐君王不借寇，詔下奪我將相才。

佛事

固山何公請為元旦初貞喇嘛入龕。秋風吹斷北山霞，此日松杉叫白雅，報道故人兜率去，香雲靄靄落平沙。恭惟喇嘛禪師塞北柱石、秦西名緇，宗戒定於中年、刱伽藍於晚歲，心空及第，語默絕離，微道振中華，才名稱善慧，正宜開導，何期潛煇？正恁麼時，如何是他受用一句？莫道從今無覓處，金光龕裏應跏趺。下火。舉火苣，云：「無手行拳，拳畢竟滅；執相說法，法畢竟邪。如今喇嘛禪師既恁麼來、又恁麼去，畢竟絕去來相。三處恁麼，畢竟如何是助伊火光三昧底句？」擲火苣，云：「擦手歸家人自在，紅盧放出白豪來。」

乳峰院主起骨。「古者道：『向紅盧裏段過來底，雖未精細，然亦可作得一箇器皿。』如今者漢向者盧子裏和皮骨都段過了，且道成得箇甚麼器皿？」以杖敲骨，云：「煉得身形似鶴形，別是金剛不壞體。」

梁山明和尚訃至，挂真云：「固陵大樹錦江摧，一代宗盟去不回，留得巫山三峽月，清煇夜夜向囪來。」乃以手指真，召眾云：「者便是世大父底面目，見在者裏，為甚卻道大樹摧去不回？」便燒香云：「一度椎胸一度恨，青山綠水也多哀。」

蘇州浮師翁凶問至，挂真舉哀，云：「三十年呵佛罵祖，欲得一箇半箇交代缽袋子，此我大父為法求人底心也。如今和性命都落在不肖慧手裏，要教他上天也在不肖慧，要教他入地也在不肖慧。大眾！且道以何為驗？」插香，云：「哀！哀！」

為阿思哈哈番明宇李公下火。「鵲印搖邊月，丈夫吐气揚眉；龍旂掣海雲，英雄囚首喪膽。聳賢冠於凌煙閣，題銅柱於瘴癘鄉。此大丈夫事，非庸才可能為也。雖然，如今收功一句又作麼生？」攛下火苣，云：「馮君莫話封侯事，一將功成萬骨枯。」

為王秉和居士下火。「者居士生平子女玉帛中而不染著，可謂蓮華淨也；生平絃索歌笑中而不取著，可謂白月高也。若較衲僧門下，卻也做得半箇衲僧，所以三十夜到來撩起便行，不待呻吟枕席然後脫也。雖然，百尺竿頭須進步，十方世界見全身。」

為蝦撓公下火。「雕弓抱月，守在四方，畫旂翻雲，雄稱一劍，取功名如拾芥，卻勁敵若摧枯，此下幃學劍之效也。正當此時，公既捐館，人亦銜涕，且道香薪積山如何助他發燄？」遂攛下云：「莫只火中稱安樂，回頭須識舊家鄉。」

銘

元旦初貞喇嘛塔銘

謹按狀：喇嘛名元旦，初貞族蒙古之後，生萬曆甲寅。才成童，便有棄俗意。未幾，父母相繼而逝，故喇嘛得躡屩四方矣。初，喇嘛為山海步將，有仁心，凡得俸，必分而周急，人人常比為叔牙。崇禎丁丑，年二十四，忽告固山何公、驀章京巴公曰：「四大苦空，洵亦無常，塵網不於此時裂之，真不知死之將至云耳。」二公憐而許之。己卯春，禮沈陽元旦講素為師，素授以鬱多羅僧，專學律部。素見學有日益，乃歎曰：「佛日重光，舍子其誰乎？」甲申，年三十一，上首羅卜 臧招度擺求講《 梵網》、《 四分》，聽者無不服膺，自此講誦不輟。常讀《 法華》，至〈 藥王本事品〉，即以香水沐臂，爇指供佛，而神色不少變。順治壬辰，年三十九，至西海謁噠哪喇嘛公。公知法器，即授以僧伽黎，俾廣佛化。旋奉王旨，於西寧塔耳寺飯僧，約萬數。明年，來漢中，刱寶林寺，造西方三聖，各丈餘，糝以金屑，巍峨壯麗，而漢中人睹相發願往生者，到今不絕。康熙癸卯夏，來滇禮雞足，將欲還，二公堅留，駐錫雲南東郭之五靈。五靈舊為城東巨剎，年來失人，遂至坍圮。喇嘛駐錫不二年，即煥然改觀。复建閣五楹，貯貝葉一臧，皆裝潢精奇。丙午某月某日，誡眾曰：「勤儉廉退，釋子大節。若肆奢侈，不如流俗也。世界無常，真如幻泡。吾徒不勤學業，虛喪光陰，寧不惜哉！」雖示微恙，應對如常。於某日端身正坐，舉手捻印，奄然蟬蛻。二公與眾章京大慟承服，以師禮事之。留三日，始荼毗。柩之所至，觀者如市。二公請余主喪事。既闍維，得設利百許。二公聞於王，王加歎不已。捐金以助佛事，建塔於寺之左。塔成，二公徵銘於余。余曰：「喇嘛與余交雖未久，然常以拈華微笑之意，與達磨宗旨詰之，喇嘛酬對不爽。又常向余言生卒所歷之事，似以余為法門骨肉。則今日之銘，於義可卻乎？」乃原其始而銘之曰：神廟在御，至人生焉。顛毛始[恭-共+(束-木+大)]，有志出廛。為王執殳，鎮靜烽煙。仁心可芻，千夫歡然。既告以歸，袈裟半肩。講誦刱造，西北人傳。末後事畢，如蛻新蟬。聳動官庶，哭踊聯翩。建塔五靈，永基萬年。

淮仙先生墓銘

文章百世，道亦可師。余嗟先生，來非其時。上自堯舜，下及昭代。鑿為一書，千流可匯。亦誅既死，殫發幽光。大業未終，先生

隕亡。八尺未封，二十九年。二子悲號，涕淚漣漣。有女一人，已擇佳婿。二氏向祀，無敢曰戾。長君問余，請為銘之。以勒貞石，千秋永斯。

行實

康熙壬寅，慈玉僧統將嵩山眾護法命來，師既受之，十二月到院。明日，黑白千人，欲聞師行腳，因命坐，乃從容告曰：「慧，渝州長壽葉氏子，生熹宗癸亥三月五日。葉氏自先大父至慧，三世皆業耕，閒有入塾，不過認字便了。國家從天啟元祀，賊破渝州，歷思宗甲申二十四年，蜀東西、巴南北，田廬父兄，燒戮殆盡。慧既遭亂，適父母俱亡，孤身南避黔州，遇仝鄉緇衣者，話及離亂之事，不覺泫然泣下。數日，因商南丹，忽自覺曰：『吾鄉父老，今無一存，我獨存者，豈非天欲我為好事邪？當此大劫，不自回觀，真癡矣。』乃脫下俗服，誓曰：『如不即出家，有如父老。』乃謁東明曉師剃落，名福慧，字思修，日惟禮佛持經，如是三年。壬辰春，有雪林者，來自平越，時慧客寓獨山之天竺菴，因問：『禪師何來？』林曰：『某在平越龍門為磨頭，尚未具戒，來此募衣，今冬欲納戒耳。』慧曰：『龍門和尚，尋常教人習何事？』林曰：『教人精進道業，脫離生死。』慧曰：『捷要一兩語，可得聞乎？』林曰：『觀公此問，意亦可嘉，何不要包，自去問和尚？某雖記得數則因緣，終是糟粕。』慧見林語頗異，因求攜往。及到龍門，三月二日也，因告香期近，不得即見。越十日，始得晉謁。和尚問：『何來？』慧曰：『獨山。』又問：『何處人？』慧曰：『洛溫。』又問：『幾時離彼？』慧曰：『永曆初。』又問：『因何到者裏？』慧舉與雪林之語，對未終，和尚便喝出。慧維時忖之：『和尚怪我邪？』去告嬾兄玄知客，嬾曰：『你向者裏疑去。』慧愈疑駭。時本兄明教授在遵義歸，慧又告本，本曰：『兄亡入叢林，便欲理許大事也。』未久，和尚遷萬壽，慧去求開示，和尚示以平實，末教參：萬法歸一，一歸何處？慧方有箇信意。因與嬾民、本源、隱居、開石、石芝、梅隱、梅孰、遜岳諸兄十八人打七，未有入路。是歲癸巳，慧與大雲長兄、海雲仲兄等二百人納戒畢，辭回獨山。未幾，和尚遷聖恩，慧又約聽松、覺蓮同往，因求燒茶供眾，和尚許之。一日與別，南往鎮遠，路上亦如死人，忽過谿，不覺口念萬法歸一，才舉首時，便識得者事原來在者裏，方知和尚喝出，與嬾、本二兄相為處。歸見和尚，和尚曰：『女參得禪也。』後因看南泉問知頭陀云：『女名甚麼？』曰：『宗知。』泉曰：『知不到處作麼生？』宗知曰：『切忌道著。』泉曰：『灼

然！知不到處切忌道著，道著則頭角生。大丈夫須向異類中行。』於此又不知落處。一日見僧問和尚：『如何是異類中行事？』和尚曰：『與我擎凳子來。』僧擎至，理前問，和尚示以偈曰：『山僧擎凳子，漫道閣黎擎；若謂閣黎擎，依舊可憐生。』慧聞始到平妥，便著衣上方丈禮拜曰：『前來異類中行事，慧會也。』和尚曰：『女如何會？』慧趨出，和尚曰：『未在。』慧复回頌曰：『春眠不覺曉，處處聞啼鳥。夜來風雨聲，華落知多少？』和尚休去。明年甲午，惺一照兄、含容德兄將長松命來敦請，和尚不得已應之，因命嬾兄與慧先往。是歲結冬，擢慧維那。開堂日，慧出問：『禹門千尋浪，誰是化龍回？』和尚曰：『浪頭赤鬣自分曉。』慧曰：『恁麼則蜚躍去也。』和尚曰：『俊哉衲子！』慧禮拜。又一日，慧出豎拳曰：『者是第幾機？』和尚曰：『放下好也，免得喫棒。』慧畫一畫，和尚曰：『自領去。』又一日，慧出問：『欲領一棒，師意如何？』和尚曰：『教你喪身失命。』慧曰：『恰好。』和尚曰：『甚麼年閒得活？』慧曰：『鐵牛耕轉昆侖去，瞎驢嘶破太虛回。』和尚曰：『瞻前顧後。』又一日，慧向前展具，卻云：『也不消得。』便收起。和尚豎起拂子，慧曰：『渾然含理事，何用歷三祇？』和尚复豎起拂子云：『者箇用得恁麼快。』慧禮拜。又一日，慧出問曰：『第一訣，獨立庭前雪時如何？』和尚曰：『寒殺只宜寒殺。』慧曰：『第二訣，烏龜吞卻月時如何？』和尚曰：『皎皎只宜皎皎。』慧曰：『第三訣，今時全漏洩時如何？』和尚曰：『可惜只宜可惜。』慧曰：『恁麼則踢碎西河師子窟，裂破汾陽萬古秋去也。』和尚曰：『莫易開終始口好。』又一日，慧與端居泰兄、岳樵崇兄入室，和尚以杖畫十字，慧曰：『好不識羞。』和尚复畫卍字，慧乃行，和尚便打一棒。制終，辭回省師，和尚送以偈曰：『龍門一曲別宮商，三峽流泉韻自長。分付還鄉須保愛，肚皮篾束白雲岡。』因更字野竹。乙未秋，和尚遣開石意監院复淮國公書，因聞和尚有慶陽王要住龍門命，又有仁和侯要住開聖命，因束裝與開兄往長松，遇和尚著笠曳杖赴龍門，請慧隨行。一日，忽與弟兄失歡，又辭歸。丙申，再見和尚於荊南開聖。丁卯，再見和尚於長松。閏五月朔，和尚撰《曹谿正脈記》一軸，曰：『相逢一笑見平生，眼去眉來意盡呈。聖箭室中拓贈女，兒孫四海可橫行。』密召入室，屬曰：『女之見諦頗好，只是學不逮耳。山僧欲留女身邊，然亂離未已，恐不能保長居。女將去住山，不可疾走出人前。』慧力辭不獲，遂禮拜，作偈六章辭行。時友人欲禮雞足，便相約入滇。不期此中王公當事、眾護法推慧出來，致有開堂之事，五六年來纏綿八剎之命。然慧無學，又兼離師太早，一回忖之，一回慚恧。眾兄欲聞慧行腳，只得將從前之

事告之，至於多少敗闕，不能盡說。如諸兄再問慧受用一句，慧只得也道箇：『上來所供并是詣實。』」

嵩山野竹禪師語錄卷十四(終)

(康熙八年夏重刻

嵩山語錄一部，計一十四卷。

板臧浙江嘉興府楞嚴寺

經坊)

聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation

service@cbeta.org
(02)2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/

贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6